

高齢者の福祉や介護に関する調査
－ 事業所調査 －
報告書

2026年3月
町田市

高齢者の福祉や介護に関する調査 - 事業所調査 - 報告書
目次

I. 調査概要	5
1. 目的	5
2. 調査期間	5
3. 調査方法	5
4. 調査対象及び回収数	5
5. 本書における表記	6
(1) 圏域の表記	6
(2) 調査内容の一覧	7
6. 報告書の見方	9
(1) 集計上のサービス種別の分類	9
II. 調査結果	10
1. 事業所状況	10
(1) 所在地	10
(2) 組織形態	11
(3) 開設時期	12
(4) サービス種別	13
2. 利用者の状況について	14
(1) 定員と利用者数	14
(2) サービス利用終了の理由	16
(3) サービス利用終了者が出た場合	18
(4) サービスの充足度	21
3. 事業運営について	24
(1) 最新の決算状況	24
(2) 事業所における運営課題	25
(3) 今後3年間の事業展開	27
4. 人材育成・確保について	28
(1) 職員総数	28
(2) 職員の採用者数と離職者数の状況	30
(3) 職員確保の状況	32
(4) 職員確保の方法	33
(5) 職員の新規採用を拡大するための方策	34
(6) 職員の離職理由	35
(7) 職員の就労継続のための取り組み	37
(8) 処遇改善にかかる加算等の取得の有無	38
5. 外国人介護職員について	39
(1) 外国人介護職員の雇用状況	39

(2) 外国人介護職員の今後の受け入れ	40
(3) 外国人介護職員の受け入れ課題	41
6. ICT機器・介護ロボット等について	42
(1) 導入しているICT機器・介護ロボット等	42
(2) ICT機器・介護ロボット等の導入課題	43
7. 町田市介護人材開発センターについて	44
(1) 町田市介護人材開発センターの認知度	44
8. 地域包括ケアシステムについて	48
(1) 今後強化すべき取り組み	48
(2) 「16のまちだアイ・ステートメント」の認知度	49
(3) 医療ニーズがある方への対応課題	50
(4) 看取り対応の状況	51
(5) 医療機関と連携している取り組み	52
9. 町田市への要望等	53
(1) 介護保険や高齢者福祉に関する意見	53
(2) 町田市への要望	58
10. 居宅介護支援事業所・高齢者支援センターについて	62
(1) サービス利用の紹介状況・利用状況と未紹介・未利用の理由	62
(2) 利用希望の多いサービス（利用者本人）	64
(3) 利用希望の多いサービス（利用者家族）	65
(4) 利用希望を断られたサービス	66
(5) 利用者本人または利用者家族が希望するサービス	68
(6) ケアプラン作成における地域資源の活用	70
(7) 入居・入所系サービスの利用希望状況	71
(8) 入居・入所系サービスを希望する理由	72
(9) 住宅改修・福祉用具アドバイザー制度の認知度	73
(10) 住宅改修・福祉用具アドバイザー制度の認識	74
11. 介護保険サービスについて	75
(1) 利用者の紹介と受け入れ状況	75
(2) 定員未満時の受け入れ状況	77
(3) 今後のサービス展開	79
12. 総合事業について	81
(1) 総合事業の実施状況	81
(2) 要介護度別の利用者数（訪問サービス）	87
(3) 1か月間の利用状況（通所サービス）	88
(4) 1か月間の要介護度別のサービス利用者数（通所サービス）	89
III. 単純集計結果表	90
IV. 調査票	114

I. 調査概要

1. 目的

本調査は、介護保険のサービス量の見込みや、介護保険料等について定める「町田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画－第10期－」策定の基礎資料として、介護保険事業所の状況やニーズを把握し、計画に反映させることを目的に実施した。

2. 調査期間

2025年11月4日（火）～2025年12月10日（水）

3. 調査方法

Web フォームを用いた調査（電子メールにより調査依頼を行い、オンライン上で回答を回収）

4. 調査対象及び回収数

調査対象：市内介護保険事業所

サービス種別	発送数	回収数	回収率
居宅介護支援	100	81	81.0%
訪問介護	97	44	45.4%
訪問入浴介護	4	1	25.0%
訪問看護	82	31	37.8%
訪問リハビリテーション	11	3	27.3%
通所介護	71	39	54.9%
総合事業通所型サービス (市基準型単独)	6	4	66.7%
通所リハビリテーション	16	6	37.5%
短期入所生活介護	25	15	60.0%
短期入所療養介護	6	1	16.7%
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	6	2	33.3%
夜間対応型訪問介護	1	0	0.0%
地域密着型通所介護	56	40	71.4%
認知症対応型通所介護	17	8	47.1%
小規模多機能型居宅介護	5	2	40.0%
看護小規模多機能型 居宅介護	3	1	33.3%
特定施設入居者生活介護	37	20	54.1%
認知症対応型共同生活 介護	25	20	80.0%
介護老人福祉施設	22	18	81.8%
地域密着型介護老人福祉 施設入所者生活介護	1	1	100.0%
介護老人保健施設	6	2	33.3%
介護医療院	1	0	0.0%
高齢者支援センター	12	12	100.0%
全体	610	351	57.5%

5. 本書における表記

(1) 圏域の表記

本報告書における「圏域」は、「問1所在地」で得た回答で、下表のとおり分類している。

エリア	圏域	町名
堺・忠生圏域	堺第1	相原町
	堺第2	小山町、小山ヶ丘、上小山田町
	忠生第1	下小山田町、忠生、小山田桜台、矢部町、常盤町、根岸町、根岸、函師町
	忠生第2	山崎町、山崎、木曾町、木曾西、木曾東
鶴川圏域	鶴川第1	小野路町、野津田町、金井、金井町、金井ヶ丘、大蔵町、薬師台
	鶴川第2	能ヶ谷、三輪町、三輪緑山、広袴町、広袴、真光寺町、真光寺、鶴川
町田圏域	町田第1	原町田、中町、森野、旭町
	町田第2	本町田、藤の台
	町田第3	玉川学園、東玉川学園、南大谷
南圏域	南第1	鶴間、小川、つくし野、南つくし野、南町田
	南第2	金森、金森東、南成瀬、成瀬が丘
	南第3	成瀬、西成瀬、高ヶ坂、成瀬台

回答対象となる事業種別については、下表のとおり設問内に事業種別の表記をしている。

事業種別の表記例
共通 = 全事業所
CM = 居宅介護支援事業所
訪問 = 訪問介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）
訪問入浴 = 訪問入浴介護
訪問看護 = 訪問看護
訪問リハ = 訪問リハビリテーション
通所 = 通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）
総合事業通所 = 総合事業通所型サービス（市基準型単独）
通所リハ = 通所リハビリテーション
短期入所生活介護 = 短期入所生活介護
短期入所療養介護 = 短期入所療養介護
定期巡回 = 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
夜間 = 夜間対応型訪問介護
密着デイ = 地域密着型通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）
認知デイ = 認知症対応型通所介護
(看)小多機 = 小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護
GH = 認知症対応型共同生活介護
密着特養 = 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
支セ = 高齢者支援センター

(2) 調査内容の一覧

共通設問	回答対象の事業種別※
問1 所在地（単数回答）	共通
問2 組織形態（単数回答）	
問3 開設時期（数値回答）	
問4 サービス種別（単数回答）	
問5 定員と利用者数（数値回答）	
問6 サービス利用終了の理由（各単数回答）	
問7 サービス利用終了者が出た場合（単数回答）	
問7-1 サービス利用を断られたときの主な理由（複数回答）	
問8 サービスの充足度（各単数回答）	
問9 最新の決算状況（単数回答）	
問9-1 赤字の原因（単数回答）	
問10 事業所における運営課題（複数回答）	
問11 今後3年間の事業展開（単数回答）	
問12① 職員総数（数値回答）	
問12② 職員の採用者数と離職者数の状況（数値回答）	
問13 職員確保の状況（単数回答）	
問14 職員確保の方法（複数回答）	
問15 職員の新規採用を拡大するための方策（複数回答）	
問16 職員の離職理由（複数回答）	
問17 職員の就労継続のための取り組み（複数回答）	
問18 処遇改善にかかる加算等の取得の有無（単数回答）	
問18-1 加算等の取得をしない理由（複数回答）	
問19① 在留資格別の外国人介護職員の雇用状況（数値回答）	
問19② 外国人介護職員の今後の受け入れ（単数回答）	
問20 外国人介護職員の受け入れに対する課題（複数回答）	
問21 導入しているICT機器・介護ロボット等（複数回答）	
問22 ICT機器・介護ロボット等の導入に対する課題（複数回答）	
問23 町田市介護人材開発センターの認知度（単数回答）	
問23-1 町田市介護人材開発センターに求めること（自由記述）	
問24 今後強化すべき取り組み（複数回答）	
問25 「16のまちだアイ・ステートメント」の認知度（単数回答）	
問26 医療ニーズがある方への対応についての課題（複数回答）	
問27 看取り対応の状況（単数回答）	
問28 医療機関と連携して取り組んでいること（複数回答）	
問29 介護保険や高齢者福祉に関する意見（自由記述）	
問30 町田市への要望（自由記述）	

事業種別設問	回答対象の事業種別※
問 31 サービス利用の紹介・利用状況（各単数回答） 未紹介・未利用の理由（各複数回答）	CM 支セ
問 32① 利用希望の多いサービス（利用者本人）（複数回答） 問 32② 利用希望の多いサービス（利用者家族）（複数回答）	CM 支セ
問 33① 「定員に空きがない」ことを理由に利用希望を断られたサービス （複数回答） 問 33② 「送迎や訪問等のサービス提供実施地域外」であることを理由に利用 希望を断られたサービス（複数回答）	CM 支セ
問 34 利用者または利用者家族が希望するサービス（各単数回答）	CM 支セ
問 35 ケアプラン作成における地域資源の活用経験の有無（単数回答） 問 35-1 活用した地域資源（複数回答）	CM 支セ
問 36 入居・入所系サービスの利用希望状況（数値回答）	CM 支セ
問 37 入居・入所系サービスを希望する理由（複数回答）	CM 支セ
問 38 住宅改修・福祉用具アドバイザー制度の認知度（単数回答） 問 38-1 アドバイザーへ助言を求めるタイミング（複数回答）	CM 支セ
問 39 住宅改修・福祉用具アドバイザー制度について感じる事（複数回答）	CM 支セ
問 40 利用者の紹介の有無（単数回答） 問 40-1 利用開始の有無（各単数回答） 利用開始にならなかった理由（各単数回答）	CM 訪問 訪問入浴 訪問看護 訪問リハ 通所 総合事業通所 通所リハ 短期入所生活介護 短期入所療養介護 定期巡回 夜間 密着デイ 認知デイ (看) 小多機 GH 密着特養 支セ
問 41 定員まで利用者を受け入れられない状況（単数回答） 問 41-1 定員まで利用者を受け入れられない場合の主な理由（単数回答）	CM 訪問 訪問入浴 訪問看護 訪問リハ 通所 総合事業通所 通所リハ 短期入所生活介護 短期入所療養介護 定期巡回 夜間 密着デイ 認知デイ (看) 小多機 支セ
問 42 提供しているサービスの今後（単数回答） 問 42-1 縮小または廃止を考えている理由（複数回答）	訪問 通所 定期巡回 夜間 密着デイ 認知デイ (看) 小多機 GH 密着特養
問 43 総合事業の実施状況（単数回答） 問 43-1 実施している総合事業のサービスの型（複数回答） 問 43-2 総合事業に対しての利用者からの要望（複数回答） 問 43-3 総合事業実施上の課題（複数回答） 問 43-4 総合事業の実施予定（単数回答） 問 43-5 実施予定の総合事業（複数回答） 問 43-6 実施予定がない理由（複数回答）	訪問 通所 総合事業通所 密着デイ
問 44 要介護度別の利用者数（数値回答）	訪問
問 45 1 か月間の利用状況（数値回答）	通所 総合事業通所 密着デイ
問 46 1 か月間の要介護度別のサービス利用者数（数値回答）	通所 総合事業通所 密着デイ

※事業種別の表記例につきましては P2 をご参照ください。

6. 報告書の見方

- ・ 百分率（％）は、すべて小数点以下第2位を四捨五入した数値であるため、合計が100％にならない場合がある。
- ・ 本文中に掲載した図表の単位は、特にことわりのない限り、「％」であらわしている。
- ・ グラフ内の（ ）は、質問の回答数（母数）を表している。
- ・ グラフ内の「回答者」は、各設問に該当する回答の総数であり、回答率（％）の母数をあらわしている。

(1) 集計上のサービス種別の分類

サービス類型別	サービス分類別	サービス種別
CM	CM	居宅介護支援
在宅系	訪問型	訪問介護（国基準型訪問サービス、市基準型訪問サービスを含む） 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護
	通所型	通所介護（国基準型通所サービス、市基準型通所サービスを含む） 総合事業通所型サービス（市基準型単独） 通所リハビリテーション 認知症対応型通所介護 地域密着型通所介護
	短期入所型	短期入所生活介護 短期入所療養介護
	多機能型	小規模多機能型居宅介護 看護小規模多機能型居宅介護
入居・施設系	介護施設	介護老人福祉施設 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 介護老人保健施設 介護医療院
	GH・特定施設	認知症対応型共同生活介護 特定施設入居者生活介護
支セ	支セ	高齢者支援センター

II. 調査結果

1. 事業所状況

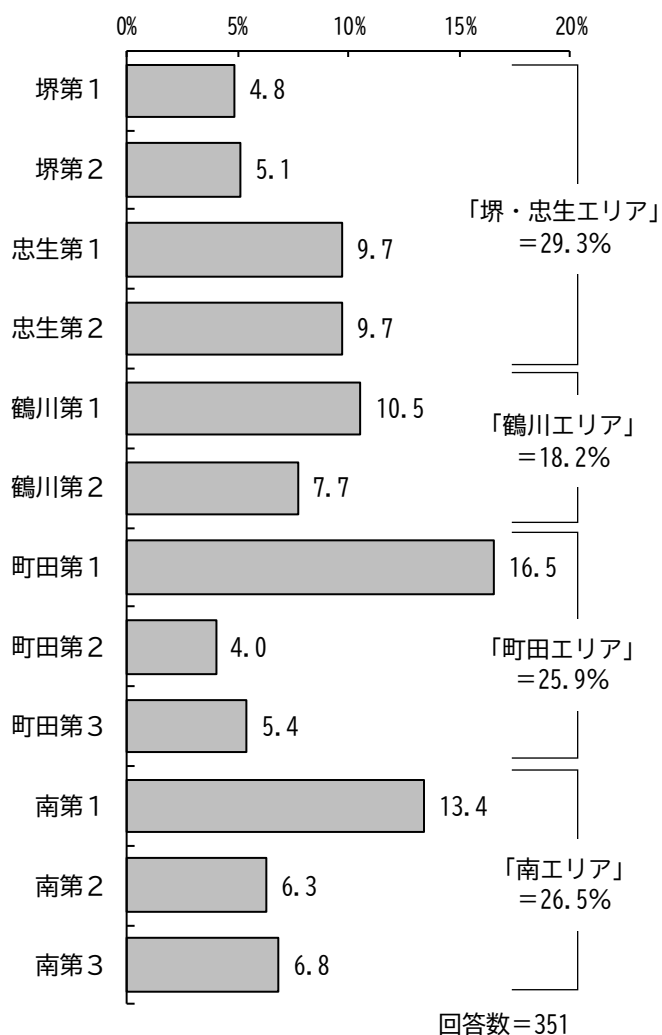
(1) 所在地

問1 貴事業所の所在地をお答えください。(○は1つ) **共通**

回答事業所の所在地は、「町田第1」圏域(16.5%)が最も高く、次いで「南第1」圏域(13.4%)、「鶴川第1」圏域(10.5%)と続いている。

エリアで分類すると、「堺・忠生エリア」が29.3%、「鶴川エリア」が18.2%、「町田エリア」が25.9%、「南エリア」が26.5%となっている。

図表 1-1 所在地 (単数回答)



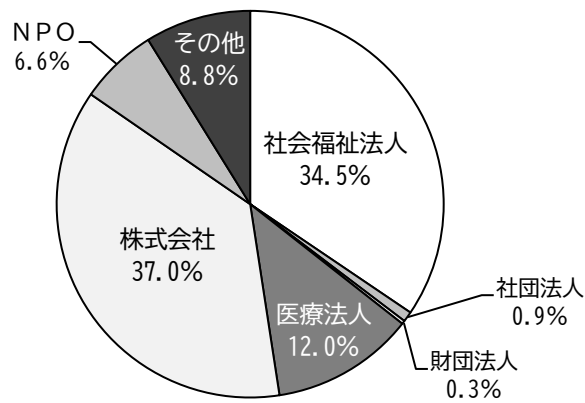
※ 「 」の合計値は、それぞれが小数点以下第2位を四捨五入した数値であるため異なっている。

(2) 組織形態

問2 貴事業所の組織形態をお答えください。(○は1つ) **共通**

回答事業所の組織形態は、「株式会社」(37.0%)が最も高く、次いで「社会福祉法人」(34.5%)「医療法人」(12.0%)と続いている。

図表 1-2 組織形態 (単数回答)



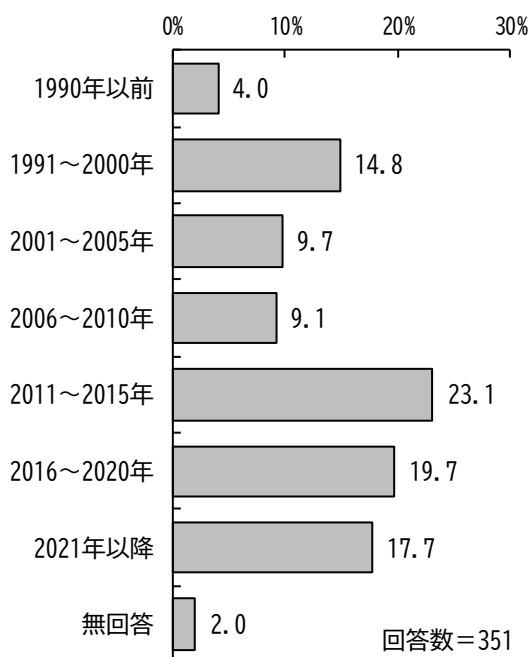
回答数=351

(3) 開設時期

問3 貴事業所の開設時期について、ご記入ください。(数字を記入) 共通

回答事業所の開設時期は、「2011～2015年」(23.1%)が最も高く、次いで「2016～2020年」(19.7%)、「2021年以降」(17.7%)となっている。

図表 1-3 開設時期 (単数回答)



(4) サービス種別

問4 貴事業所の種類（メール本文の宛名に記載のサービス種別）をお答えください。

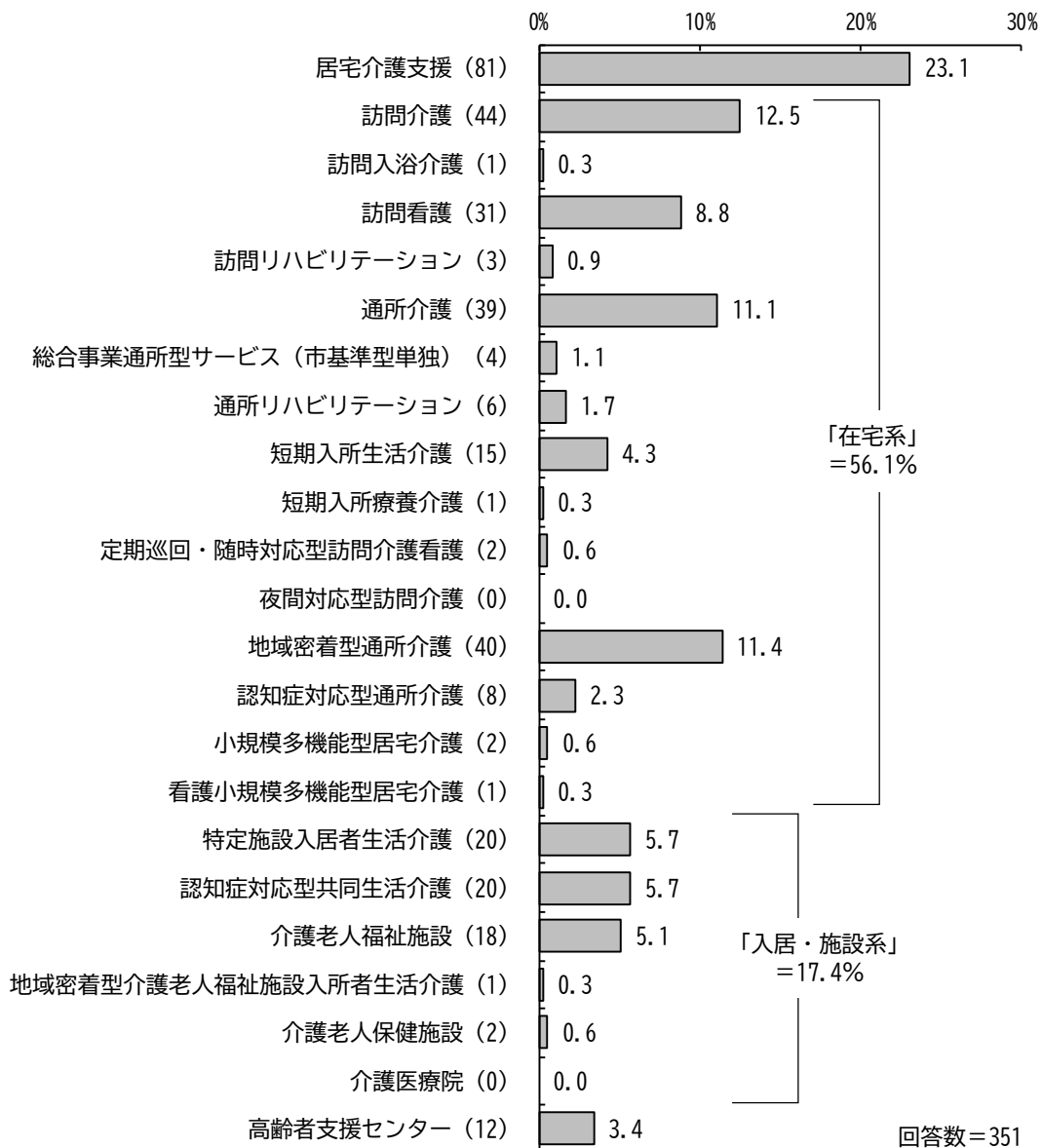
(○は1つ) 共通

※介護予防（予防給付）については、それぞれのサービスに含めてお考えください。

全ての回答に占める事業所のサービス種別の割合は、「居宅介護支援」(23.1%)が最も高く、次いで「訪問介護（国基準型・市基準型訪問サービスを含む）」(12.5%)、「地域密着型通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）」(11.4%)、「通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）」(11.1%)と続いている。

サービス種別を居宅介護支援及び、高齢者支援センターを除いて、「在宅系」と「入居・施設系」に分類すると、「在宅系」は56.1%、「入居・施設系」は17.4%となっている。

図表 1-4 サービス種別（単数回答）



※「 」の合計値は、それぞれが小数点以下第2位を四捨五入した数値であるため異なっている

2. 利用者の状況について

(1) 定員と利用者数

問5 貴事業所（問4で○をつけたサービス種別の事業所）の2025年10月の定員
または登録定員、または実利用者数、および1日あたりの平均利用者数を
ご記入ください。**共通**

※総合事業通所型サービス（市基準型単独）は回答不要です。

※2. 訪問介護、6. 通所介護、13. 地域密着型通所介護については、総合事業（国基準型サービス、市基準型サービス）を含めないでご記入ください。

各サービスごとの平均は下表のとおりである。

図表 2-1 10月の実利用者数、平均利用者数/日、登録定員、定員数（平均）

	10月の実利用者数		平均利用者数/日		登録定員		定員	
	回答数	平均	回答数	平均	回答数	平均	回答数	平均
居宅介護支援	81	125.6						
高齢者支援センター	12	340.0						
訪問介護	42	56.4	40	23.8				
訪問入浴介護	1	90.0	1	90.0				
訪問看護	30	81.9	30	21.7				
訪問リハビリテーション	3	40.0	3	9.4				
夜間対応型訪問介護	0	-	0	-				
小規模多機能型居宅介護			2	10.1	2	21.0		
看護小規模多機能型居宅介護			1	8.8	1	11.0		
通所介護			39	42.1			39	51.0
通所リハビリテーション			6	18.2			6	47.2
短期入所生活介護			15	9.8			15	11.1
短期入所療養介護			1	2.2			0	
定期巡回・随時対応型訪問介護看護			1	14.0			1	14.0
地域密着型通所介護			39	11.7			40	14.4
認知症対応型通所介護			8	10.1			8	19.3
特定施設入居者生活介護			17	56.0			20	65.6
認知症対応型共同生活介護			18	16.7			20	17.0
介護老人福祉施設			17	90.0			18	95.7
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護			1	18.7			1	20.0
介護老人保健施設			2	121.9			2	135.0
介護医療院			0	-			0	-

サービス種別では、下表のとおりとなっている。

図表 2-2 稼働率／サービス種別

	回答数	平均
全 体	164	81.9%
通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）	37	72.3%
通所リハビリテーション	6	48.1%
短期入所生活介護	15	91.5%
短期入所療養介護	0	-
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	100.0%
地域密着型通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）	39	80.5%
認知症対応型通所介護	8	52.3%
特定施設入居者生活介護	17	92.0%
認知症対応型共同生活介護	18	98.8%
小規模多機能型居宅介護	2	51.8%
看護小規模多機能型居宅介護	1	80.0%
介護老人福祉施設	17	96.2%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	93.4%
介護老人保健施設	2	90.7%
介護医療院	0	-

(2) サービス利用終了の理由

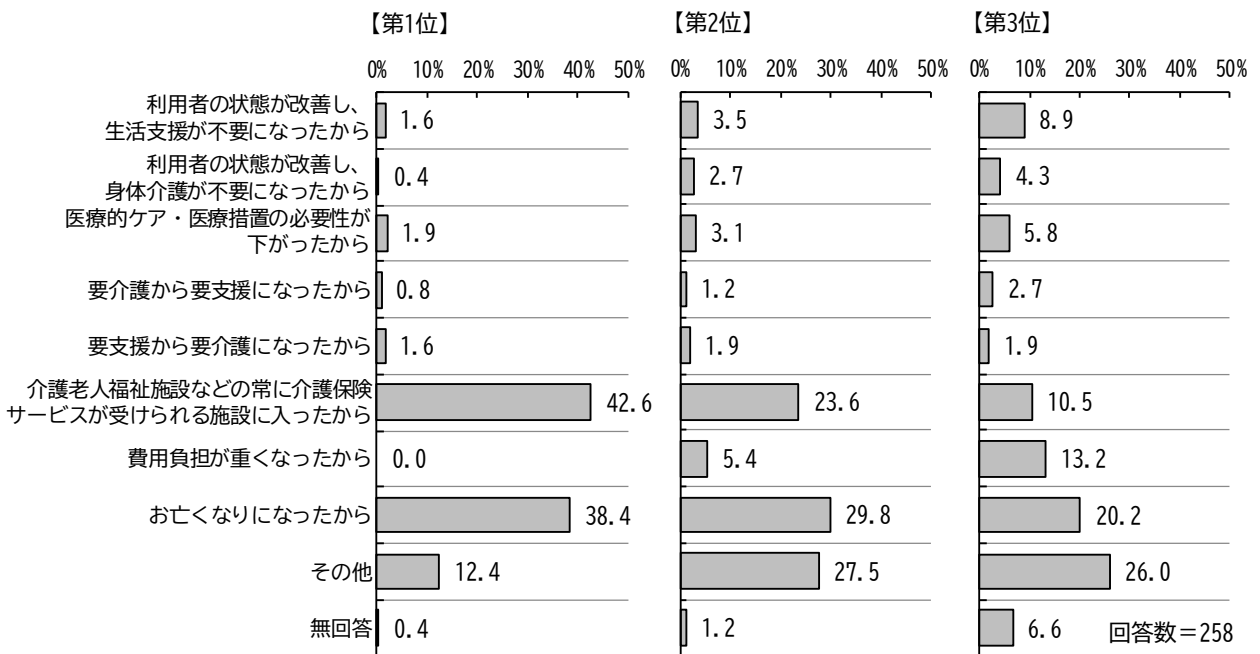
問6 貴事業所の利用者が、利用を終了する理由は何ですか。

終了する理由を上位3位まで選んで番号をご記入ください。【共通】

※居宅介護支援事業所、高齢者支援センターは回答不要です。

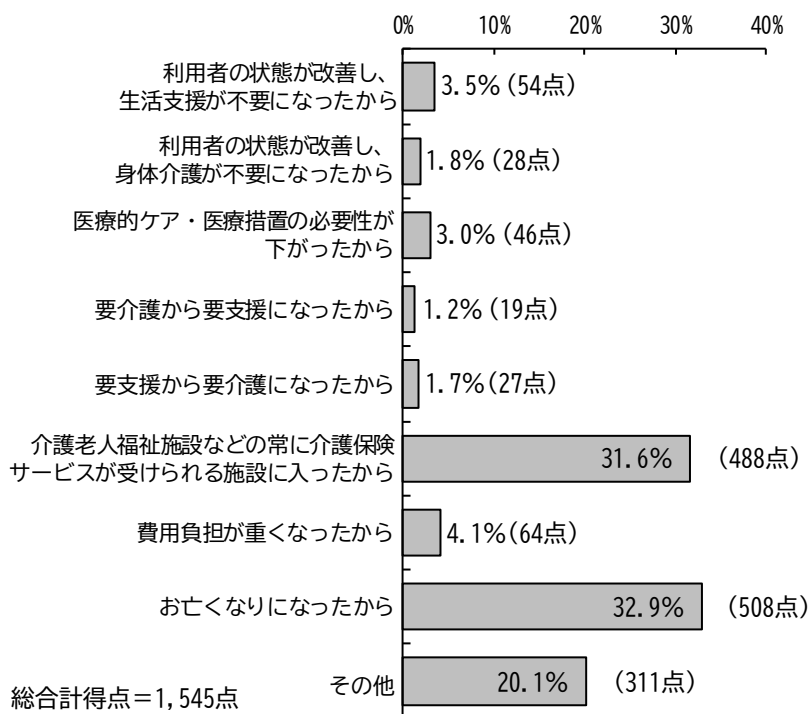
利用者がサービス利用を終了する理由について、第1位では「介護老人福祉施設などの常に介護保険サービスが受けられる施設に入ったから」(42.6%)が最も高く、次いで「お亡くなりになったから」(38.4%)となっている。第2位では「お亡くなりになったから」(29.8%)が最も高く、次いで「その他」(27.5%)となっている。第3位では「その他」(26.0%)が最も高く、次いで「お亡くなりになったから」(20.2%)となっている。

図表 2-3 サービス利用終了の理由 (各単数回答)



利用者がサービス利用を終了する理由を合計得点でみると、「お亡くなりになったから」(32.9%)が最も高く、次いで「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)などの常に介護保険サービスが受けられる施設に入ったから」(31.6%)、「その他」(20.1%)となっている。

図表 2-4 サービス利用終了の理由【合計得点】



※1位で選択した理由を3点、2位を2点、3位を1点として各選択肢の合計点数を総合計得点で除して集計している。

(3) サービス利用終了者が出た場合

問7 サービスの利用を終了する者がでた場合、すぐに次のサービスの利用者が見つかりますか。(○は1つ) **共通**

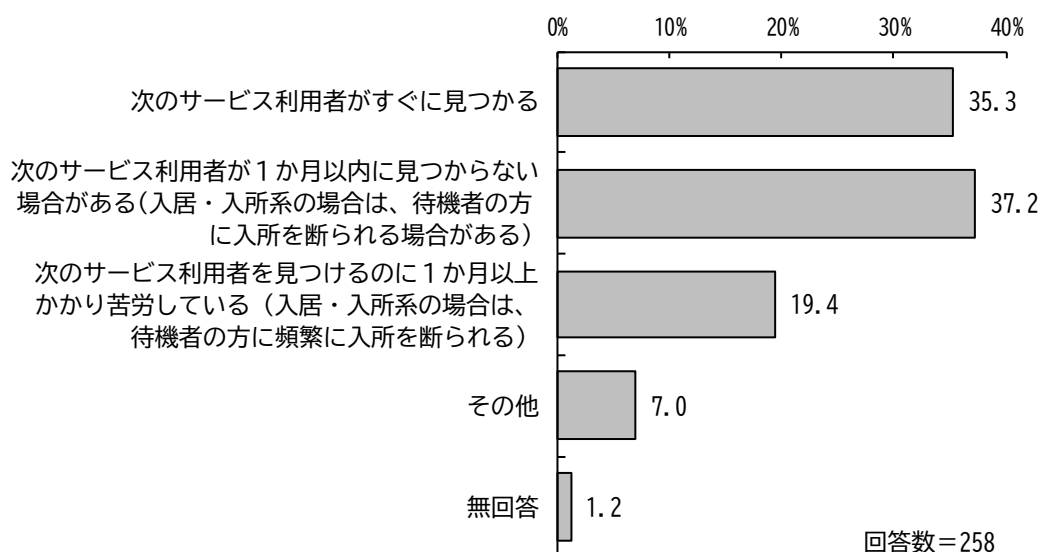
※居宅介護支援事業所、高齢者支援センターは回答不要です。

※問7で「2. 次のサービス利用者が1か月以内に見つからない場合がある(入居・入所系の場合は、待機者の方に入所を断られる場合がある)」「3. 次のサービス利用者を見つけるのに1か月以上かかり苦労している(入居・入所系の場合は、待機者の方に頻繁に入所を断られる)」と回答した事業所におたずねします

問7-1 断られたときの主な理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

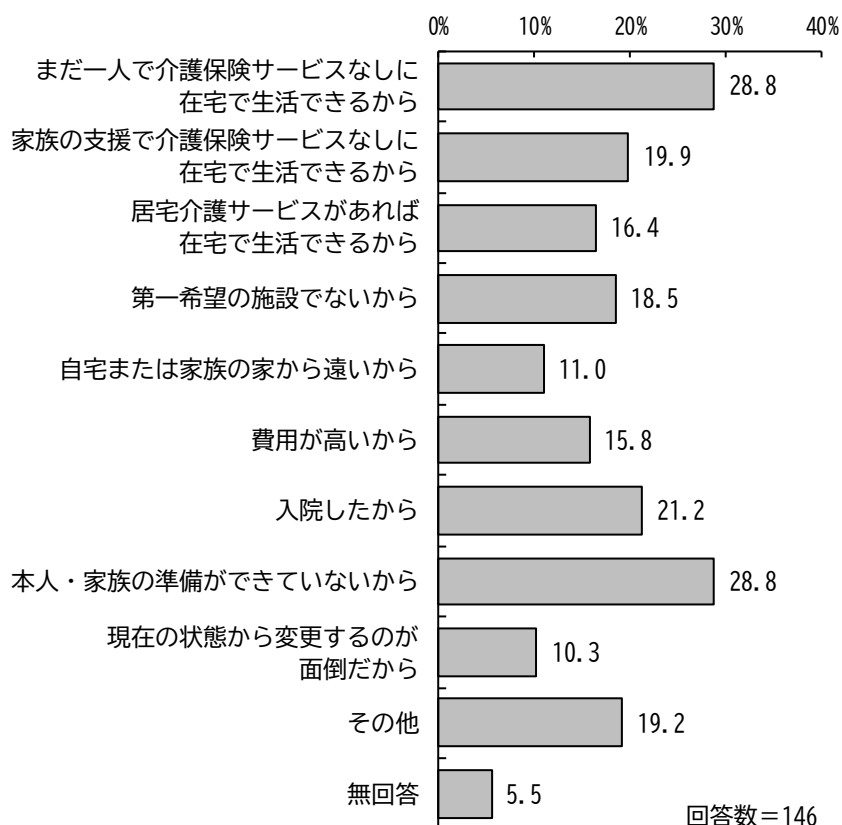
サービス利用終了者が出た場合、「次のサービス利用者が1か月以内に見つからない場合がある(入居・入所系の場合は、待機者の方に入所を断られる場合がある)」(37.2%)が最も高く、次いで「次のサービス利用者がすぐに見つかる」(35.3%)、「次のサービス利用者を見つけるのに1か月以上かかり苦労している(入居・入所系の場合は、待機者の方に頻繁に入所を断られる)」(19.4%)となっている。

図表 2-5 サービス利用終了者が出た場合(単数回答)



サービス利用を断られたときの主な理由は、「まだ一人で介護保険サービスなしに在宅で生活できるから」「本人・家族の準備ができていないから」（ともに 28.8%）が高くなっており、次いで「入院したから」（21.2%）、「家族の支援で介護保険サービスなしに在宅で生活できるから」（19.9%）となっている。

図表 2-6 サービス利用を断られたときの主な理由（複数回答）



サービス利用を断られたときの主な理由をサービス種別にみると、「入院したから」の割合が高いのは、訪問介護（34.6%）、訪問看護（31.3%）となっている。「本人・家族の準備ができていないから」の割合が高いのは、特定施設入居者生活介護（53.8%）となっている。「まだ一人で介護保険サービスなしに在宅で生活できるから」の割合が高いのは、通所介護（47.6%）、訪問介護（46.2%）となっている。

図表 2-7 サービス利用を断られたときの主な理由／サービス種別

	回答数	まだ一人で介護保険サービスなしに在宅で生活できるから	家族の支援で介護保険サービスなしに在宅で生活できるから	居宅介護サービスがあれば在宅で生活できるから	第一希望の施設でないから	自宅または家族の家から遠いから	費用が高いから	入院したから	本人・家族の準備ができていないから	現在の状態から変更するのが面倒だから	その他	無回答	
全体	146	28.8	19.9	16.4	18.5	11.0	15.8	21.2	28.8	10.3	19.2	5.5	
サービス種別	訪問介護	26	46.2	26.9	3.8	0.0	3.8	11.5	34.6	19.2	7.7	15.4	3.8
	訪問看護	16	25.0	25.0	18.8	6.3	6.3	18.8	31.3	12.5	25.0	18.8	12.5
	通所介護	21	47.6	28.6	19.0	19.0	4.8	0.0	14.3	38.1	4.8	14.3	4.8
	総合事業通所型サービス（市基準型単独）	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	通所リハビリテーション	4	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	短期入所生活介護	5	20.0	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	短期入所療養介護	1	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	地域密着型通所介護	21	19.0	9.5	0.0	42.9	4.8	0.0	23.8	9.5	4.8	28.6	9.5
	認知症対応型通所介護	7	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6	14.3	14.3	28.6
	小規模多機能型居宅介護	2	0.0	0.0	50.0	100.0	50.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	看護小規模多機能型居宅介護	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	特定施設入居者生活介護	13	23.1	15.4	30.8	15.4	7.7	46.2	7.7	53.8	7.7	15.4	0.0
	認知症対応型共同生活介護	18	11.1	27.8	22.2	33.3	22.2	27.8	5.6	33.3	5.6	22.2	0.0
介護老人福祉施設	7	14.3	14.3	42.9	14.3	14.3	14.3	42.9	85.7	28.6	14.3	0.0	
介護老人保健施設	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	

※訪問入浴介護、訪問リハビリテーション、夜間対応型訪問介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護医療院は、回答数が0のため掲載していない。
 ※クロス表中、着色により示した区分は、回答事業所が2桁以上の区分である。
 ※クロス表のコメントは、回答事業所数が2桁以上の場合のみ記載している。

(4) サービスの充足度

問8 町田市におけるサービスの充足度をどのようにとらえていますか。

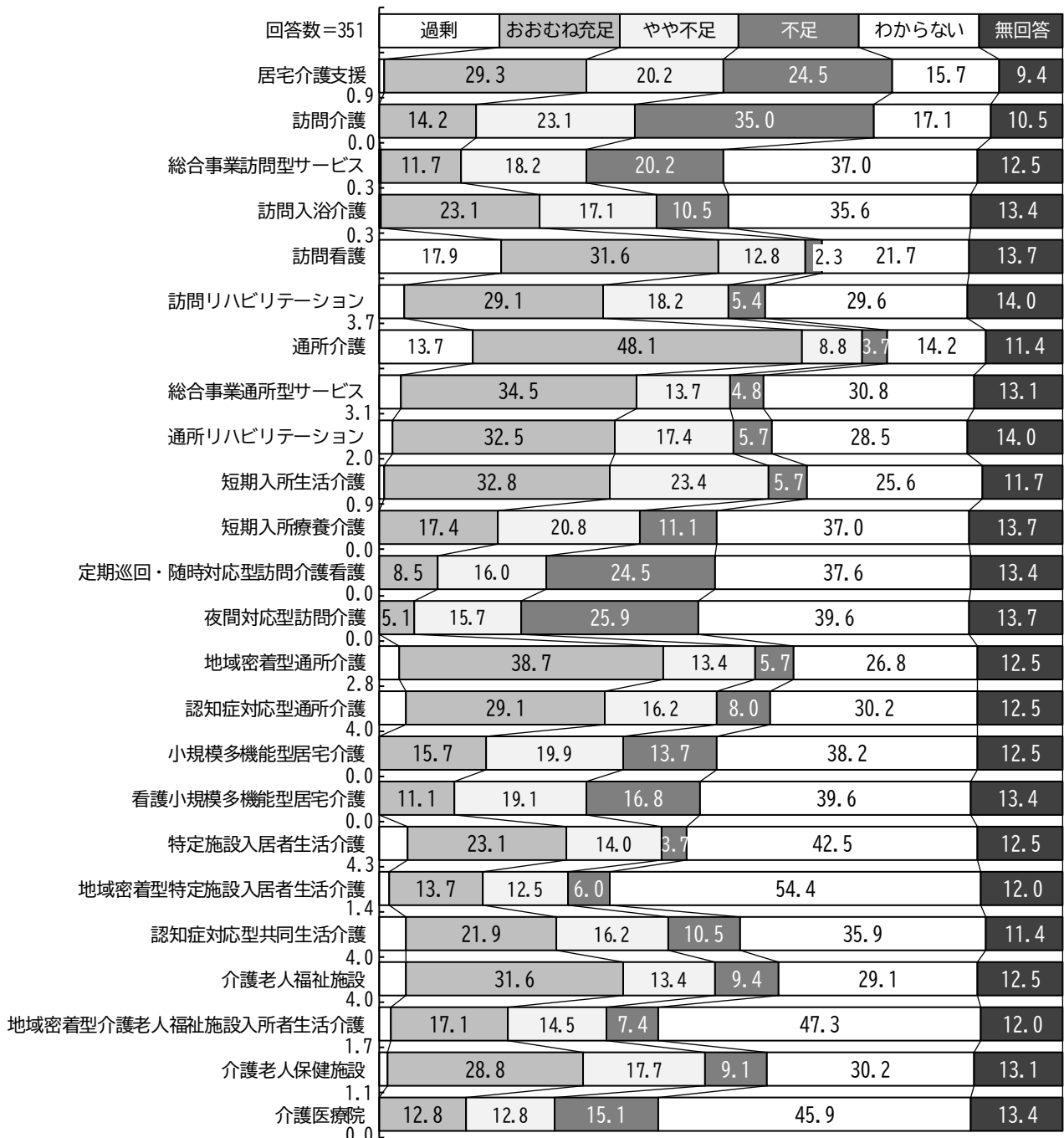
(各サービス○は1つ) 共通

※介護予防（予防給付）については、それぞれのサービスに含めてお考えください。

サービスの充足度について、「過剰」の割合が高いのは、「訪問看護」（17.9%）、「通所介護」（13.7%）となっている。

「不足」の割合が高いのは、「訪問介護」（35.0%）、次いで「夜間対応型訪問介護」（25.9%）、「居宅介護支援」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」（ともに24.5%）となっている。

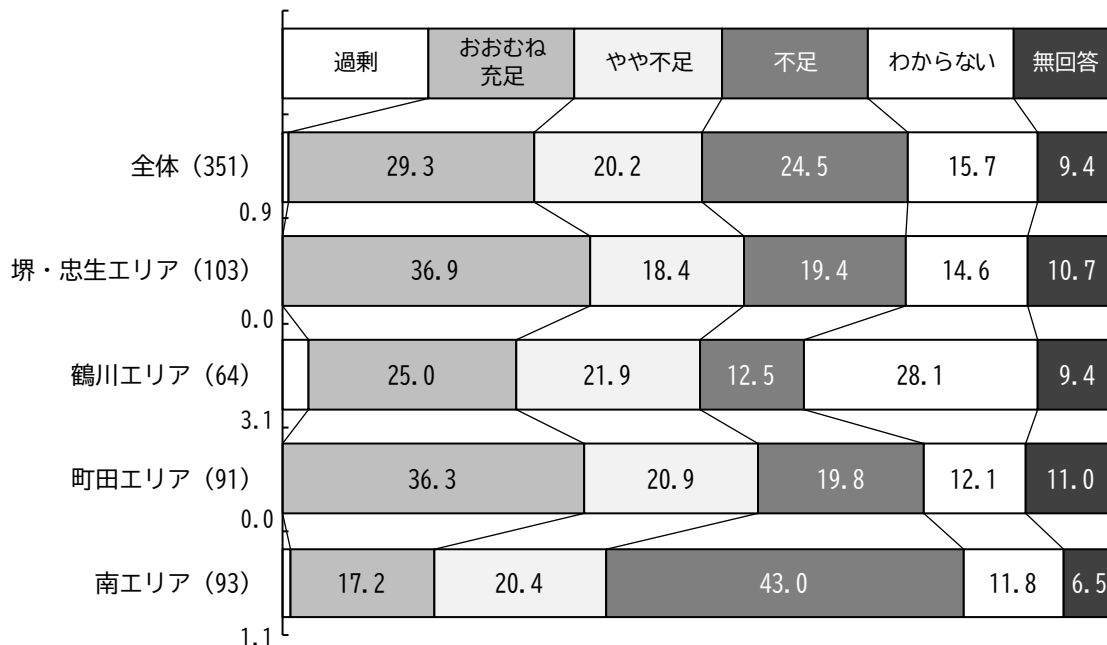
図表 2-8 サービスの充足度（各単数回答）



居宅介護支援の充足度をエリア別にみると、堺・忠生エリアでは 36.9%が「おおむね充足」となっている。一方、南エリアでは「やや不足」「不足」を合わせて 63.4%となっている。

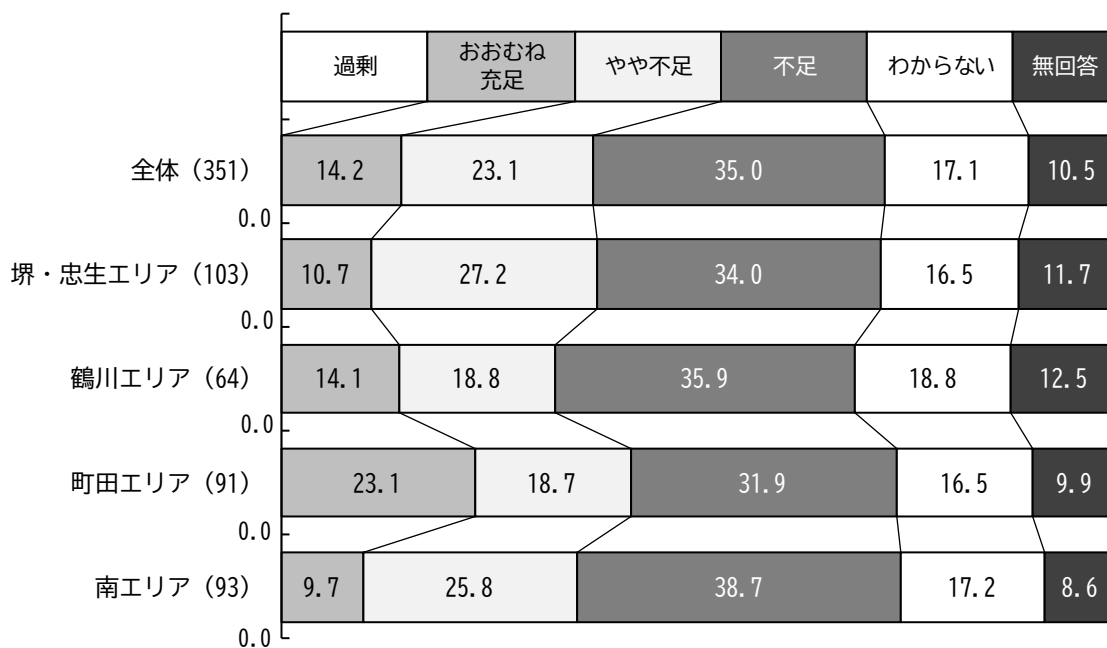
図表 2-9 サービスの充足度／エリア別

【居宅介護支援】



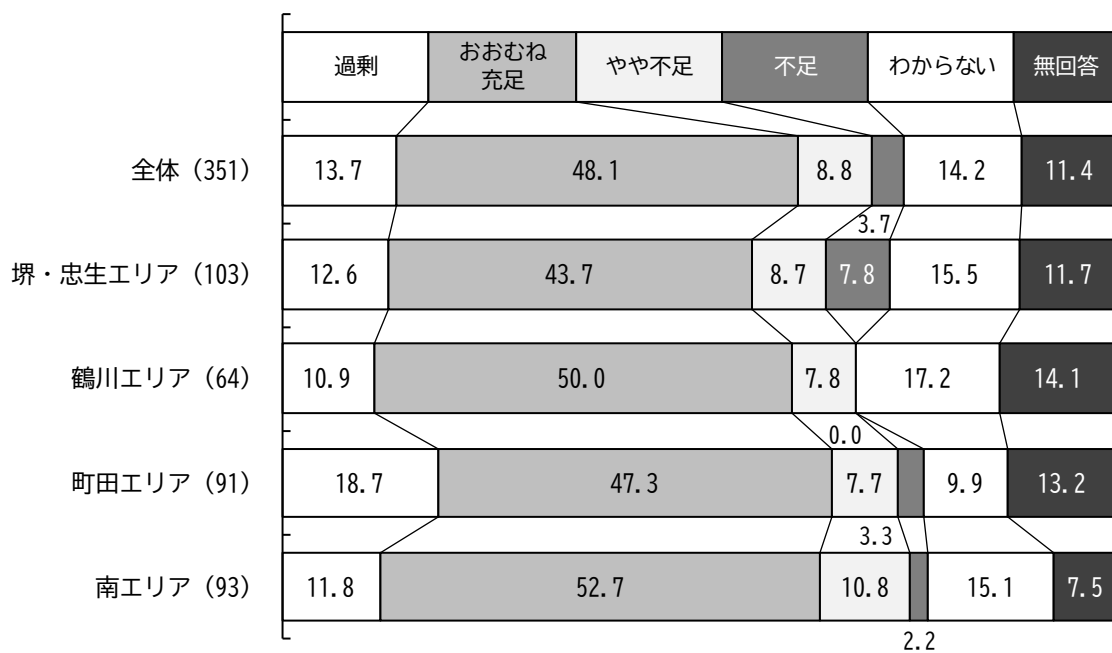
訪問介護の充足度をエリア別にみると、町田エリアで 23.1%が「おおむね充足」となっている。一方、南エリアでは「やや不足」「不足」を合わせて 64.5%となっている。

【訪問介護】



通所介護の充足度をエリア別にみると、南エリアで52.7%が「おおむね充足」となっている。一方、堺・忠生エリアでは「やや不足」「不足」を合わせて16.5%となっている。

【通所介護】



3. 事業運営について

(1) 最新の決算状況

問9 貴事業所での、最新の決算状況はいかがでしたか。(〇は1つ) **共通**

※高齢者支援センターは回答不要です。

※問9で「2.赤字」と回答した事業所におたずねします。

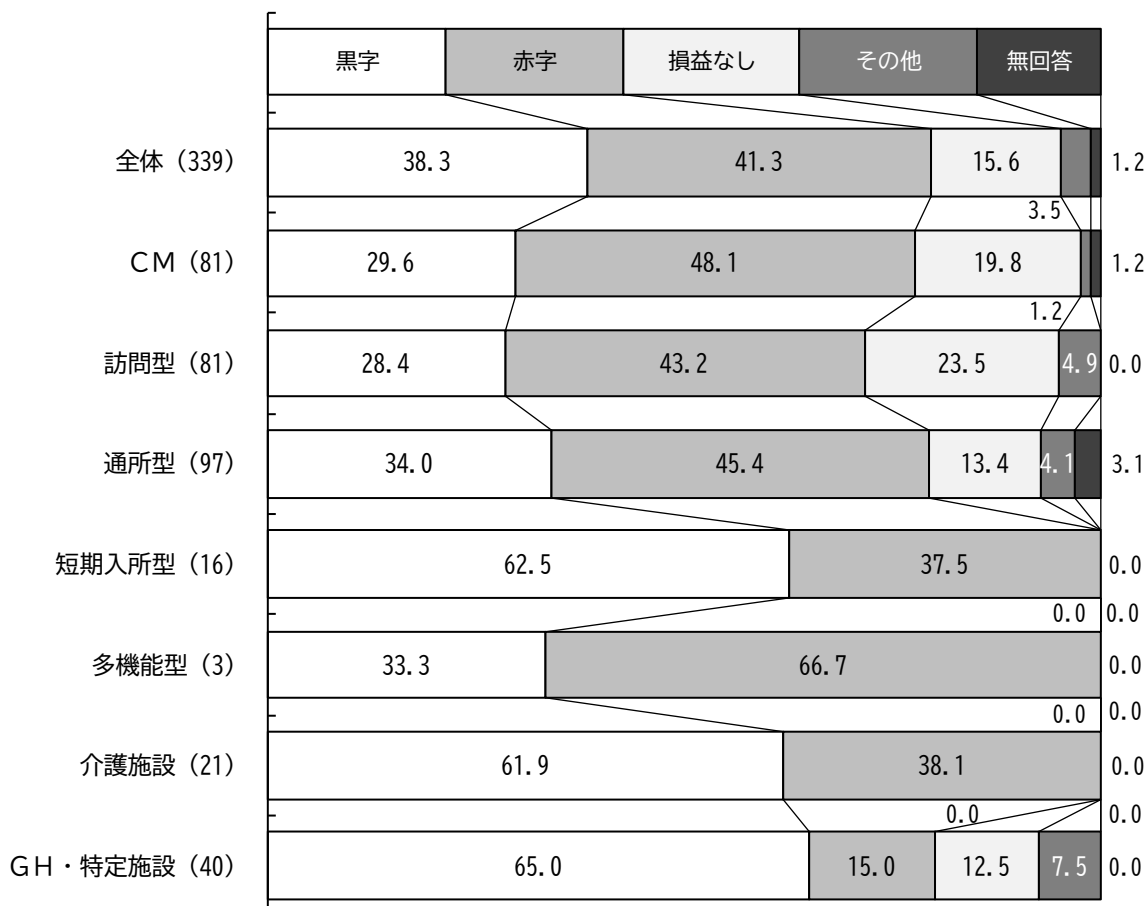
問9-1 赤字の場合、主な原因を1つ選択してください。(〇は1つ)

最新の決算状況は、「黒字」が38.3%、「赤字」が41.3%、「損益なし」が15.6%となっている。

サービス分類別にみると、「黒字」の割合が高いのは、GH・特定施設(65.0%)、短期入所型(62.5%)、介護施設(61.9%)となっている。

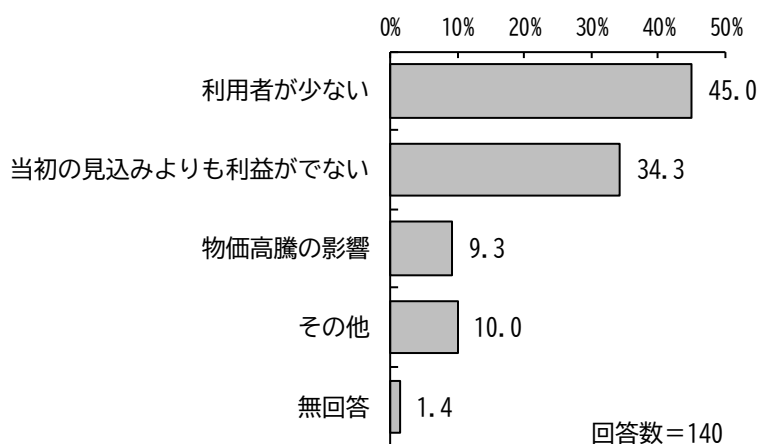
一方、「赤字」の割合が高いのは、多機能型(66.7%)、CM(48.1%)、通所型(45.4%)、訪問型(43.2%)となっている。

図表 3-1 最新の決算状況(単数回答) / サービス分類別



赤字の原因は、「利用者が少ない」(45.0%)が最も多く、次いで「当初の見込みよりも利益がでない」(34.3%)、「物価高騰の影響」(9.3%)となっている。

図表 3-2 赤字の原因(単数回答)



(2) 事業所における運営課題

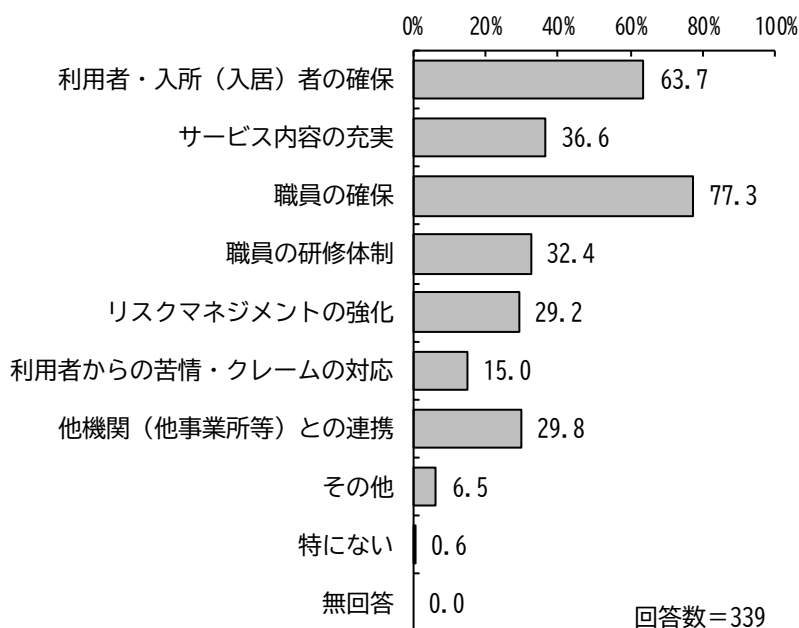
問10 貴事業所の運営課題について、どのように考えていますか。

(当てはまるもの全てに○) **共通**

※高齢者支援センターは回答不要です。

事業所における運営課題は、「職員の確保」(77.3%)が最も高く、次いで「利用者・入所(入居)者の確保」(63.7%)、「サービス内容の充実」(36.6%)、「職員の研修体制」(32.4%)と続いている。

図表 3-3 事業所における運営課題(複数回答)



事業所における運営課題の「利用者・入所（入居）者の確保」をサービス分類別にみると、CMは全体（63.7%）を下回っている。

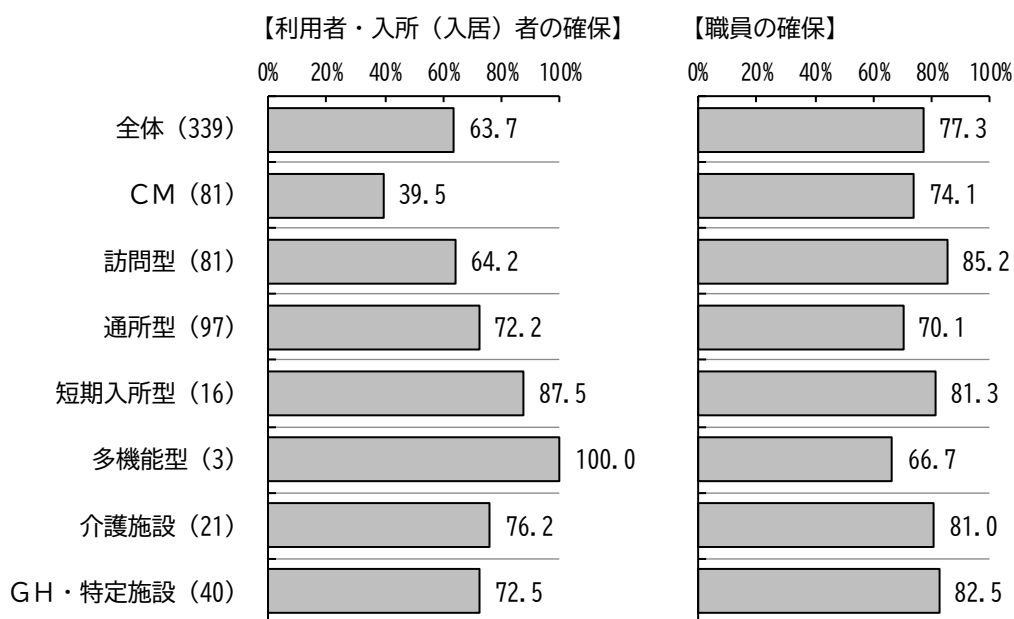
また、「職員の確保」をサービス分類別にみると、訪問型、短期入所型、介護施設、GH・特定施設は全体（77.3%）を上回っている。

図表 3-4 事業所における運営課題／サービス分類別

	回答数	利用者・入所（入居）者の確保	サービス内容の充実	職員の確保	職員の研修体制	リスクマネジメントの強化	利用者からの苦情・クレームの対応	他機関（他事業所等）との連携	その他	特にない	無回答	
全体	339	63.7	36.6	77.3	32.4	29.2	15.0	29.8	6.5	0.6	0.0	
サービス分類別	CM	81	39.5	21.0	74.1	25.9	24.7	13.6	29.6	8.6	1.2	0.0
	訪問型	81	64.2	33.3	85.2	32.1	24.7	9.9	29.6	6.2	0.0	0.0
	通所型	97	72.2	46.4	70.1	33.0	28.9	14.4	29.9	7.2	1.0	0.0
	短期入所型	16	87.5	56.3	81.3	37.5	43.8	37.5	37.5	6.3	0.0	0.0
	多機能型	3	100.0	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	介護施設	21	76.2	57.1	81.0	52.4	47.6	19.0	28.6	4.8	0.0	0.0
	GH・特定施設	40	72.5	32.5	82.5	32.5	35.0	20.0	30.0	2.5	0.0	0.0

※クロス表のコメントは、回答事業所数が2桁以上の場合のみ記載している。

図表 3-5 事業所における運営課題の抜粋



(3) 今後3年間の事業展開

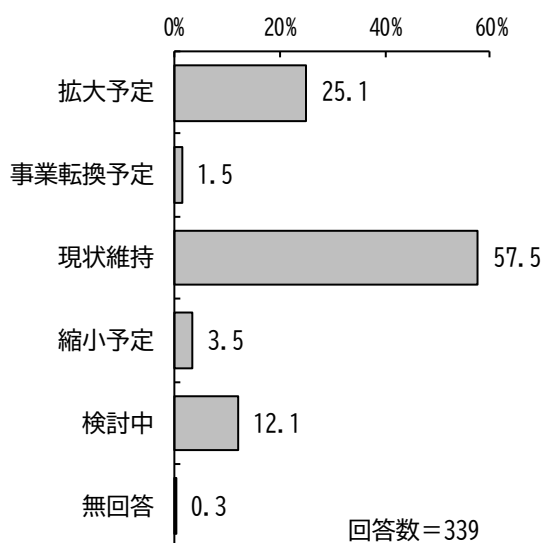
問11 貴法人における今後3年間の事業展開について、どのように考えていますか。

(○は1つ) 共通

※高齢者支援センターは回答不要です。

今後3年間の事業展開は、「現状維持」(57.5%)が最も高く、次いで「拡大予定」(25.1%)、「検討中」(12.1%)となっている。

図表 3-6 今後3年間の事業展開 (単数回答)



4. 人材育成・確保について

(1) 職員総数

問12 貴事業所（問4で○をつけたサービス種別の事業所）に所属する職員について、おたずねします。

※ここでの「職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。）

また、「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

問12① 2025年10月1日時点での職員の総数をご記入ください。（数字を記入）共通

※該当する職員がない場合は、「0人」とご記入ください。

回答事業所の職員総数について、職種別の正規職員・非正規職員の割合をみると、「介護職員・正規職員」（31.6％）が最も高く、次いで「介護職員・非正規職員」（26.4％）となっている。

図表 4-1 職員総数と割合

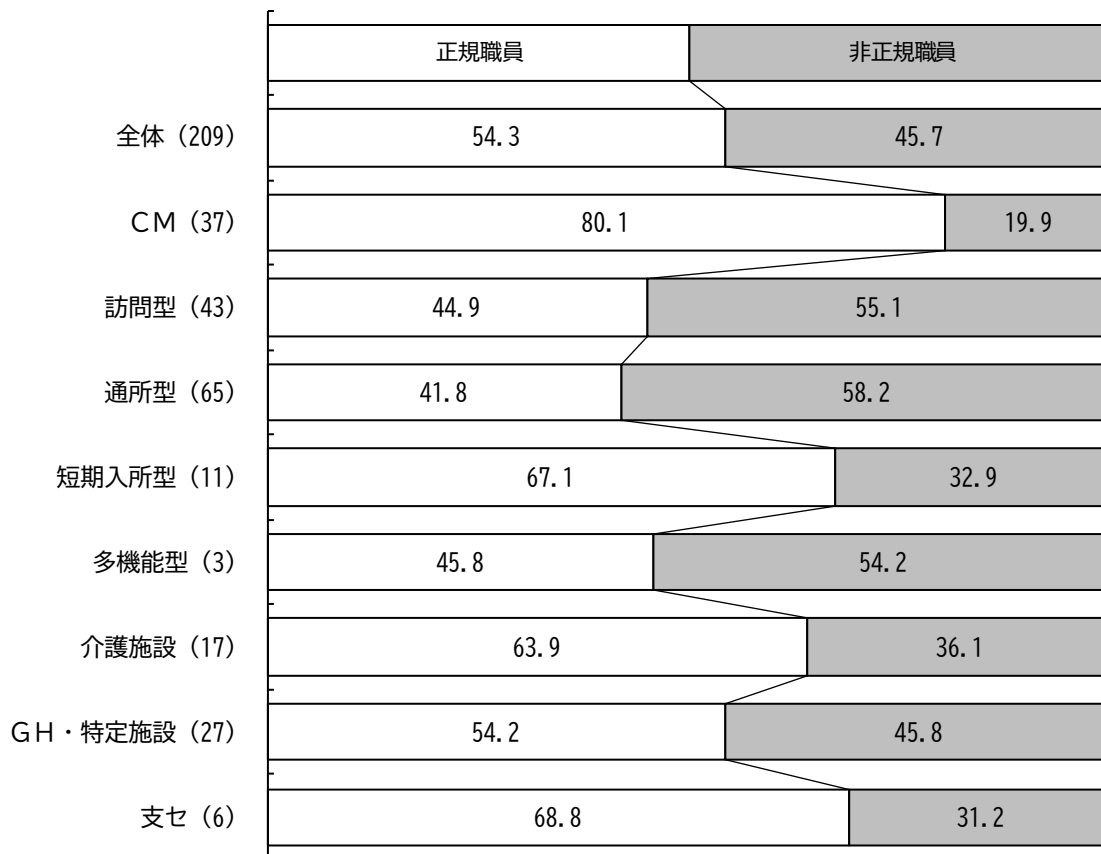
	職員総数（単位：人）			割合（単位：％）		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員	非正規職員	合計
①介護職員	1,519	1,270	2,789	31.6	26.4	58.0
②看護職員	273	252	525	5.7	5.2	10.9
③機能訓練指導員	113	78	191	2.3	1.6	4.0
④介護支援専門員	216	54	270	4.5	1.1	5.6
⑤生活相談員・支援相談員	199	43	242	4.1	0.9	5.0
⑥上記以外の職員	290	501	791	6.0	10.4	16.5
合計	2,608	2,198	4,806	54.3	45.7	100.0

※有効回答数は、209事業所

サービス分類別に正規職員・非正規職員の割合をみると、「正規職員」の割合が高いのは、CM (80.1%)、支セ (68.8%)、短期入所型 (67.1%) となっている。

一方、「非正規職員」の割合が高いのは、通所型 (58.2%)、訪問型 (55.1%)、多機能型 (54.2%) となっている。

図表 4-2 正規職員・非正規職員の割合／サービス分類別



(2) 職員の採用者数と離職者数の状況

問 12② 2025年10月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所におたずねします。過去1年間（2024年10月1日～2025年9月30日）の職員の採用者数と離職者数を年齢別にご記入ください。（数字を記入） **共通**

※開設から1年以上を経過していない事業所は回答不要です。

※該当する職員がない場合は、「0人」とご記入ください。

※年齢はそれぞれ採用当時、離職当時の年齢にてご記入ください。

回答事業所における採用者数と離職者数の状況について、正規・非正規別、年齢別にみると、①介護職員の採用者の割合は、「20～29歳・正規職員」（15.1%）が最も高く、離職者の割合は「40～49歳・正規職員」（14.4%）が最も高くなっている。

②看護職員の採用者の割合は、「40～49歳・正規職員」「50～59歳・正規職員」「40～49歳・非正規職員」（ともに14.2%）が最も高く、離職者の割合は「50～59歳・正規職員」（25.0%）が最も高くなっている。

③機能訓練指導員、④介護支援専門員、⑤生活相談員・支援相談員、⑥それ以外の職員の職種を合計した採用者の割合は、「60～69歳・非正規職員」（15.4%）が最も高く、離職者の割合は「60～69歳・非正規職員」（18.2%）が最も高くなっている。

図表 4-3 職員の採用者数・離職者数の状況（人数と割合）

職種	年齢 (採用、 離職当時)	人数 (単位:人)						割合 (単位:%)					
		採用者数			離職者数			採用者数			離職者数		
		正規 職員	非正規 職員	合計	正規 職員	非正規 職員	合計	正規 職員	非正規 職員	合計	正規 職員	非正規 職員	合計
① 介護職員	20歳未満	16	8	24	6	9	15	2.7	1.4	4.1	1.2	1.9	3.1
	20～29歳	89	23	112	32	18	50	15.1	3.9	19.0	6.6	3.7	10.3
	30～39歳	56	35	91	45	27	72	9.5	5.9	15.4	9.3	5.6	14.8
	40～49歳	74	49	123	70	34	104	12.5	8.3	20.8	14.4	7.0	21.4
	50～59歳	64	67	131	58	68	126	10.8	11.4	22.2	11.9	14.0	25.9
	60～69歳	18	54	72	17	46	63	3.1	9.2	12.2	3.5	9.5	13.0
	70～79歳	3	26	29	3	43	46	0.5	4.4	4.9	0.6	8.8	9.5
	年齢不明	3	5	8	0	10	10	0.5	0.8	1.4	0.0	2.1	2.1
	合計	323	267	590	231	255	486	54.7	45.3	100.0	47.5	52.5	100.0
② 看護職員	20歳未満	0	0	0	1	0	1	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	1.4
	20～29歳	9	3	12	0	0	0	8.0	2.7	10.6	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	7	8	15	7	5	12	6.2	7.1	13.3	9.7	6.9	16.7
	40～49歳	16	16	32	7	6	13	14.2	14.2	28.3	9.7	8.3	18.1
	50～59歳	16	11	27	18	4	22	14.2	9.7	23.9	25.0	5.6	30.6
	60～69歳	9	9	18	4	7	11	8.0	8.0	15.9	5.6	9.7	15.3
	70～79歳	2	7	9	3	8	11	1.8	6.2	8.0	4.2	11.1	15.3
	年齢不明	0	0	0	0	2	2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	2.8
	合計	59	54	113	40	32	72	52.2	47.8	100.0	55.6	44.4	100.0
③ ④ ⑤ ⑥ の職種を 合計	20歳未満	0	0	0	1	1	2	0.0	0.0	0.0	0.9	0.9	1.8
	20～29歳	22	5	27	2	3	5	14.1	3.2	17.3	1.8	2.7	4.5
	30～39歳	13	5	18	9	1	10	8.3	3.2	11.5	8.2	0.9	9.1
	40～49歳	21	13	34	19	5	24	13.5	8.3	21.8	17.3	4.5	21.8
	50～59歳	19	16	35	17	8	25	12.2	10.3	22.4	15.5	7.3	22.7
	60～69歳	11	24	35	11	20	31	7.1	15.4	22.4	10.0	18.2	28.2
	70～79歳	0	7	7	3	10	13	0.0	4.5	4.5	2.7	9.1	11.8
	年齢不明	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計	86	70	156	62	48	110	55.1	44.9	100.0	56.4	43.6	100.0

サービス分類別に採用率をみると、最も高いのは支セの33.8%で、次いでCMの22.4%となっている。

一方、離職率をみると、最も高いのは短期入所型の16.7%で、続いて多機能型の15.7%、訪問型の15.5%、介護施設の15.4%となっている。

図表 4-4 職員数の変化（全体）／サービス分類別

サービス類型別	回答数 単位：事業所	職員総数 単位：人	採用者数 単位：人	離職者数 単位：人	採用率 単位：%	離職率 単位：%
全 体	209	4,806	859	668	17.9	13.9
		2,608	468	333	17.9	12.8
CM	37	156	35	13	22.4	8.3
		125	26	13	20.8	10.4
訪問型	43	824	163	128	19.8	15.5
		370	78	47	21.1	12.7
通所型	65	1,054	206	135	19.5	12.8
		441	75	46	17.0	10.4
短期入所型	11	359	57	60	15.9	16.7
		241	42	42	17.4	17.4
多機能型	3	83	12	13	14.5	15.7
		38	4	5	10.5	13.2
介護施設	17	1,235	214	190	17.3	15.4
		789	135	98	17.1	12.4
GH・特定施設	27	1,019	146	122	14.3	12.0
		552	92	76	16.7	13.8
支セ	6	77	26	7	33.8	9.1
		53	16	6	30.2	11.3

※上段は合計職員の数もしくは割合、下段は正規職員の数もしくは割合

※職員総数、採用者数、離職者数のすべてに有効な回答があるサンプルのみ集計

※採用率（離職率）＝採用者数（離職者数）÷職員総数×100

(3) 職員確保の状況

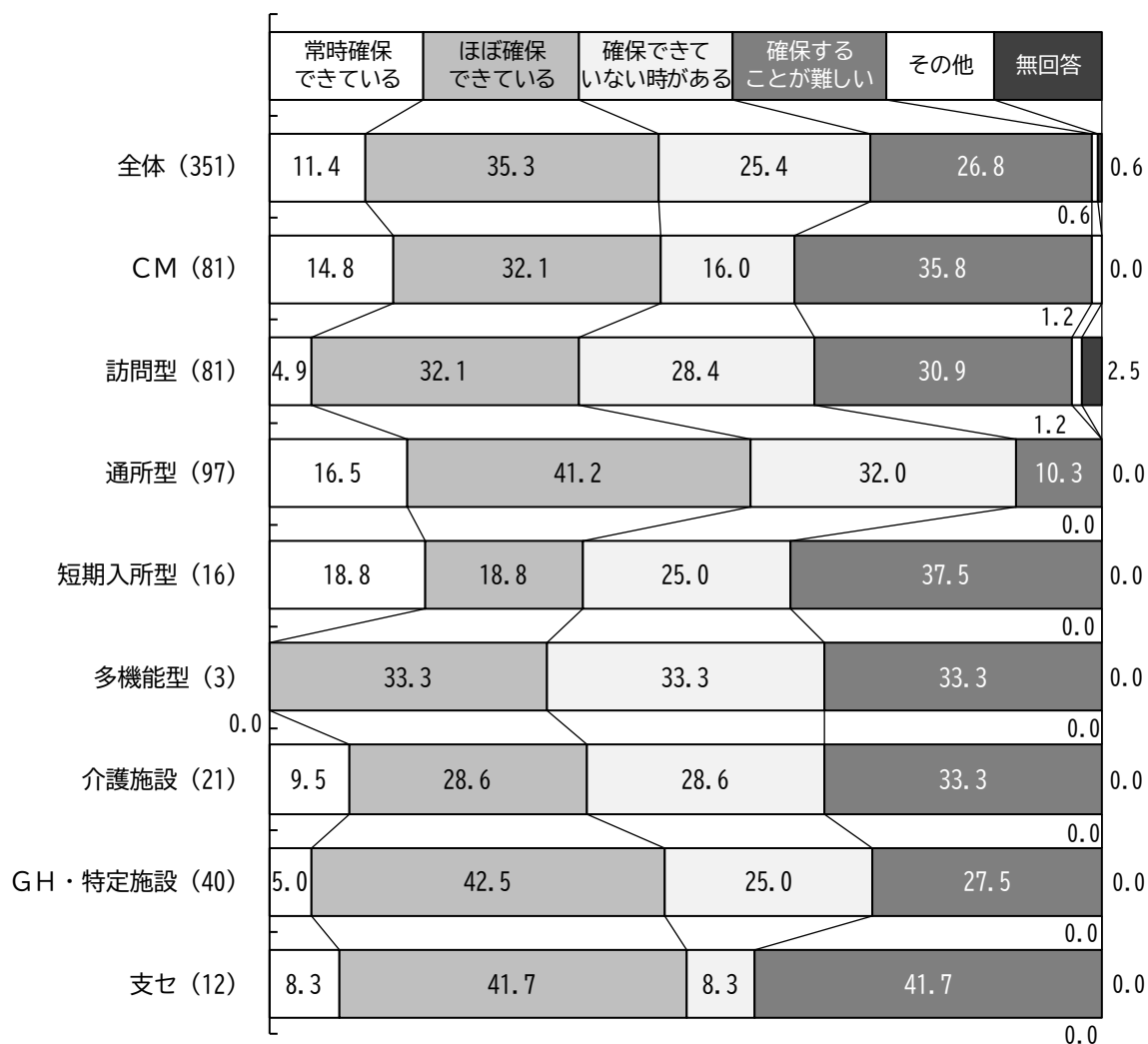
問13 貴事業所は、必要とする職員数を常時確保できていますか。(〇は1つ) 共通
 ※必要とする職員数は人員基準に基づく人数だけには限りません。

職員確保の状況については、「ほぼ確保できている」(35.3%)が最も高く、次いで「確保することが難しい」(26.8%)、「確保できていない時がある」(25.4%)となっている。

サービス分類別にみると、通所型は、「常時確保できている」と「ほぼ確保できている」を合わせて57.7%と最も高くなっている。

一方、多機能型は、「確保できていない時がある」と「確保することが難しい」を合わせて66.6%と最も高くなっている。

図表 4-5 職員確保の状況(単数回答) / サービス分類別



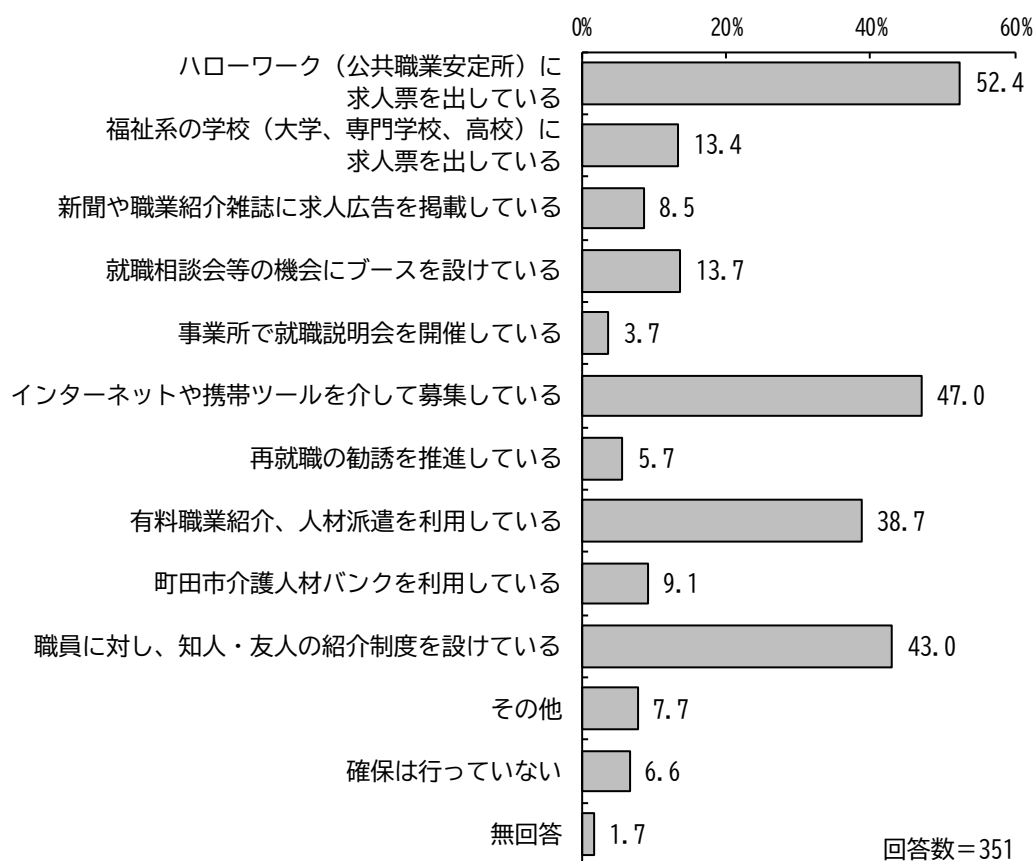
(4) 職員確保の方法

問 14 貴事業所が行っている職員の確保の取り組みについて、実質的に効果があったと感じているものを3つまでお答えください。(当てはまるもの3つまで○) **共通**

職員の確保の方法については、「ハローワーク（公共職業安定所）に求人票を出している」（52.4%）が最も高く、次いで「インターネットや携帯ツールを介して募集している」（47.0%）、「職員に対し、知人・友人の紹介制度を設けている」（43.0%）、「有料職業紹介、人材派遣を利用している」（38.7%）と続いている。

一方、「確保は行っていない」は6.6%となっている。

図表 4-6 職員確保の方法（複数回答）



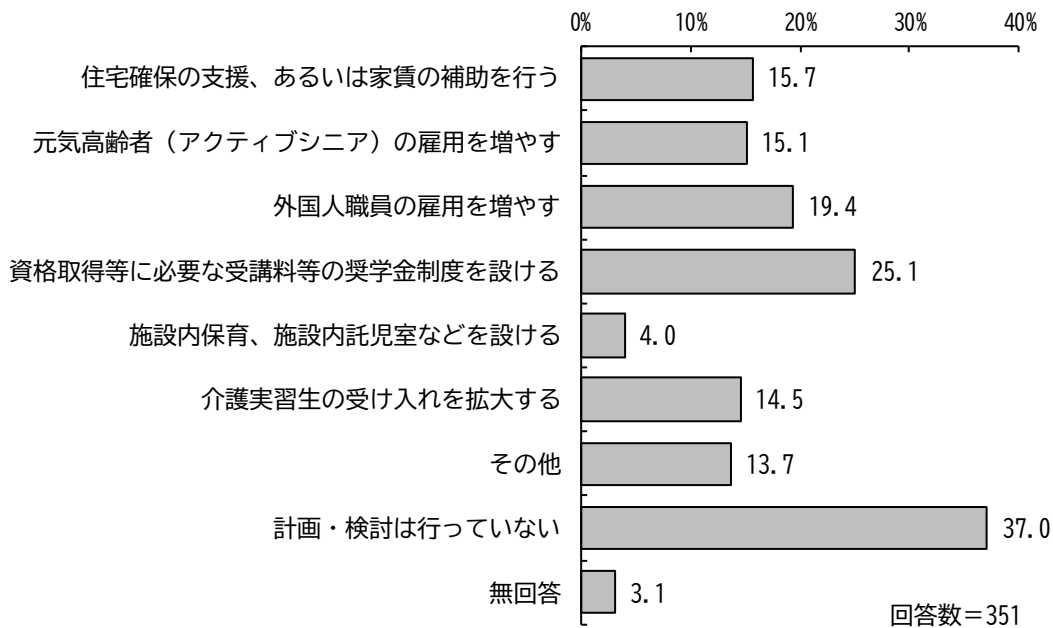
(5) 職員の新規採用を拡大するための方策

問 15 職員の新規雇用を拡大するために、今後どのような方策を計画・検討していますか。(当てはまるもの全てに○) **共通**

職員の新規採用を拡大するための方策は、「資格取得等に必要な受講料等の奨学金制度を設ける」(25.1%)が最も高く、次いで「外国人職員の雇用を増やす」(19.4%)、「住宅確保の支援、あるいは家賃の補助を行う」(15.7%)、「元気高齢者(アクティブシニア)の雇用を増やす」(15.1%)と続いている。

一方、「計画・検討は行っていない」は37.0%で最も高くなっている。

図表 4-7 職員の新規採用を拡大するための方策(複数回答)



(6) 職員の離職理由

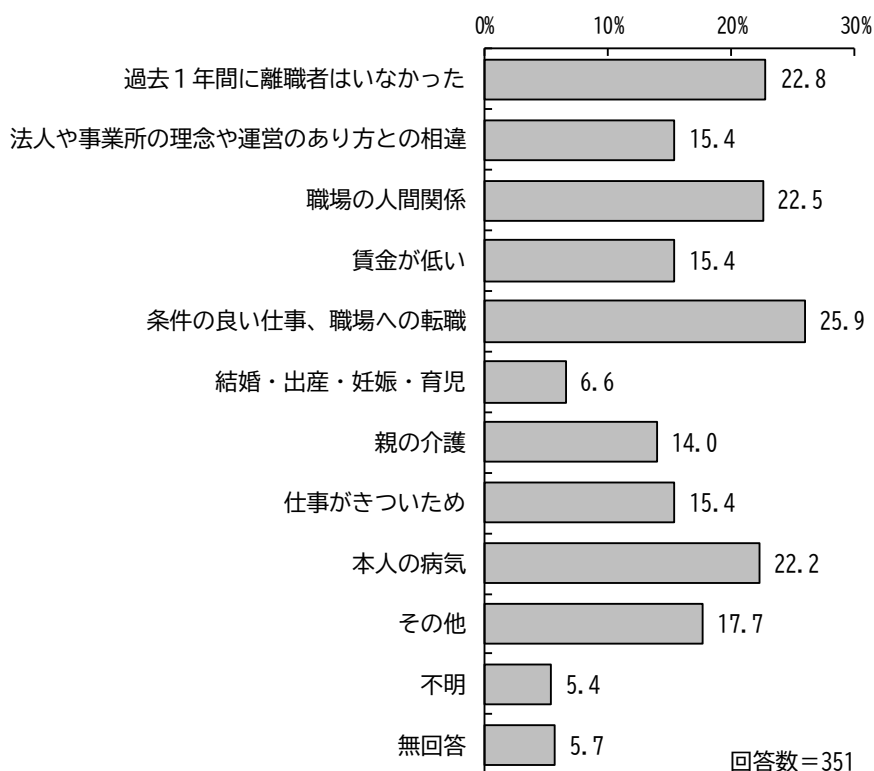
問 16 過去1年間に離職した職員について、考えられる離職理由は何ですか。

(当てはまるもの全てに○) 共通

過去1年間に離職した職員について、考えられる離職理由は、「条件の良い仕事、職場への転職」(25.9%)が最も高く、次いで「職場の人間関係」(22.5%)、「本人の病気」(22.2%)と続いている。

一方、「過去1年間に離職者はいなかった」は22.8%となっている。

図表 4-8 職員の離職理由(複数回答)



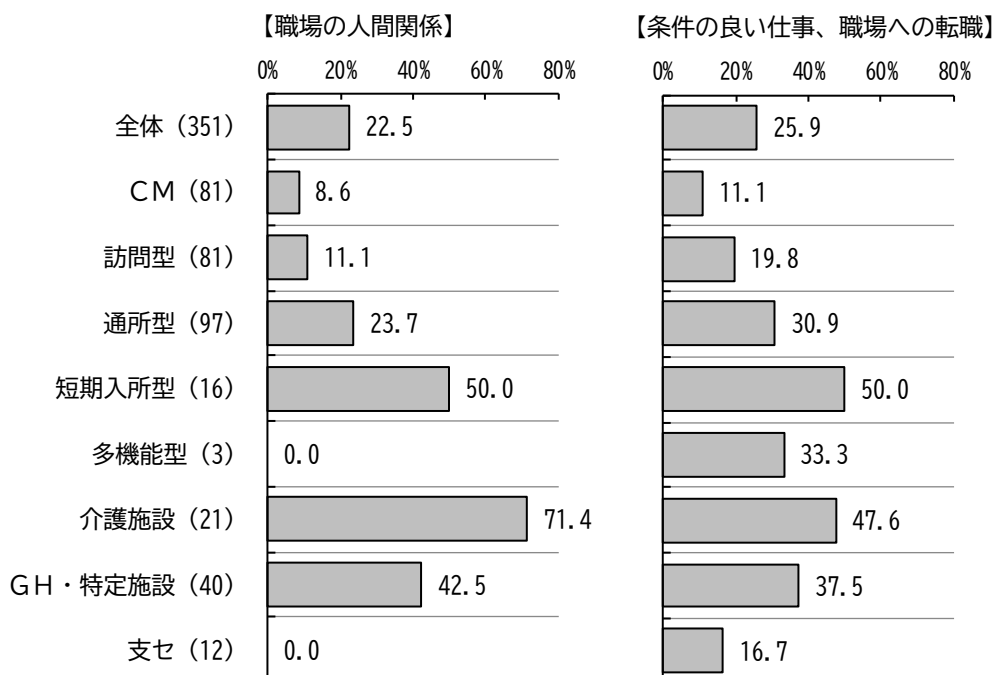
職員の離職理由の「職場の人間関係」をサービス分類別にみると、介護施設で、全体（22.5%）を大きく上回っている。

図表 4-9 職員の離職理由／サービス分類別

	合計	過去1年間に離職者は いなかった	法人や事業所の理念や 運営のあり方との相違	職場の人間関係	賃金が低い	条件の良い仕事、職場 への転職	結婚・出産・妊娠・育児	親の介護	仕事がついたため	本人の病気	その他	不明	無回答
全体	351	22.8	15.4	22.5	15.4	25.9	6.6	14.0	15.4	22.2	17.7	5.4	5.7
サービス分類別	CM	81	48.1	4.9	8.6	6.2	11.1	0.0	4.9	3.7	6.2	4.9	12.3
	訪問型	81	16.0	13.6	11.1	9.9	19.8	7.4	9.9	18.5	23.5	8.6	9.9
	通所型	97	20.6	14.4	23.7	20.6	30.9	5.2	16.5	15.5	19.6	22.7	1.0
	短期入所型	16	12.5	31.3	50.0	31.3	50.0	12.5	12.5	31.3	43.8	12.5	0.0
	多機能型	3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0
	介護施設	21	0.0	47.6	71.4	14.3	47.6	23.8	33.3	23.8	57.1	23.8	0.0
	GH・特定施設	40	7.5	22.5	42.5	27.5	37.5	7.5	27.5	25.0	35.0	10.0	2.5
	支セ	12	25.0	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	8.3	0.0	16.7	25.0	0.0

※クロス表のコメントは、回答事業所数が2桁以上の場合のみ記載している。

図表 4-10 職員の離職理由の抜粋



(7) 職員の就労継続のための取り組み

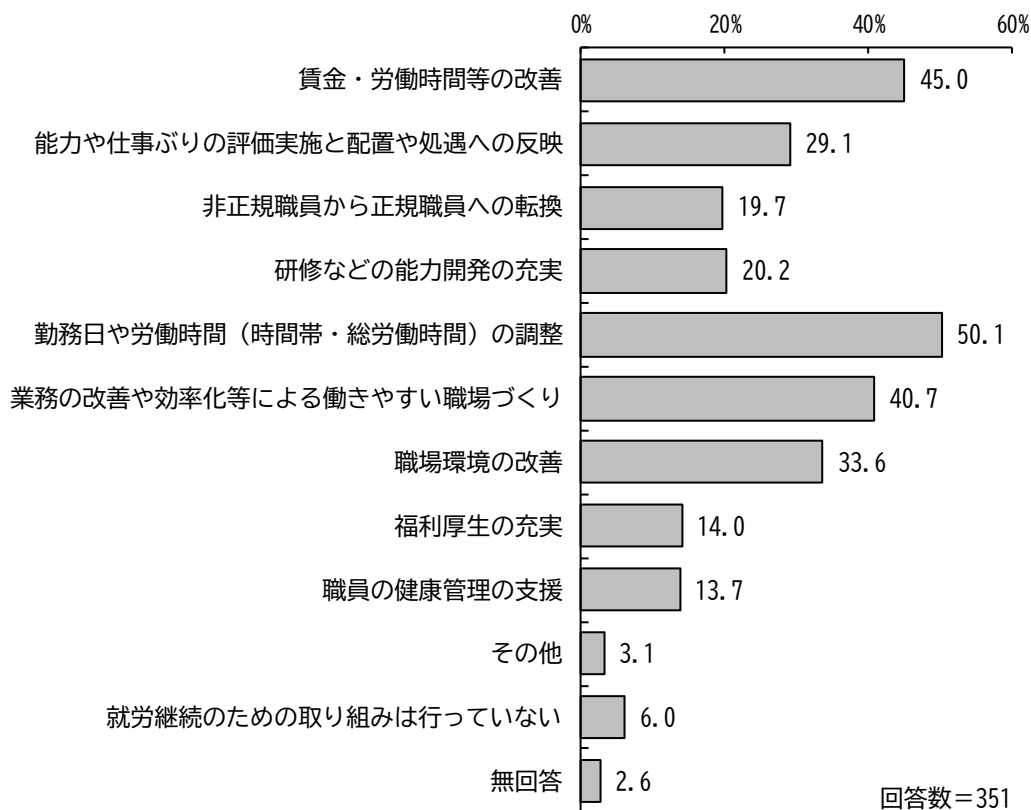
問 17 貴事業所が実施している職員の就労継続のための取り組みについて、実質的に効果があったと感じているものを3つまでお答えください。

(当てはまるもの3つまで○) 共通

職員の就労継続のための取り組みは、「勤務日や労働時間（時間帯・総労働時間）の調整」（50.1%）が最も高く、次いで「賃金・労働時間等の改善」（45.0%）、「業務の改善や効率化等による働きやすい職場づくり」（40.7%）と続いている。

一方、「就労継続のための取り組みは行っていない」は6.0%となっている。

図表 4-11 職員の就労継続のための取り組み（複数回答）



(8) 処遇改善にかかる加算等の取得の有無

問 18 貴事業所では令和 7 年度の処遇改善にかかる加算等の取得（届出）をしていますか
 (○は1つ) **共通**

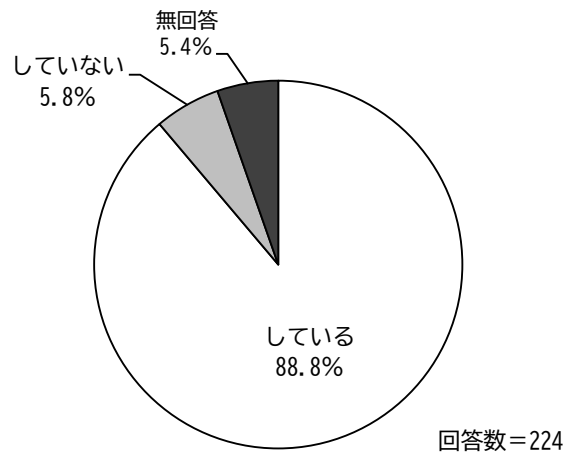
※居宅介護支援事業所、訪問看護、訪問リハビリテーション、高齢者支援センターは回答不要です。

※問 18 で「2. していない」と回答した事業所におたずねします。

問 18-1 加算等の取得（届出）をしない理由は何ですか（当てはまるもの全てに○）

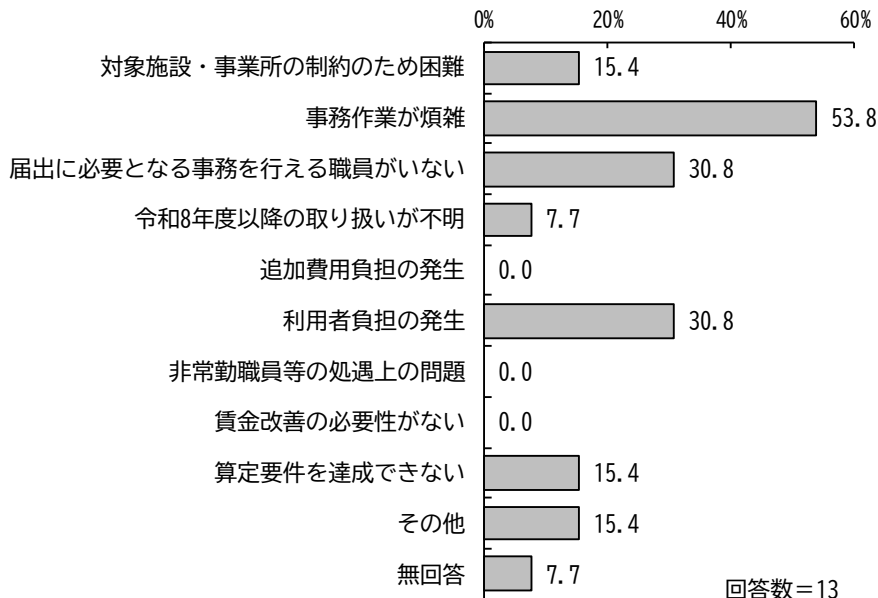
処遇改善にかかる加算等の取得の有無は、「している」が 88.8%、「していない」が 5.8%となっている。

図表 4-1 2 処遇改善にかかる加算等の取得の有無（単数回答）



加算等の取得をしない理由については、「事務作業が煩雑」(53.8%)が最も高く、次いで「届出に必要となる事務を行える職員がいない」「利用者負担の発生」(ともに 30.8%)と続いている。

図表 4-1 3 加算等の取得をしない理由（複数回答）



5. 外国人介護職員について

(1) 外国人介護職員の雇用状況

問 19① 貴事業所では現在、外国人介護職員を雇用していますか。在留資格別にお答えください。(数字を記入) **共通**

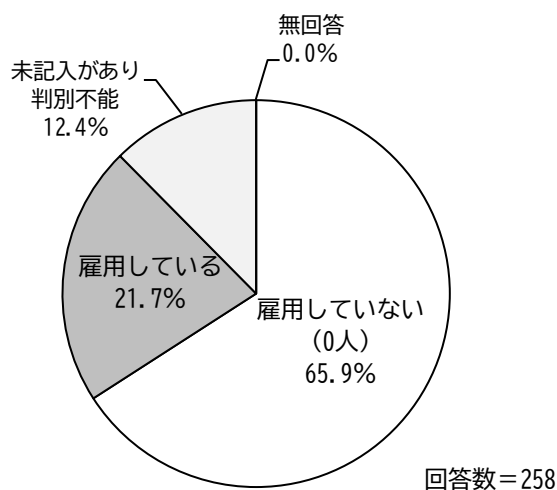
※居宅介護支援事業所、高齢者支援センターは回答不要です。

※該当する職員がない場合は、「0人」とご記入ください。

また、雇用していない場合は、全て「0人」とご記入ください。

外国人介護職員の雇用の有無について、「雇用している」が21.7%、「雇用していない(0人)」が65.9%となっている。

図表 5-1 外国人介護職員の雇用の有無



外国人介護職員の雇用について在留資格別にみると、「在留資格「特定技能1号」」が最も多く、次いで「在留資格「介護」」、「技能実習生」と続いている。

図表 5-2 外国人介護職員の雇用人数／在留資格別 (合計と平均)

在留資格	回答数	合計	平均
在留資格「介護」	231	79人	0.34人
EPA (経済連携協定)	227	0人	0.00人
在留資格「特定技能1号」	236	204人	0.86人
技能実習生	229	57人	0.25人
留学生	228	14人	0.06人
その他の在留資格	229	28人	0.12人
合計		382人	0.27人

(2) 外国人介護職員の今後の受け入れ

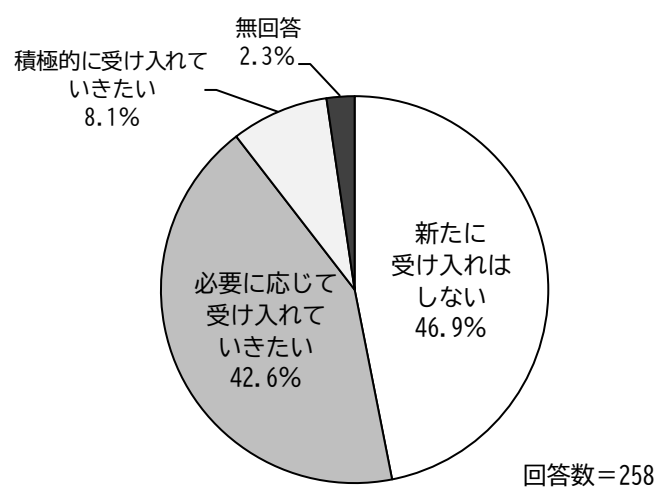
問 19② 外国人介護職員の今後の受け入れについてどのようにお考えですか。

(○は1つ) 共通

※居宅介護支援事業所、高齢者支援センターは回答不要です。

外国人介護職員の今後の受け入れは、「新たに受け入れはしない」が46.9%、「必要に応じて受け入れていきたい」が42.6%、「積極的に受け入れていきたい」が8.1%となっている。

図表 5-3 外国人介護職員の今後の受け入れ（単数回答）



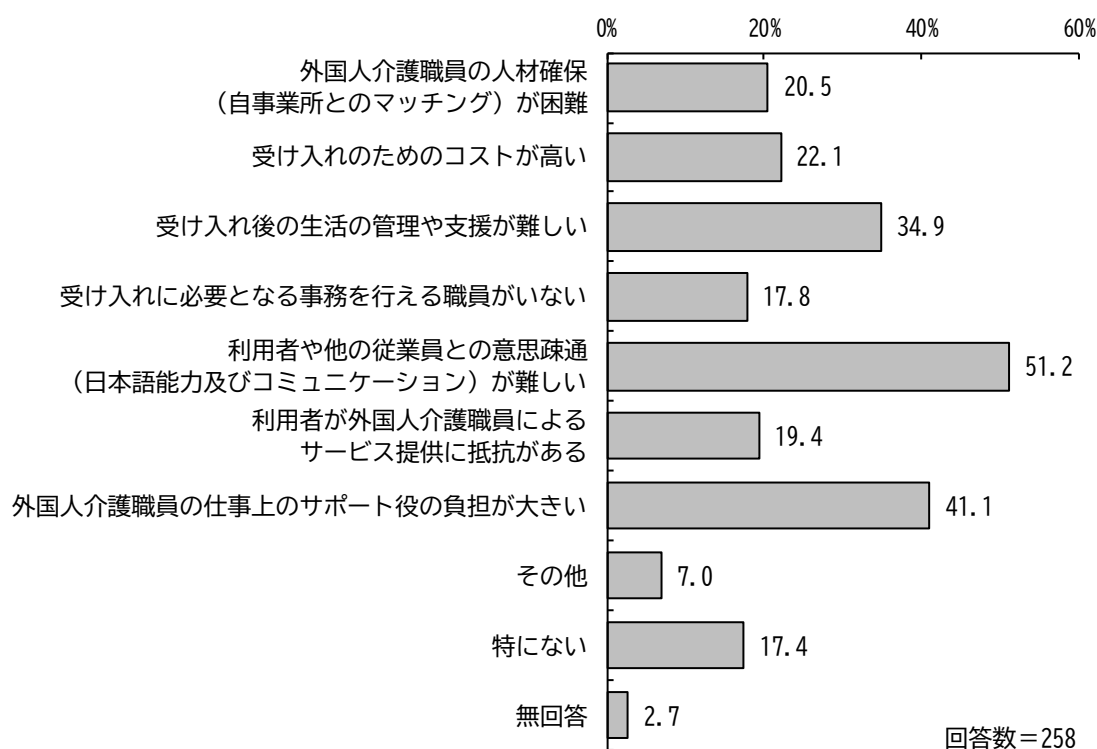
(3) 外国人介護職員の受け入れ課題

問 20 貴事業所で外国人介護職員を受け入れることについてどのような課題がありますか。まだ受け入れていない事業所の場合は、受け入れたとした場合にどのような課題が想定されますか。(当てはまるもの全てに○) **共通**
※居宅介護支援事業所、高齢者支援センターは回答不要です。

外国人介護職員の受け入れ課題は、「利用者や他の従業員との意思疎通（日本語能力及びコミュニケーション）が難しい」（51.2%）が最も高く、次いで「外国人介護職員の仕事上のサポート役負担が大きい」（41.1%）、「受け入れ後の生活の管理や支援が難しい」（34.9%）と続いている。

一方、「特にない」は17.4%となっている。

図表 5-4 外国人介護職員の受け入れ課題（複数回答）



6. ICT機器・介護ロボット等について

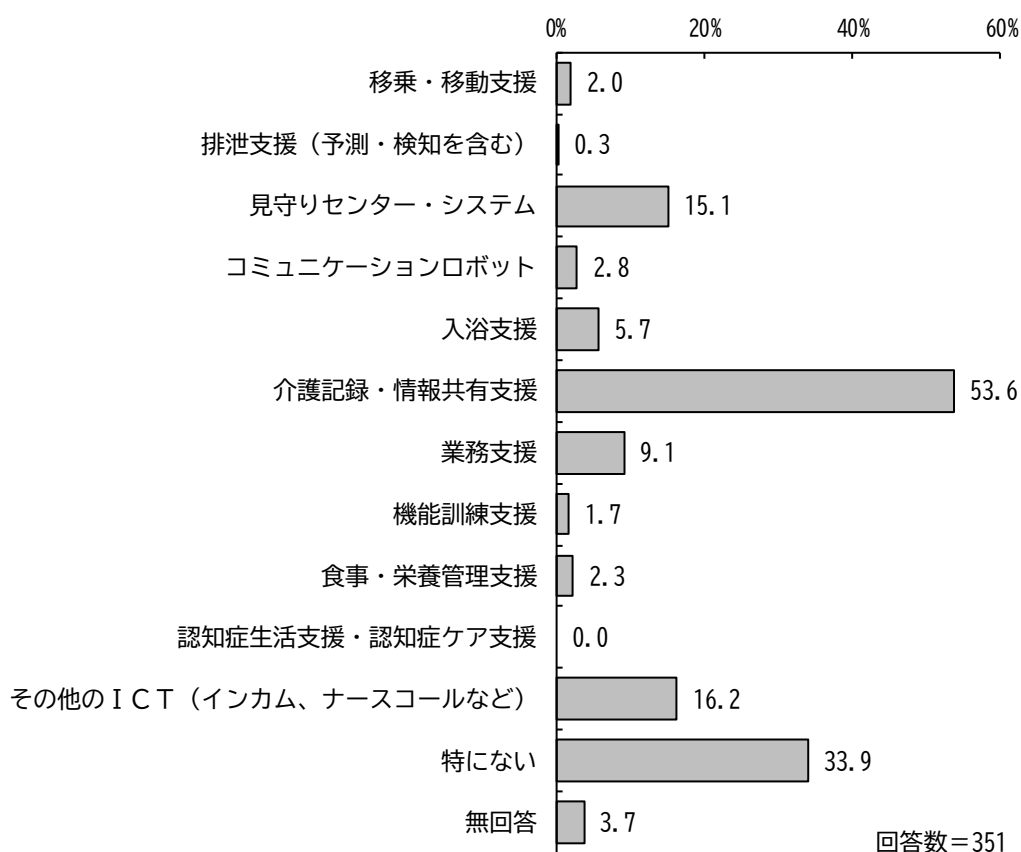
(1) 導入しているICT機器・介護ロボット等

問21 貴事業所において導入しているICT機器・介護ロボット等を選んで記入してください。(当てはまるもの全てに○) **共通**

導入しているICT機器・介護ロボット等は、「介護記録・情報共有支援」(53.6%)が最も高く、次いで「その他のICT(インカム、ナースコールなど)」(16.2%)、「見守りセンター・システム」(15.1%)と続いている。

一方、「特にない」は33.9%となっている。

図表 6-1 導入しているICT機器・介護ロボット等(複数回答)



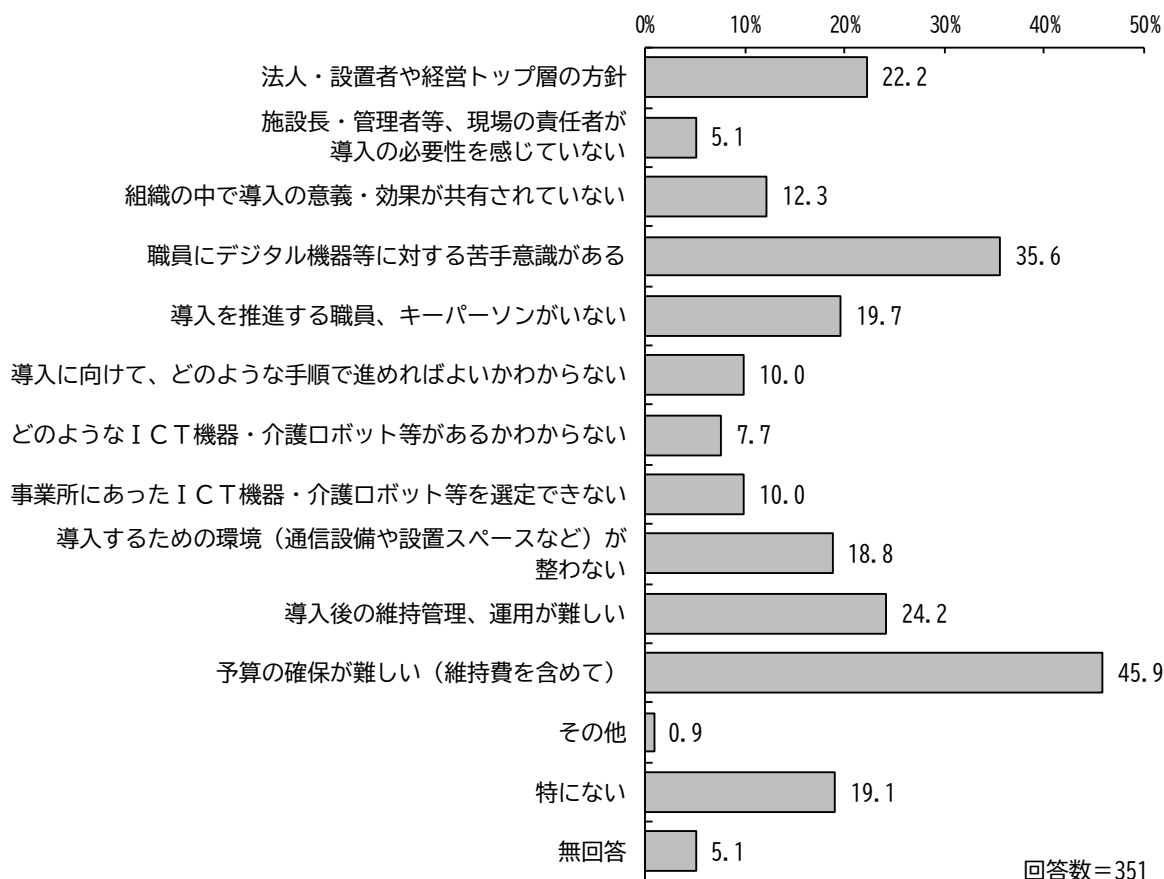
(2) ICT機器・介護ロボット等の導入課題

問 22 ICT機器・介護ロボット等の導入に際してはどのような課題がありますか。導入しているものが一つもない場合、導入していくにはどのような課題が想定されますか。(当てはまるもの全てに○) **共通**

ICT機器・介護ロボット等の導入課題は、「予算の確保が難しい(維持費を含めて)」(45.9%)が最も高く、次いで「職員にデジタル機器等に対する苦手意識がある」(35.6%)、「導入後の維持管理、運用が難しい」(24.2%)、「法人・設置者や経営トップ層の方針」(22.2%)と続いている。

一方、「特にない」は19.1%となっている。

図表 6-2 ICT機器・介護ロボット等の導入課題(複数回答)



7. 町田市介護人材開発センターについて

(1) 町田市介護人材開発センターの認知度

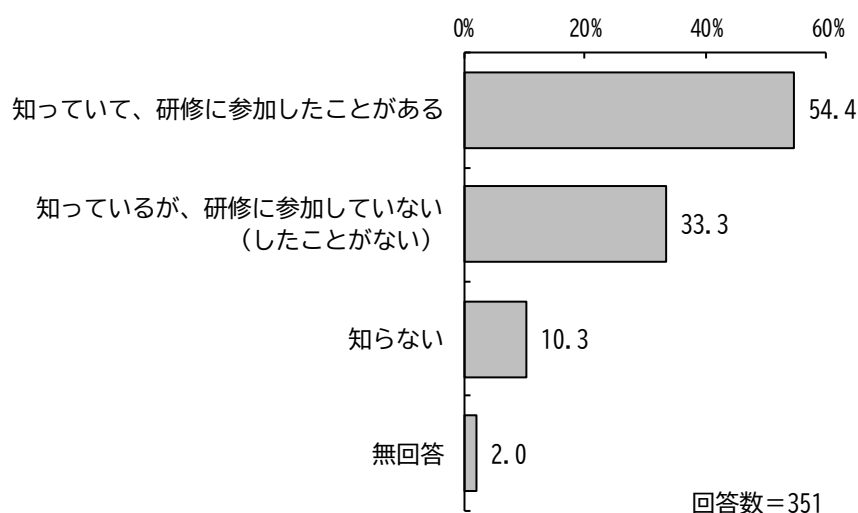
問 23 町田市介護人材開発センターを知っていますか。(○は1つ) **共通**

※問 23 で「1. 知っていて、研修に参加したことがある」または「2. 知っているが、研修に参加していない(したことがない)」と回答した事業所におたずねします

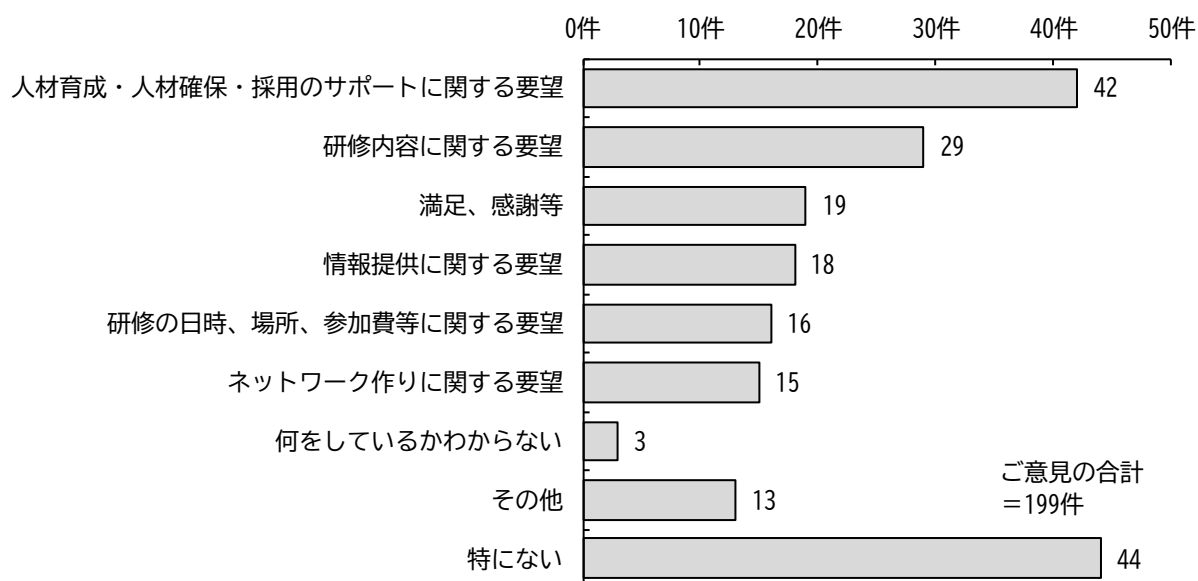
問 23-1 町田市介護人材開発センターに求めることは何ですか。具体的にお書きください。

町田市介護人材開発センターの認知度について、「知っていて、研修に参加したことがある」は 54.4%となっている。「知っているが、研修に参加していない(したことがない)」は 33.3%、「知らない」は 10.3%となっている。

図表 7-1 町田市介護人材開発センターの認知度 (単数回答)



図表 7-2 町田市介護人材開発センターに求めること



以下はあげられた意見を抜粋・一部要約したものです。(全 199 件)

① 人材育成・人材確保・採用のサポートに関する要望（42件）

- ・ 30 代以下の人材開発。町田の福祉に携わる方が増えること、定着と専門職研鑽に期待しています。【居宅介護支援】
- ・ 介護チャレンジの制度は今後も続けていってほしい。
【訪問介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】
- ・ 求人のマッチングや市内の求人者と施設との気軽な相談システムがあるとうれしいです。
【高齢者支援センター】
- ・ 今後も有能な人材の紹介を期待しております。
【訪問介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】
- ・ 人員確保のためのサポート。【訪問看護】
- ・ 人材確保の実質的な支援。【認知症対応型通所介護】
- ・ 人材創出、確保、定着、離職防止にかかる取組。【高齢者支援センター】
- ・ 専門職で、希望する人材をタイムリーに紹介して欲しい。【高齢者支援センター】
- ・ 非常に能力の高い人材を紹介していただいたことに感謝している。今後も即戦力になる人材を求めたい。【居宅介護支援】
- ・ 有料の人材紹介会社（仲介料発生）を何とか規制していただきたい。【介護老人保健施設】

② 研修内容に関する要望（29件）

- ・ オンラインを活用した研修の種類の充実。
【地域密着型通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】
- ・ ケアマネ資格を取ったばかりの職員に対する研修の実施。【居宅介護支援】
- ・ 管理職向け研修（事業所長や施設長クラス）の充実。【居宅介護支援】
- ・ 研修の充実。時間の制限なく研修が受けられるように、オンライン研修のコンテンツ作成をして

ほしい。【地域密着型通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】

- ・ 実践に活かせる学習機会の提供を期待する。【介護老人福祉施設】
- ・ 職員への研修の開催。不適切ケア、虐待について、実施を強化してほしい。【介護老人福祉施設】
- ・ 身近に感じることができる研修が多く興味がわきます。【居宅介護支援】
- ・ 地域の施設・事業所の課題（ニーズ）に応じた研修機会の提供。【介護老人福祉施設】
- ・ 同じ研修ばかりになっている。今必要とされている研修やニーズに応じた研修を開催してほしい（ICT化にまつわるものや若い層の定着に向けた取り組み等）。【高齢者支援センター】
- ・ 法定研修を毎月開催し、外国人職員向けにもそれらを発信するような取組があると良い。
【短期入所生活介護】

③ 満足、感謝等（19件）

- ・ 各職能団体の研修など多数の業務に関わっていただいています。【居宅介護支援】
- ・ 現在でもいろいろとサポートいただいております。ありがとうございます。【短期入所生活介護】
- ・ 現在もマッチングなど人材不足を補うために手を尽くしていただいていると思います。
【通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】
- ・ 法や制度等について、助言や行政の解釈等を尋ねることができる。【認知症対応型通所介護】
- ・ 連絡会等で、他事業所との交流の機会を作ってください。研修などはもっと活用したい。
【認知症対応型共同生活介護】

④ 情報提供に関する要望（18件）

- ・ ホームページがあったりすることは知っていますが、もう少しオープンな事業であってほしいです。【通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】
- ・ ホームページをもっと分かりやすくしていただきたいです。【居宅介護支援】
- ・ 介護に関わる魅力の発信や現場の声を行政に届けること。【高齢者支援センター】
- ・ 研修や紹介などメールでご案内は頂くも、具体的では無く、こんな方がいます程度の案内ですので補充が急務でないと流してしまう事が多い。【特定施設入居者生活介護】
- ・ 最新かつ適切な情報発信・共有（入ってくる情報が多すぎて処理しきれないため）。
【高齢者支援センター】
- ・ 様々な情報の中からその事業に対しての情報（介護保険制度や介護技術など）を分かり易く知らせてもらえると助かります。【訪問介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】

⑤ 研修の日時、場所、参加費等に関する要望（16件）

- ・ 参集型の研修よりもオンライン研修が参加しやすいので、そのような研修を業務時間内で企画していただくと参加しやすいです【居宅介護支援】
- ・ 研修会の参加費用がもう少し安いと参加しやすいです。
【訪問介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】
- ・ 参加したい研修などがあれば参加します。後はオンラインで参加できる講義を増やしてもらいたいです。足がないので空いた時間で参加できると助かります。お時間も勤務が終わってから参加できるなどがあればうれしいです。【認知症対応型共同生活介護】
- ・ 小さな事業所で朝から晩まで毎日ケアに出ています。どうしても日中や夕方を含めて参加出来ない事が多いです。動画配信等にして頂けると空いている時間に受けれるので助かる。
【訪問介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】

- ・ 新人もキャリアが長い人も、気軽に参加できる研修を多く(時間帯を夕方以降に設定するなど)。【地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護】
- ・ 定期的な研修の実施。【居宅介護支援】
- ・ 無料の研修や講習を増やしてほしい。【認知症対応型共同生活介護】

⑥ ネットワーク作りに関する要望 (15件)

- ・ web 会議もいいが、集まったの会議もいいかと思えます。【認知症対応型通所介護】
- ・ 介護保険制度や介護技術などの研修などを開いてもらい、横のつながりや情報共有のサポートをしてもらいたい。【訪問介護 (国基準型サービス、市基準型サービスを含む)】
- ・ 他の法人の介護職員との交流の機会。【地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護】
- ・ 複数法人間での人材交流支援。【高齢者支援センター】

⑦ 何をしているかわからない (3件)

- ・ いろいろなことの取り組みをされていると思いますが、効果がみえづらい。【居宅介護支援】
- ・ 研修の企画をされていることは分かっているが、何を行う機関なのか、明確になると活用方法を考えていくことが出来ると思う。【居宅介護支援】

⑧ その他 (13件)

- ・ 介護に興味を持っていただけるイベントなどを増やしてもらいたい。【地域密着型通所介護 (国基準型サービス、市基準型サービスを含む)】
- ・ 介護職、介護事業所のハラスメント対応、研修ばかりではなく、町田市民への介護サービス事業所、スタッフの現状の説明。【居宅介護支援】
- ・ 会費の値上がり。会費が高すぎる。会費の金額に見合うメリットを感じられない。【地域密着型通所介護 (国基準型サービス、市基準型サービスを含む)】
- ・ 業務効率化、ICT の導入、補助金の活用推進などの支援。【高齢者支援センター】
- ・ 市内の事業所の巡回など、現場を直接見る機会があったら良いと思う。【地域密着型通所介護 (国基準型サービス、市基準型サービスを含む)】
- ・ 若者に、介護にこれから就いていただけるような取り組みをしてほしい。小中学校でのイベントなど。【認知症対応型共同生活介護】
- ・ 訪問介護においては、ICT 機器や介護ロボットの取り込みは高齢のヘルパーもいるので、理解して操作するのは難しいと思う。【訪問介護 (国基準型サービス、市基準型サービスを含む)】

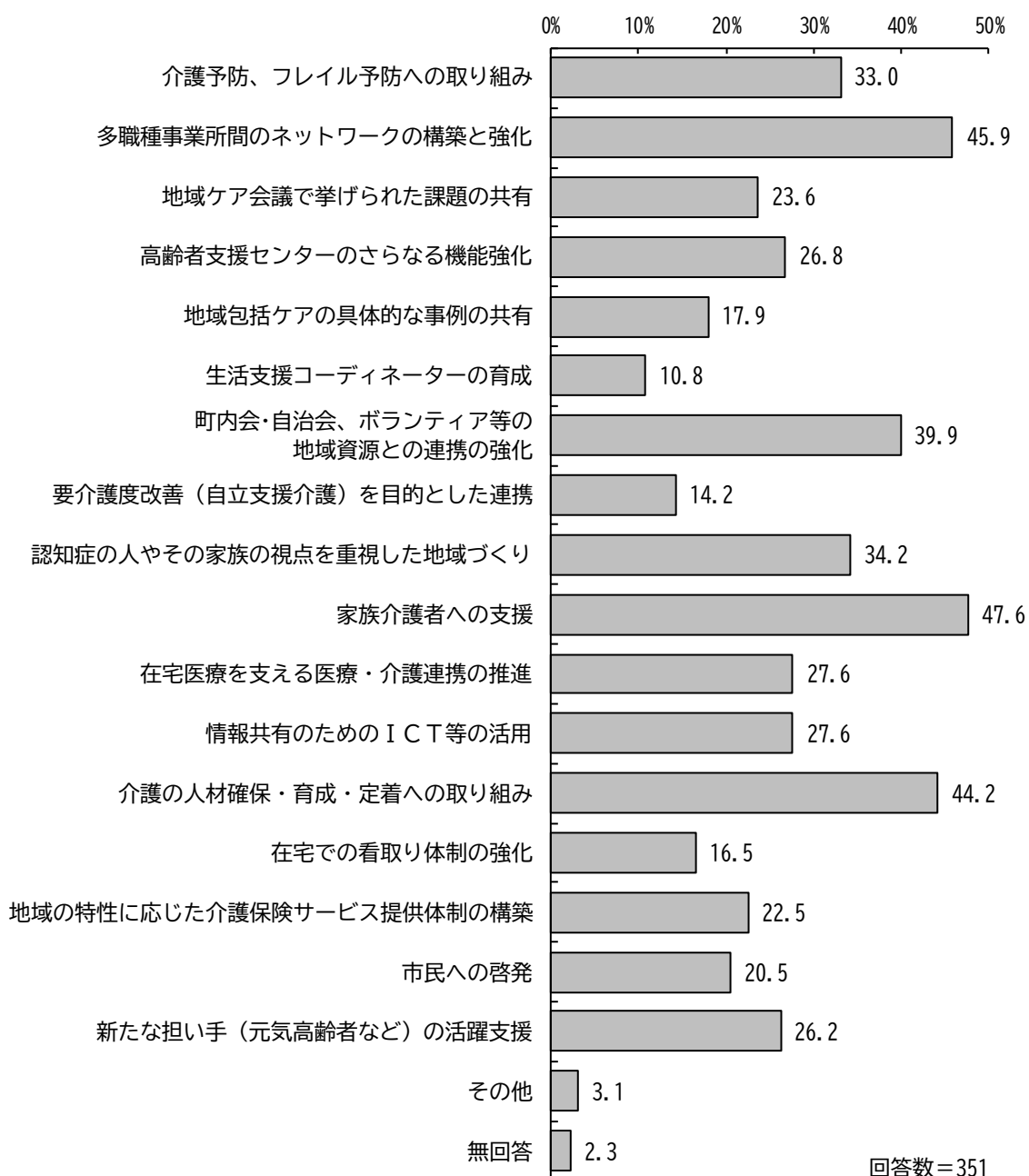
8. 地域包括ケアシステムについて

(1) 今後強化すべき取り組み

問 24 地域包括ケアシステムの推進に向けて、事業所が、今後、強化すべきと思う取り組みは何ですか。(当てはまるもの全てに○) **共通**

地域包括ケアシステムの推進に向けて、今後強化すべき取り組みは、「家族介護者への支援」(47.6%)が最も高く、次いで「多職種事業所間のネットワークの構築と強化」(45.9%)、「介護の人材確保・育成・定着への取り組み」(44.2%)、「町内会・自治会、ボランティア等の地域資源との連携の強化」(39.9%)と続いている。

図表 8-1 今後強化すべき取り組み（複数回答）



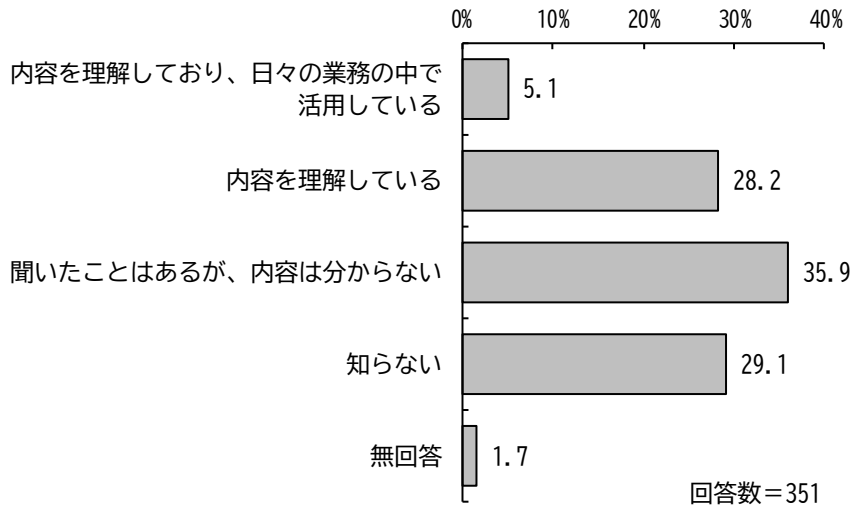
(2) 「16のまちだアイ・ステートメント」の認知度

問 25 「認知症とともに生きるまち」の目指すべき姿として町田市が独自に設定している「16のまちだアイ・ステートメント」（認知症の人にとって町田市がどのようなまちであってほしいかを「アイ＝私」の視点でまとめた文章）を知っていますか。
(○は1つ) **共通**

「16のまちだアイ・ステートメント」の認知度は、「聞いたことはあるが、内容は分からない」（35.9%）が最も多く、次いで「内容を理解している」（28.2%）、「内容を理解しており、日々の業務の中で活用している」（5.1%）となっている。

一方、「知らない」は29.1%となっている。

図表 8-2 「16のまちだアイ・ステートメント」の認知度（単数回答）



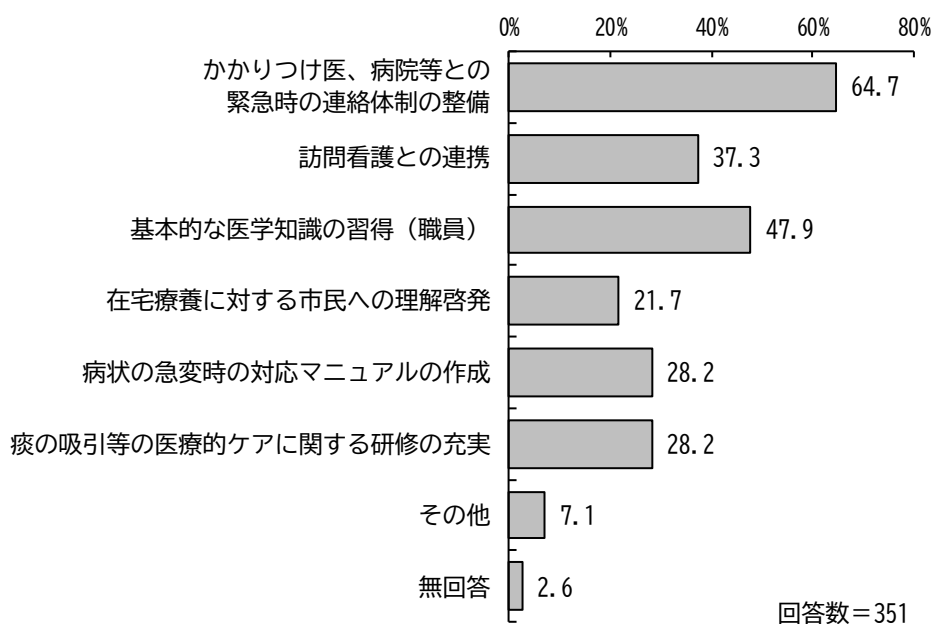
(3) 医療ニーズがある方への対応課題

問 26 医療ニーズがある方への対応について、どのような課題がありますか。

(当てはまるもの全てに○) 共通

医療ニーズがある方への対応課題は、「かかりつけ医、病院等との緊急時の連絡体制の整備」(64.7%) が最も高く、次いで「基本的な医学知識の習得(職員)」(47.9%)、「訪問看護との連携」(37.3%) となっている。

図表 8-3 医療ニーズがある方への対応課題(複数回答)

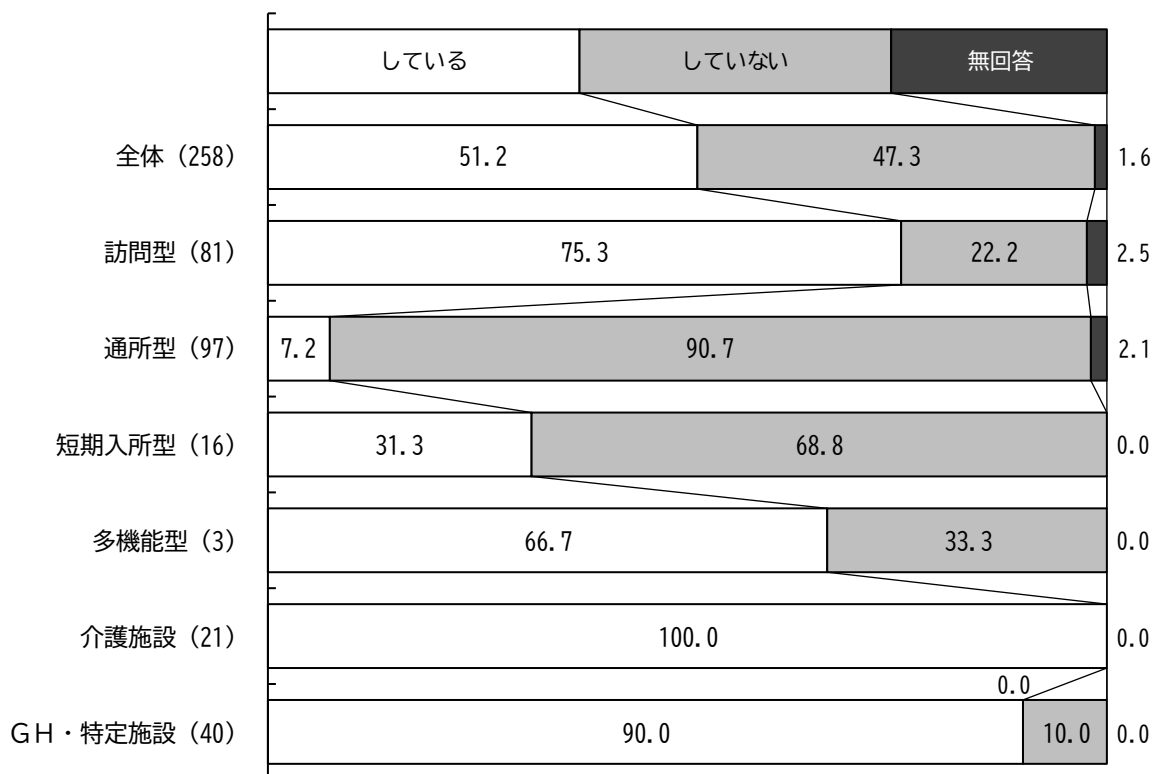


(4) 看取り対応の状況

問 27 看取り対応をしていますか。(○は1つ) **共通**
 ※居宅介護支援、高齢者支援センターは回答不要です。
 ※加算の取得の有無ではありません。

看取り対応については、「している」が51.2%、「していない」が47.3%となっている。
 サービス分類別にみると、介護施設で100.0%、GH・特定施設で90.0%、訪問型で75.3%、
 多機能型では66.7%が「している」と回答している。

図表 8-4 看取り対応の状況（単数回答）／サービス分類別



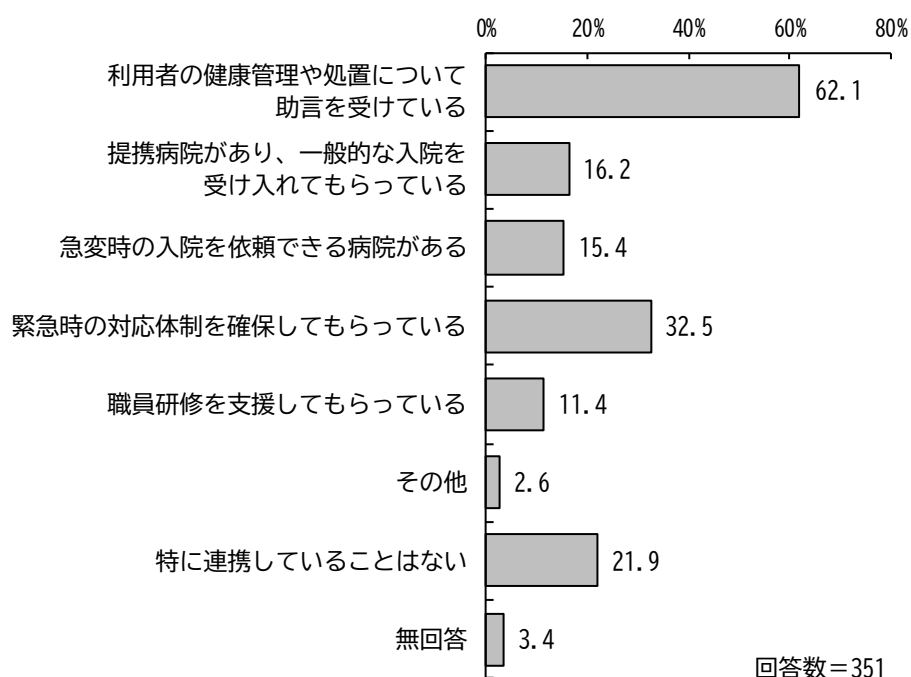
(5) 医療機関と連携している取り組み

問 28 医療機関と連携して取り組んでいることはありますか。
(当てはまるもの全てに○) **共通**

医療機関と連携している取り組みは、「利用者の健康管理や処置について助言を受けている」(62.1%)が最も高く、次いで「緊急時の対応体制を確保してもらっている」(32.5%)、「提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている」(16.2%)となっている。

一方、「特に連携していることはない」は21.9%となっている。

図表 8-5 医療機関と連携している取り組み (複数回答)

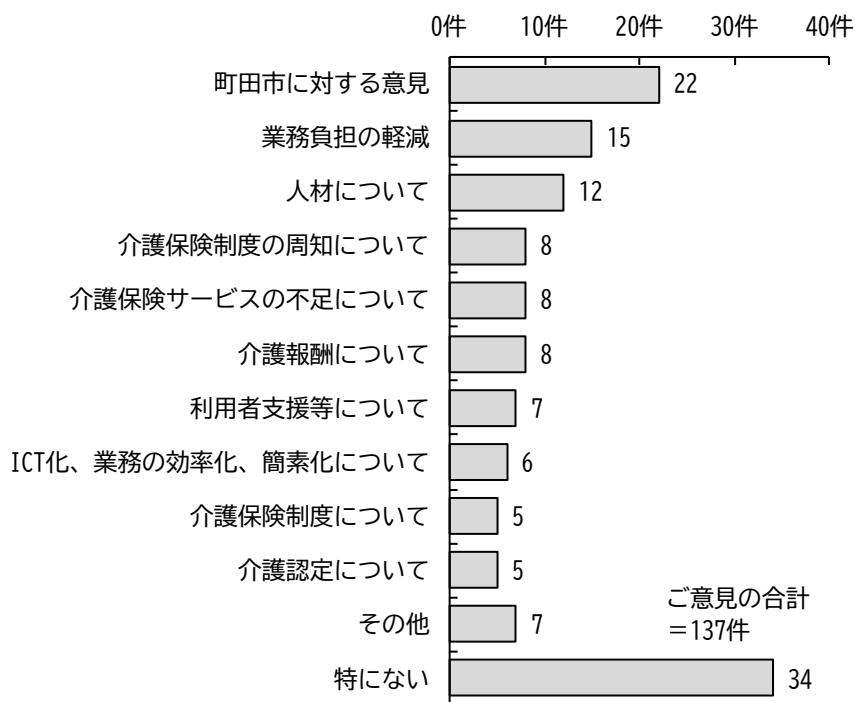


9. 町田市への要望等

(1) 介護保険や高齢者福祉に関する意見

問 29 介護保険や高齢者福祉に関するご意見がございましたらお書きください。
 (自由記述) 共通

図表 9-1 介護保険や高齢者福祉に関する意見



以下はあげられた意見を抜粋・一部要約したものです。(全 137 件)

① 町田市に対する意見 (22件)

- ・ 「高齢者虐待ヒヤリハットシート」を廃止してほしい。高齢者虐待対応は行政(地域包括支援センターを含む)の役割である。通報の敷居を低くする、通報側の業務負担軽減を図ることを真剣に考えてほしい。【居宅介護支援】
- ・ この1~2年、各方面からの行政に対する急激な変更対応についての説明不足、情報開示不足、などによる信頼をなくしている声を多く聞いている。
 【地域密着型通所介護(国基準型サービス、市基準型サービスを含む)】
- ・ 一人暮らしで身内がいても支援を期待できない方が増えている。「入院や施設に入る時の手続きの手伝い」や「亡くなった後の葬儀の手配や対応」などをしてくれる事業があると良い。
 【居宅介護支援】
- ・ 介護保険を利用するほどでもないレベルの方々がお手伝いさんのヘルパーの支援を要望されることが多いので、その受け皿となるサービス事情を増やしてほしい。
 【訪問介護(国基準型サービス、市基準型サービスを含む)】
- ・ 介護保険制度や高齢者福祉サービスの維持向上のため、サービスを提供する事業所が継続して運

営できるためのバックアップをおこなっていただけましたら幸いです。

【地域密着型通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】

- ・ 「行政通知がわかりづらい」「パスワード不要な通知が多い」との声多い。

【地域密着型通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】

- ・ 住まい系サービスに対する連携強化などが出来ると良いと思います。住まい系ならではの悩み（クラスターや入居促進、監査系）を相談・研修できる機会が欲しいです。

【特定施設入居者生活介護】

- ・ 相談した際、明確な判断基準のもと、指導をして欲しい。（相談させて頂く、市の職員によって、差違が大きい）。【高齢者支援センター】
- ・ 地域包括の担当の方が、中々動いてくれませんか（運営推進会議の出席など）。

【認知症対応型共同生活介護】

- ・ 地域包括支援センターの支援の質の底上げ（特に「ケアマネジャー支援」と「高齢者虐待対応」）について、期待値に達しない対応が続くと、不信感のみが大きくなり、ひいては関わりを持ちたなくなるという悪循環が起こる。【居宅介護支援】

② 業務負担の軽減（15件）

- ・ ケアプラン点検（ケアマネジメント勉強会）の業務委託化を早急に推進してほしい。主任介護支援専門員をはじめ、介護支援専門員は他にしなければいけないことが多くあるので、是非実現させてほしい。【居宅介護支援】

- ・ ケアマネジャー業務負担の軽減。ケアプラン勉強会の開催回数を減らしてほしい。

【居宅介護支援】

- ・ ひとりケアマネに支援困難事例を担当させないでほしい。（生活保護の申請の支援など）。

【居宅介護支援】

- ・ 居宅支援事業所がパンクしている点について、町田市の方で居宅支援事業所に対し、担当ケースの町田住民割合を調査してください。その数値把握の上で、その原因をお考えいただけると幸いです。【高齢者支援センター】

- ・ 業務の軽減化を図ってほしい。現場の実際の現状を把握するためにアンケートだけでなく現場を見に行ってもらいたい。机上の論理ではなく現場指導型にして欲しい。【居宅介護支援】

- ・ 主任介護支援専門員で行うケアプラン点検事業について、管理者やベテランが駆り出され、事業所の運営等に割ける時間やマンパワーが要されます。事業協力を報酬が設定されている市区町村もごぞいます。【居宅介護支援】

- ・ 住宅改修についてはケアマネに対しては料金が発生しないのでアドバイザーを付けた場合はケアマネの理由書作成を削ってほしい。【居宅介護支援】

③ 人材について（12件）

- ・ ヘルパーのなり手不足も深刻です。これは以前からある問題ですが、なんとか改善の方向へいくことを願います。【高齢者支援センター】

- ・ 介護報酬のアップや補助金などの一時的な賃上げではなく、業界全体としての賃上げが急務であると思います。【通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】

- ・ 低賃金な上、人材不足が深刻になってきているような印象がある。【居宅介護支援】

- ・ 夜勤を行う介護職の方がよい給料をもらう場合が多くなりケアマネジャーの働き手が不足。ケアマネジャーの育成及び賃金向上支援。【居宅介護支援】

④ 介護保険制度の周知について（８件）

- ・ 介護保険が適正に利用出来るように理解が必要に感じる場面が増えてきているようにも思う。介護保険創設時から、利用期間、サービスに対する意向、利用に対する困難性が増しているように思う。【居宅介護支援】
- ・ 介護保険のことを理解できていない高齢者が多数います。【居宅介護支援】
- ・ 介護保険の改訂の際に指導等、研修を行ってほしい。【認知症対応型共同生活介護】
- ・ 介護保険の使い方が分からない高齢者（家族）が多いためサービス利用に繋がらず、悲惨な状況で介入開始することが多発しています。【訪問看護】

⑤ 介護保険サービスの不足について（８件）

- ・ デイは予防的観点でリハが増えました。デイサービスはあっても、入浴制限が多く、入浴で困ることが多い。特に車いすなど重度の方の受け入れが少ない。在宅の方には、とても大事なポイントになります。【居宅介護支援】
- ・ 医療依存度の高い利用者を受け入れるデイが少なく（医療機関は医療処置のある方を在宅に帰しています）通所できるデイが無く困っている方がいます。処置に対しての加算等を希望します。基本単価も低いと思います。加算取得のための書類が多く、そこにマンパワーを取られています。【通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】
- ・ 看護小規模多機能居宅介護の利用ができない地域があるので、使えない地域がなくなるとありがたいです。【高齢者支援センター】
- ・ 訪問介護事業所の閉鎖や事業撤退があり新規の事業所は増えない。訪問介護事業が充実しなくては高齢者の在宅生活継続は難しいケースが多いです。【高齢者支援センター】
- ・ 要支援レベルの方でも状況により訪問介護やデイサービスでの入浴が必要となる利用者様があった時受け入れしていただける事業所が少ない現状があります。【居宅介護支援】
- ・ 要支援利用者の増加が続いている。委託が限界でセンターで対応せざるを得ない。他の包括業務を圧迫している。今後も増え続けると想定されるこの問題への対応を検討頂きたい。【高齢者支援センター】

⑥ 介護報酬について（８件）

- ・ 介護保険取得可能な算定単位数の増加を期待しています。【地域密着型通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】
- ・ 総合事業の利用者単価を上げてほしい。年２回の運営推進会議の開催が難しいので、何か緩和措置などがあると助かります。【地域密着型通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】
- ・ 単価指数が低く数多くの利用者が必要。【訪問介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】
- ・ 特定事業所加算の２４時間相談体勢について、時間の制約を見直してほしい。夜間相談対応は少なく、急変時対応になることがほとんどなので。【居宅介護支援】
- ・ 物価高騰や人件費の高騰があるなか、介護報酬は変わらないままなので、経営が大変苦しい状況が続いている。【地域密着型通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】

⑦ 利用者支援等について（7件）

- ・ 1割負担の方にとって、サービスを利用するにあたり、負担が大きくなっているように思います。
【居宅介護支援】
- ・ 緊急ショートステイの希望があっても、身寄りのいない方（緊急連絡先の確保が難しい方）の受け入れはお断りしている。そのような方を受け入れできるような制度があると良いと考える。
【短期入所生活介護】
- ・ 金銭管理のできない高齢者が増えており、猶予がある段階で提案はしているが予防策を取らない方は多い。その結果、支援者が何とかしないといけないケースが多く急に困った場合の対応策がない状況。【居宅介護支援】
- ・ 後見制度の申請がもう少し円滑に行われるといいなと思います。実質待機状態の方が生まれてしまっている。包括での対応にも限界があるのでは。【認知症対応型共同生活介護】
- ・ 施設入所が早く低予算で入居できるようにしてほしい（待機人数が多い）。【居宅介護支援】
- ・ 生活保護を受けられないギリギリの利用者さんの支援体制を考えて欲しいです。【訪問看護】
- ・ 利用者の中には、利用料の支払いが滞ってしまう人が一定数います。回収が難しいケースもあり苦慮しています。少なからず困っている施設もあるかと思います。何か良策はないかと考えています。【介護老人福祉施設】

⑧ ICT化、業務の効率化、簡素化について（6件）

- ・ 業務改善の一助となるICT関連の補助金についてはもう少し拡充して頂きたいと思います。
【通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】
- ・ 手続きの簡素化、簡略化など、積極的に考えてもらえると良いと思う。【居宅介護支援】
- ・ 人手不足、業務過多の状況で行政もICT化を進めてくれておりますが、さらなる業務の効率化、簡素化などを事業所などの現場の声を踏まえて今後も一緒に検討していただきたいです。
【高齢者支援センター】
- ・ 町田市内の居宅サービスの空き状況が分かるアプリなどがあれば、労力は減るのではと、いつも思っています。【訪問リハビリテーション】

⑨ 介護保険制度について（5件）

- ・ 少子高齢化が深刻化していく状況で、介護保険サービスの財源、人材確保が厳しくなっていく、先細りしていくことが予想されます。手厚い介護、支援も必要だと思いますが、将来を見据えた取り組みが重要となってくると思います。【居宅介護支援】
- ・ 訪問介護の利用については、要支援（総合事業）の方に対する掃除や調理等の家事支援は、原則として介護保険から外しても良いのではないかと。そもそもヘルパーが不足している。
【居宅介護支援】

⑩ 介護認定について（5件）

- ・ 介護度更新時になぜその介護度（支援）になったのかの理由をはっきりさせて欲しい。本当に支援が必要な利用者が介護から支援になったりする事例がかなり見受けられる。
【地域密着型通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】
- ・ 介護認定の確定までに2~3週間かかっています。期間の短縮をお願いします。【訪問看護】

⑪ その他（7件）

- ・ 高齢者が外出困難とならないように、ヘルパー訪問時にラジオ体操をしたり、外出歩行訓練の時間を作り、自ら地域交流し、地域の催しに参加できるような介助が大切だと思います。

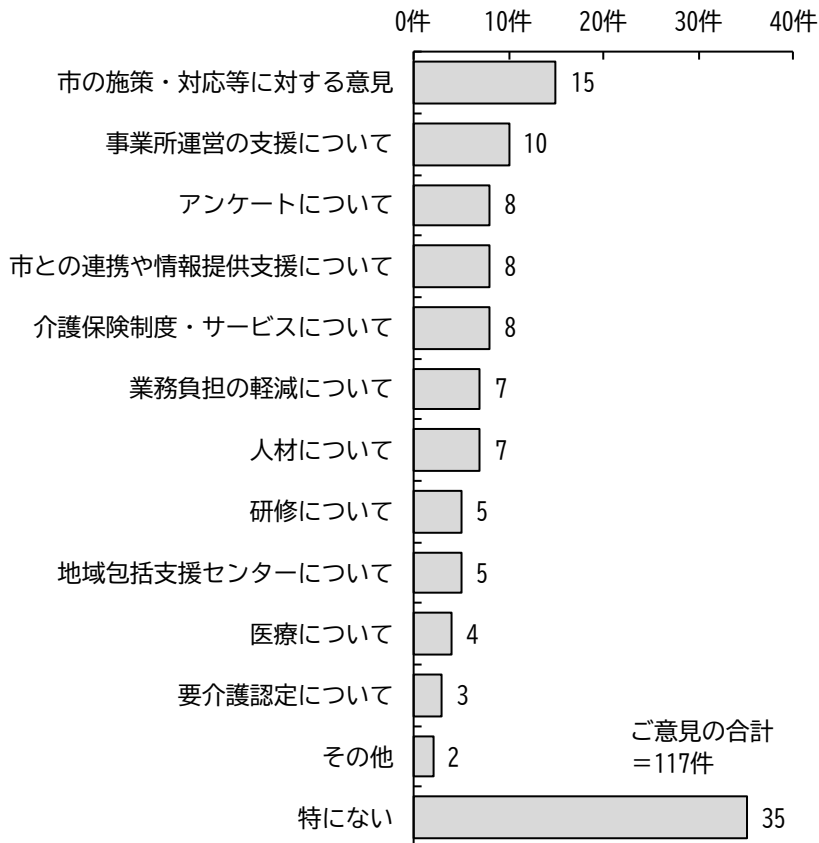
【地域密着型通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】

- ・ 高齢社会が到来し、今後介護が必要な高齢者がますます増加していくと考えられる。市民一人一人が、自分の老後を考える機会を持ち、それに向けて準備していくための啓発活動が必要と考える。【居宅介護支援】

(2) 町田市への要望

問 30 町田市に対し、ご要望がございましたらお書きください。(自由記述) 共通

図表 9-2 町田市への要望 (複数回答)



以下はあげられた意見を抜粋・一部要約したものです。(全 117 件)

① 市の施策・対応等に対する意見 (15 件)

- ・ アイステートメントは言葉がわかりづらく、なかなか広く一般にしられていくのは難しいと思う。
【地域密着型通所介護 (国基準型サービス、市基準型サービスを含む)】
- ・ ケアプラン点検事業の在り方、どれだけ効果があるのか。他市に比べて厳しく感じる。
【居宅介護支援】
- ・ デイの入浴できる施設を増やしてほしい。【居宅介護支援】
- ・ 高齢者が安心して外出できるよう、歩道の整備や、乗り合いタクシー事業等整備して欲しい。
【高齢者支援センター】
- ・ 町田市に困りごとで相談するとき丸投げにしないで丁寧に答えてほしい。【居宅介護支援】
- ・ 分野毎のスペシャリスト (専門職・長年勤める担当職員) を配置して欲しい。
【高齢者支援センター】

② 事業所運営の支援について（10件）

- ・なぜ、訪問介護や居宅が小規模化したのか。人員確保のために大規模化をすすめるのは本末転倒です。小規模のステーションなどは国・市が守ってほしい。【居宅介護支援】
- ・事業所や施設が連携しやすくなるような仕組みがあるといいと思います。【介護老人福祉施設】
- ・東京都は様々な取り組みに対する支援が多く、わかりやすく、充実し、支援額も多い。町田市からは特に支援を感じない。【地域密着型通所介護(国基準型サービス、市基準型サービスを含む)】
- ・物価及び人件費の高騰により、経営が厳しいです。是非、町田市独自の助成金や介護保険の地域区分係数を上げていただきたいです。【通所介護(国基準型サービス、市基準型サービスを含む)】

③ アンケートについて（8件）

- ・アンケートの内容は課を超えて共有してほしい。また、調査書の度、違う画面や紙に入力・記入しているが、統一された書式にしてほしい。【短期入所生活介護】
- ・町田市からのアンケート等、協力は行っていきたいですが、時間を取られるのも事実です。具体的に集約することで、どのような成果につながっているかを知りたいです（アンケート結果ではありません）。【特定施設入居者生活介護】
- ・調査の合理化のお願い。是非各行政組織間で調整をして、せめて数値データの徴収については、一本化できるものは一本化して欲しい。

【通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】

④ 市との連携や情報提供支援について（8件）

- ・介護の現場をもう少し見て感じてほしいです。机上の空論や数字だけでは測れない部分も多いので、実際に現場に来て経験してもらいたいと切に思います。

【通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】

- ・居宅介護支援事業所やほかの事業所を含む運営基準減算については、どのようなポイントを町田市が見ているのか教えてほしい。【居宅介護支援】
- ・現場にいろんな相談が寄せられますが、市役所から現状が出ているところも根拠をもって対応ができると思うこともあります。【高齢者支援センター】
- ・都が指定している事業所に関しては、町田市にあっても知らないというような対応はいかがなものかと思います。都が指定していても、市が把握しておくべきことではないでしょうか。

【居宅介護支援】

⑤ 介護保険制度・サービスについて（8件）

- ・「安く使える家政婦」と思われている発言が、いまだにあることに驚いています。一般ユーザーへ介護保険（特に訪問介護）について、もう少し踏み込んだ周知をお願いしたいです。

【訪問介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】

- ・介護保険の使い方が分からない高齢者（家族）が多いためサービス利用に繋がらず、悲惨な状況で介入開始することが多発しています。介護保険のアナウンスをしっかりとって欲しいです。

【訪問看護】

- ・不安なく老後について考えられるよう、制度を充実してほしい。【居宅介護支援】

⑥ 業務負担の軽減について（7件）

- ・ 何でもケアマネがお手伝いをするというフレーズは止めて欲しい。例えば「マイナンバーの手続き」等です。そのような時間はなく、負担が大きいです。【居宅介護支援】
- ・ 業務上必要な手続き申請などを簡易にできるようにして欲しい。支援契約を締結しているので個人情報等を事業所へ自動的に開示するなど効率的な対応を取って欲しい。【居宅介護支援】
- ・ 要支援の方の依頼が多くありますが十分に受けられていない状況です。要支援の方の報酬が少ない、しかし書類を多く作成しないといけないという理由が大きいです。【居宅介護支援】

⑦ 人材について（7件）

- ・ 介護職員の給料は安すぎると思う。市独自の支援制度がほしい。
【地域密着型通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】
- ・ 在宅生活の要となっているヘルパーが軽く扱われ、低賃金・高齢化・魅力のない職場になっている。埋もれている人材を掘り起こし、ヘルパーの人材確保が急務と思われる。ロボットが介入するのは介護は最後の職場だと思うので、外の職種のAI化・ロボット対応を増やし、介護に『人』が集まるようにしてほしい。【居宅介護支援】
- ・ 主任介護支援専門員の要件や役割も他市に準じて横並びに見直してほしい。【居宅介護支援】
- ・ 夜勤を行う介護職の方がよい給料をもらう場合が多くなり、ケアマネジャーの働き手が不足。ケアマネジャーの育成及び賃金向上支援。【居宅介護支援】

⑧ 研修について（5件）

- ・ コロナ以前は町田市でケアマネや管理者等の研修などがあったが今はないので交流の機会がなく、情報の共有などが少なくなる。【訪問介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】
- ・ 研修など様々な企画はあるかと思いますが、市内の施設職員との交流の場がさらに増える機会があると良いと考えます。【短期入所療養介護】
- ・ 事例検討会を増やしてほしい。【居宅介護支援】

⑨ 地域包括支援センターについて（5件）

- ・ センター職員数に対して、委託業務の増加が年々多く感じます。【高齢者支援センター】
- ・ 高齢者支援センターの現状把握と指導をお願いしたいと思います。地域包括ケアの要としてのセンターの知識不足や対応の悪さが地域全体に悪影響を及ぼすとも考えられます。【居宅介護支援】
- ・ 要支援の方が増えすぎて支援センターがアップアップの状況を把握しているのであればそれを解消するよう市に対応願いたい。【居宅介護支援】

⑩ 医療について（4件）

- ・ 人口に対して大規模病院が少なくとても不安です。日常生活や災害時でも安心して生活が出来るように大学病院の誘致や市民病院の強化や拡大を行って欲しいです。
【地域密着型通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む）】
- ・ 町田市の中で認知症専門医を増やしてほしい。【居宅介護支援】

⑪ 要介護認定について（3件）

- ・ 区分変更の認定結果が出るのが遅すぎて、対象者の状態が変わったり亡くなったりすることもあるにもかかわらず、サービスを入れられないこともあるため、区分変更だけでも結果を早急に出すようにしてほしい。【居宅介護支援】
- ・ 認定結果が30日以内に出ていないケースが多く、月末に要介護から要支援（またはその逆）になると、調整に難儀する。認定結果が出るまでの期間の短縮に努めてもらいたい。

【居宅介護支援】

⑫ その他（2件）

- ・ いつも大変お世話になっております。引き続きよろしくお願い申し上げます。
【特定施設入居者生活介護】
- ・ 福祉に熱心な市だと自覚しております。その一員として積極的に業務を担いたいと思っております。【高齢者支援センター】

10. 居宅介護支援事業所・高齢者支援センターについて

(1) サービス利用の紹介状況・利用状況と未紹介・未利用の理由

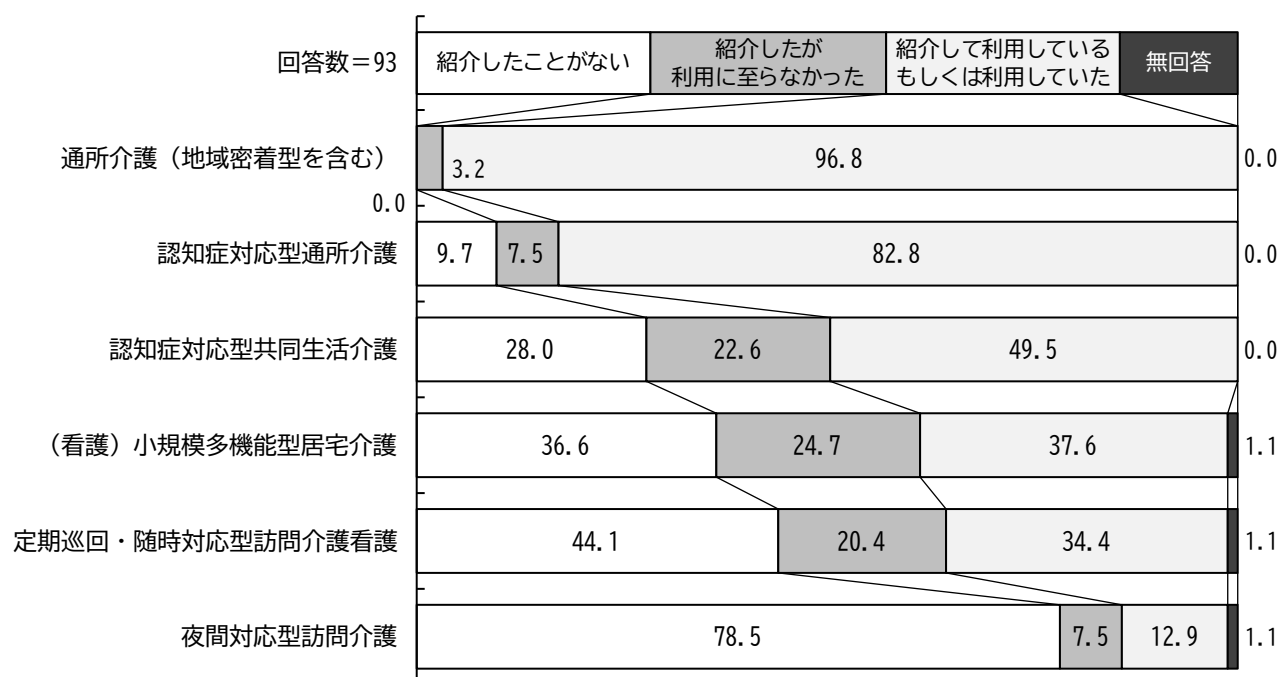
問31 2024年4月以降に、下記サービスの利用を紹介したことがありますか。(○は1つ)
 「1. 紹介したことがない」または「2. 紹介したが利用に至らなかった」を選択した場合、その理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

回答事業所： CM 支セ

サービス利用の紹介状況・利用状況について、「紹介して利用している、もしくは利用していた」の割合が高いのは、通所介護（地域密着型を含む）（96.8%）、認知症対応型通所介護（82.8%）となっている。

一方、「紹介したことがない」の割合が高いのは、夜間対応型訪問介護（78.5%）、定期巡回・随時対応型訪問介護看護（44.1%）、（看護）小規模多機能型居宅介護（36.6%）となっている。

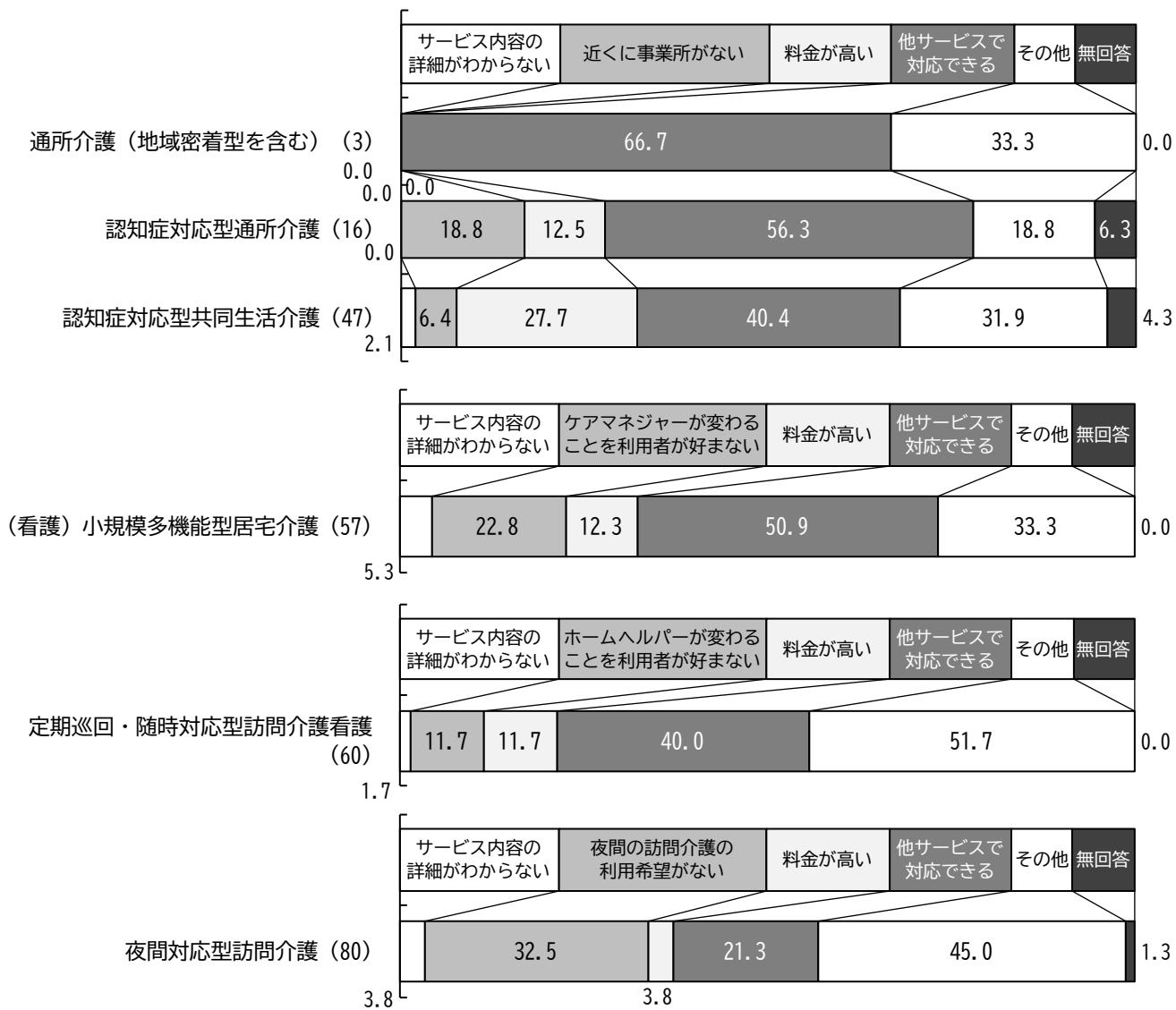
図表 10-1 サービス利用の紹介状況・利用状況(各単数回答)



未紹介・未利用の理由について、通所介護（地域密着型を含む）では、「他のサービスで対応できる」の割合が高くなっている。

また、夜間対応型訪問介護では、「夜間の訪問介護の利用希望がない」が32.5%と高くなっている。

図表 10-2 未紹介・未利用の理由(各複数回答)



(2) 利用希望の多いサービス（利用者本人）

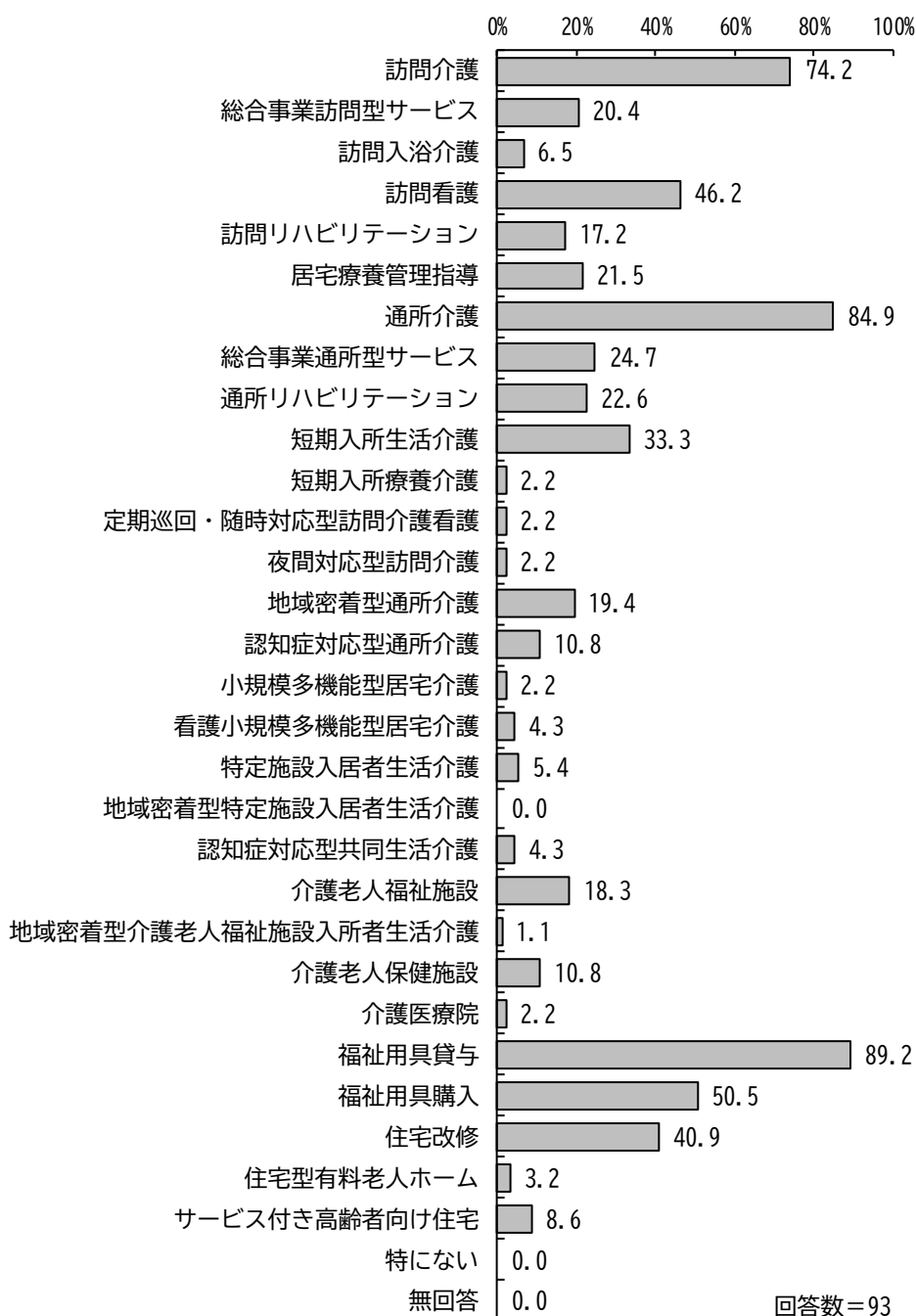
問 32① 利用者本人から利用希望の多いサービスはありますか。

(当てはまるもの全てに○)

回答事業所： CM 支セ

利用者本人から利用希望の多いサービスについて、「福祉用具貸与」（89.2%）が最も高く、次いで、「通所介護」（84.9%）、「訪問介護」（74.2%）、「福祉用具購入」（50.5%）と続いている。

図表 10-3 利用希望の多いサービス（利用者本人）（複数回答）



(3) 利用希望の多いサービス（利用者家族）

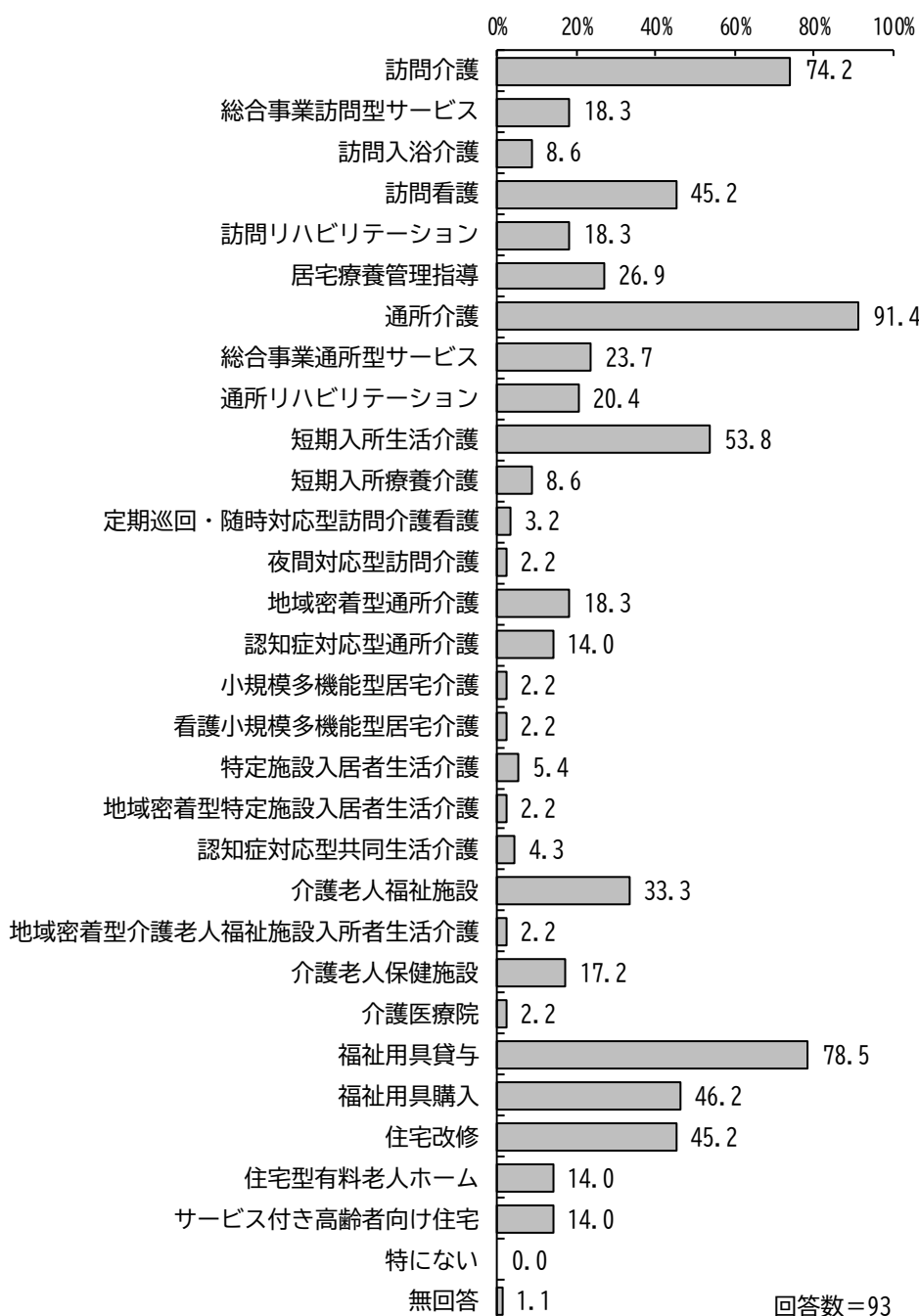
問 32② 利用者の家族から利用希望の多いサービスはありますか。

(当てはまるもの全てに○)

回答事業所： CM 支セ

利用者家族から利用希望の多いサービスについて、「通所介護」(91.4%)が最も高く、次いで「福祉用具貸与」(78.5%)、「訪問介護」(74.2%)と続いている。

図表 10-4 利用希望の多いサービス（利用者家族）（複数回答）



(4) 利用希望を断られたサービス

問 33① 「定員に空きがない」ことを理由に利用希望を断られたサービスはありますか。
(当てはまるもの全てに○)

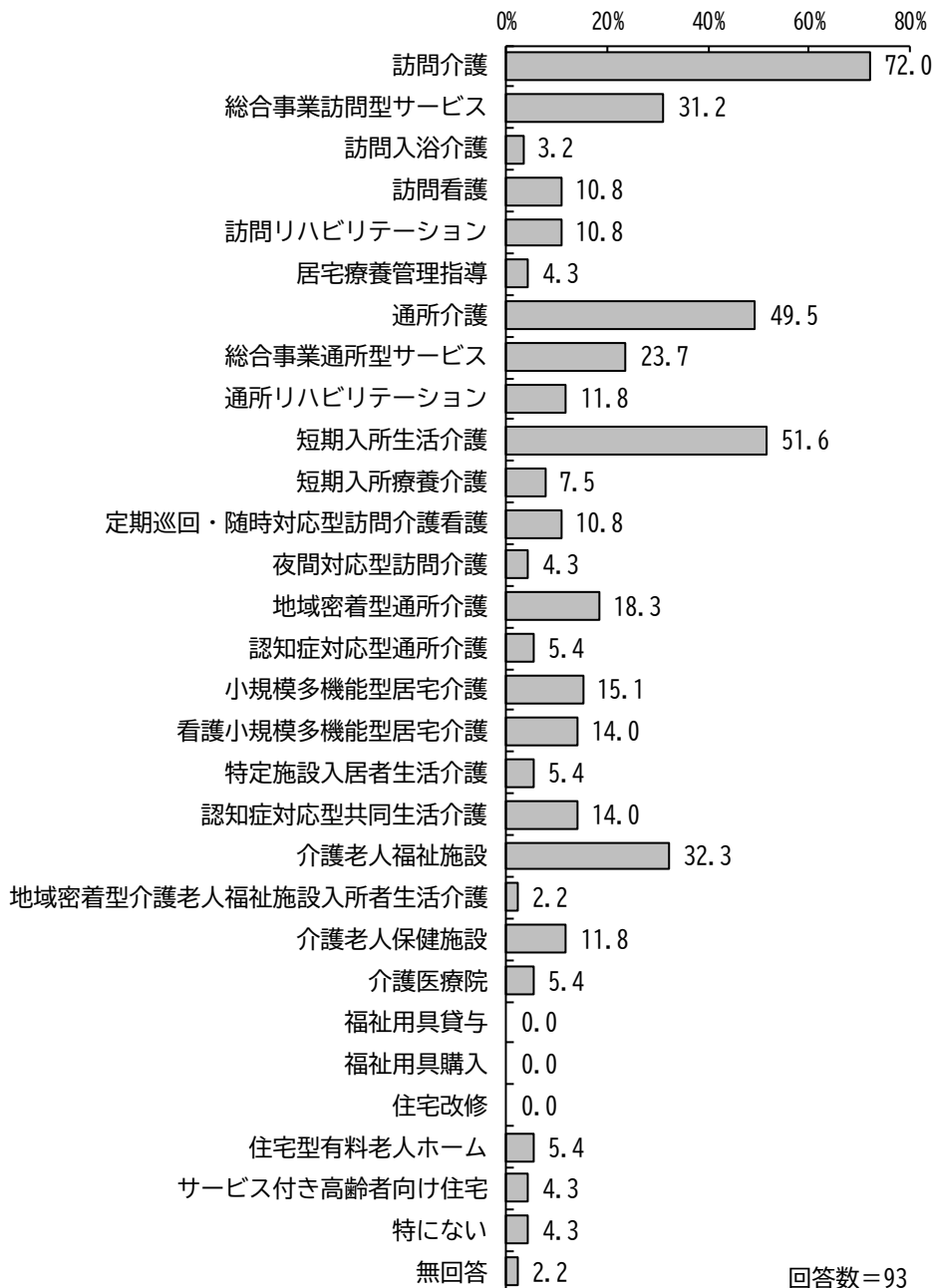
問 33② 「送迎や訪問等のサービス提供実施地域外」であることを理由に利用希望を断られたサービスはありますか。(当てはまるもの全てに○)

回答事業所： CM 支セ

「定員に空きがない」ことを理由に利用希望を断られたサービスについて、「訪問介護」(72.0%)が最も高く、次いで「短期入所生活介護」(51.6%)、「通所介護」(49.5%)と続いている。

一方、「特にない」は4.3%となっている。

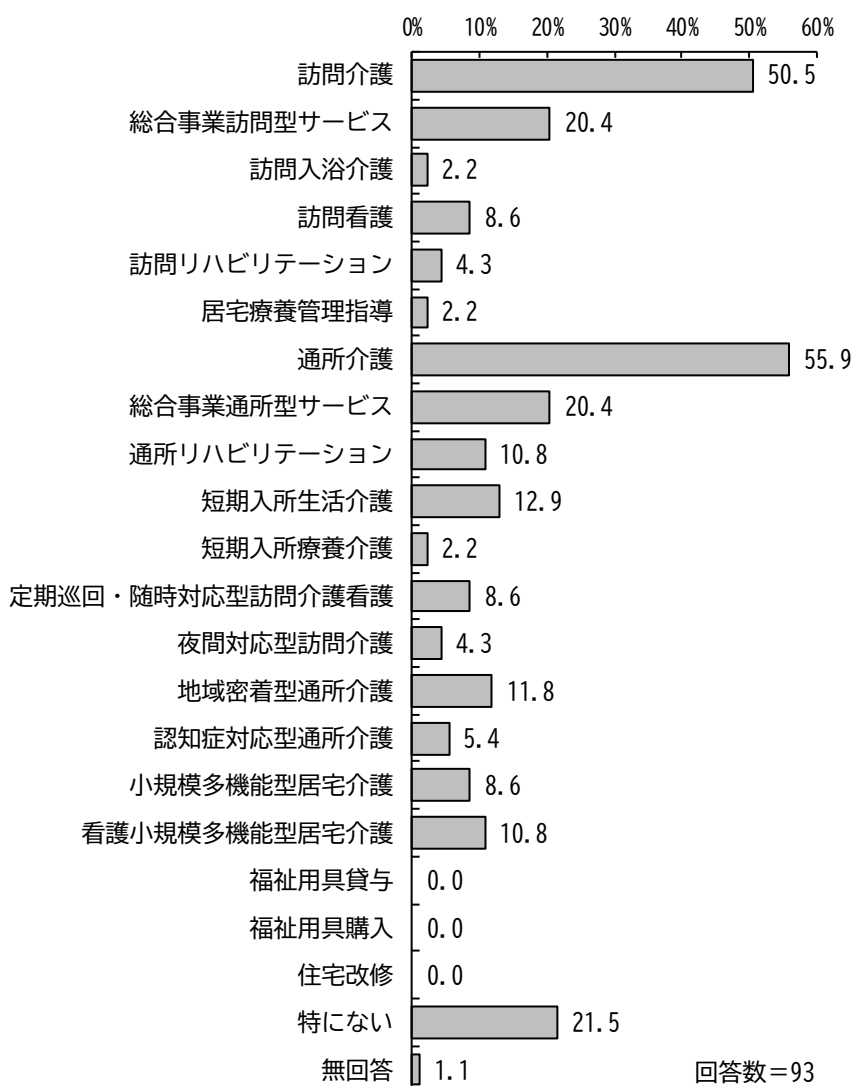
図表 10-5 「定員に空きがない」ことを理由に利用希望を断られたサービス（複数回答）



「送迎や訪問等のサービス提供実施地域外」であることを理由に利用希望を断られたサービスについては、「通所介護」(55.9%)が最も高く、次いで「訪問介護」(50.5%)、「総合事業訪問型サービス」「総合事業通所型サービス」(ともに20.4%)と続いている。

一方、「特にない」は21.5%となっている。

図表 10-6 「送迎や訪問等のサービス提供実施地域外」であることを理由に利用希望を断られたサービス(複数回答)



(5) 利用者本人または利用者家族が希望するサービス

問 34 利用者または利用者家族に希望されるサービス内容はどれですか。(○は1つ)
それらのサービスは利用者または利用者家族の希望どおりに利用できていますか。
(○は1つ)

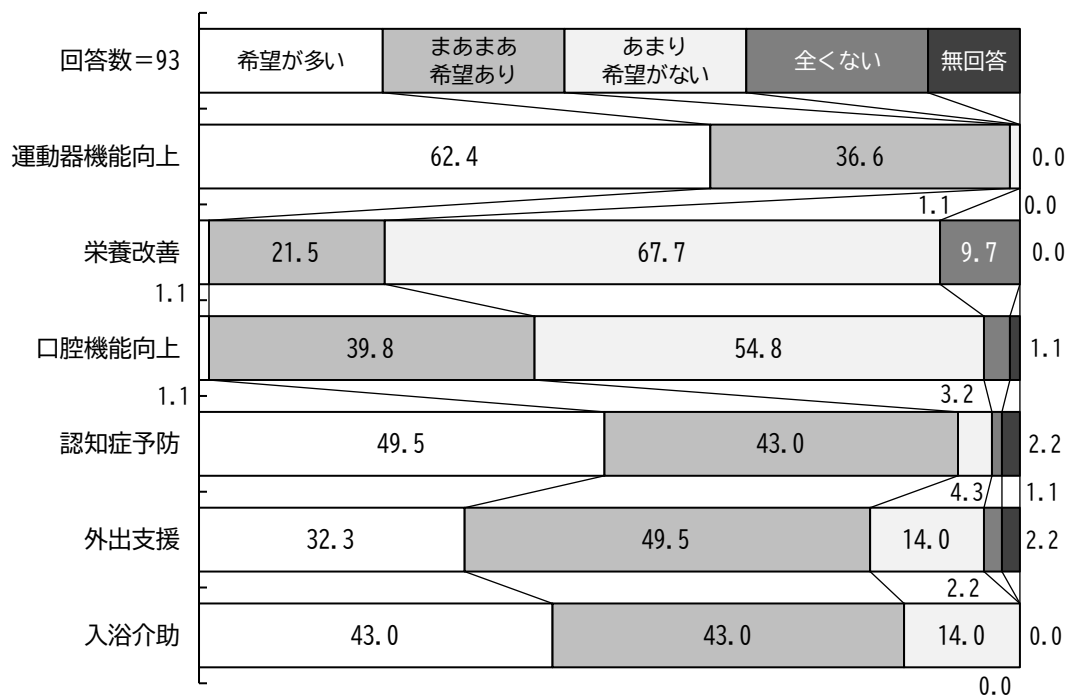
希望どおり利用できていない場合には可能な限り理由を記載してください。

回答事業所： CM 支セ

利用者本人または利用者家族が希望するサービス内容について、「希望が多い」の割合が最も高いのは、運動器機能向上で62.4%、次いで認知症予防が49.5%、入浴介助が43.0%と続いている。

また、栄養改善では、「あまり希望がない」が67.7%、「全くない」が9.7%と他のサービスに比べて高くなっている。

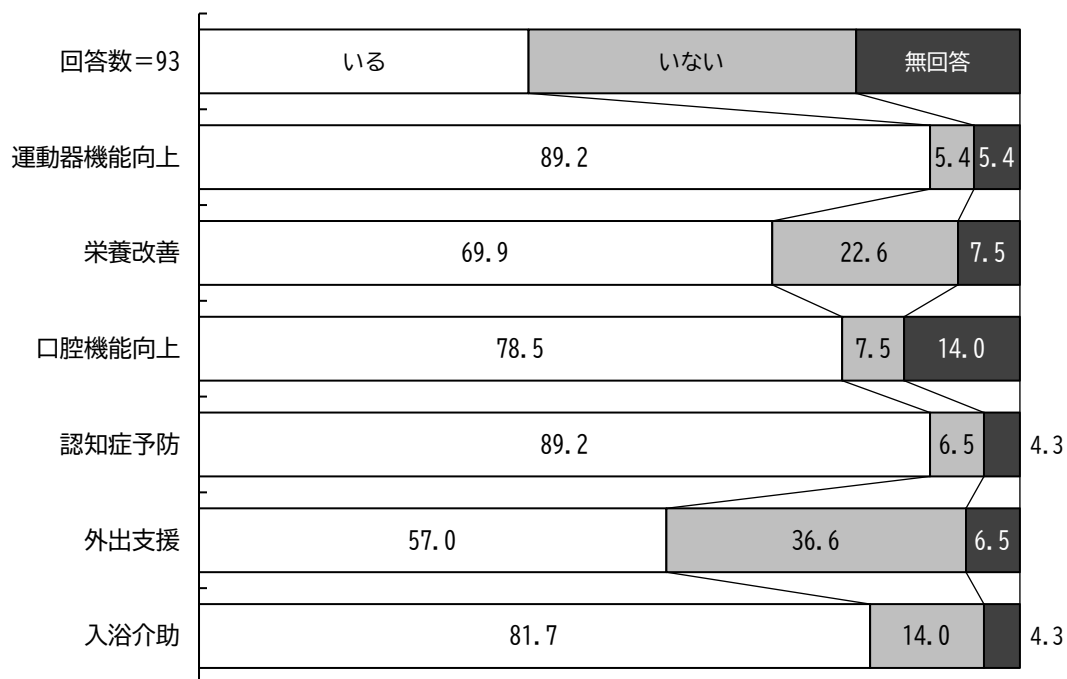
図表 10-7 利用者本人または利用者家族が希望するサービス（各単数回答）



希望通りに利用できているかについて、「いる」の割合が最も高いのは運動器機能向上、認知症予防がともに 89.2%、入浴介助が 81.7%と続いている。

一方、「いない」の割合が最も高いのは外出支援で 36.6%、次いで栄養改善で 22.6%と続いている。

図表 10-8 希望通りに利用できているか（各単数回答）



(6) ケアプラン作成における地域資源の活用

問 35 ケアプランの作成において、介護保険サービス以外の地域の資源を実際に盛り込み、活用した経験はありますか。(○は1つ)

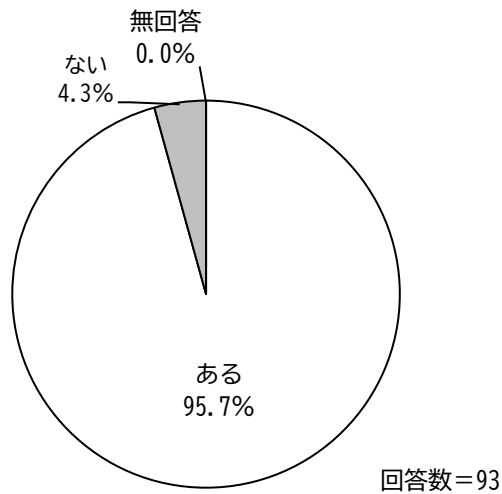
※問 35 で「1. ある」と回答した事業所におたずねします。

問 35-1 実際にどのような地域資源を活用しましたか。(当てはまるもの全てに○)

回答事業所： CM 支セ

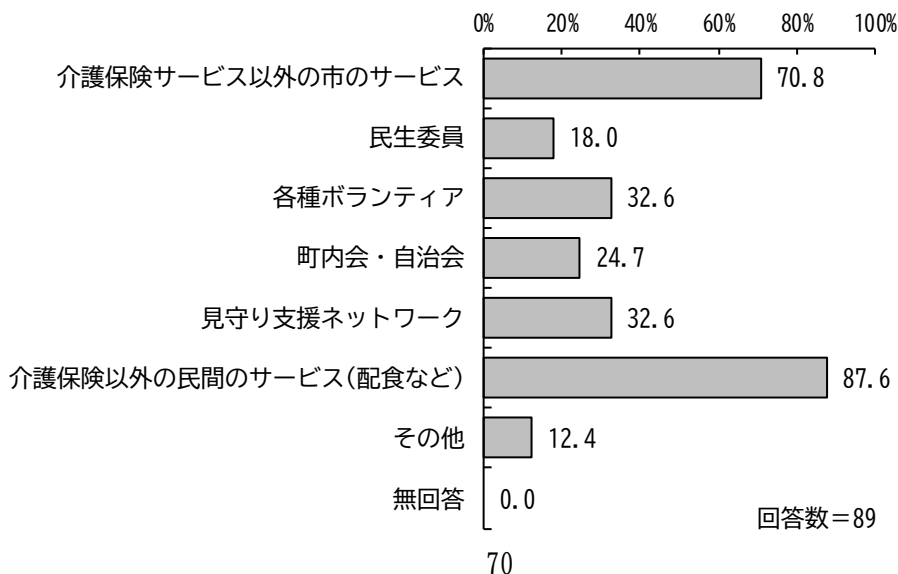
ケアプラン作成において、地域の資源を盛り込み活用した経験については、「ある」が 95.7%、「ない」が 4.3%となっている。

図表 10-9 ケアプラン作成における地域資源の活用経験の有無（単数回答）



地域の資源を盛り込み活用した経験が「ある」事業者に、どのような地域資源を活用したかをたずねたところ、「介護保険以外の民間のサービス(配食など)」(87.6%)が最も高く、次いで「介護保険サービス以外の市のサービス」(70.8%)、「各種ボランティア」「見守り支援ネットワーク」(ともに 32.6%)と続いている。

図表 10-10 活用した地域資源（複数回答）



(7) 入居・入所系サービスの利用希望状況

問 36 受け持っている利用者のうち、入居・入所系サービス※1を希望している利用者は何人いますか。また、入居または入所を希望している利用者のうち、ケアマネジャーの視点からも入居または入所が望ましいと思われる利用者※2は何人いますか。
(数字を記入)

回答事業所：

入居・入所系サービスの利用希望状況については、利用者 5,673 人中、「待機者を含む入居・入所系サービスの希望者」が 446 人、「ケアマネジャーの視点からも入居・入所系サービスへ移行したほうが良いと思われる利用者」が 277 人となっている。

図表 10-11 入居・入所系サービスの利用希望状況

	回答数	合計	平均
(ア) 受け持っている利用者	73 事業所	5,673 人	77.7 人
(イ) (ア) のうち、待機者を含む入居・入所系サービスの希望者	72 事業所	446 人	6.2 人
(ウ) (イ) のうち、ケアマネジャーの視点からも入居・入所系サービスへ移行したほうが良いと思われる利用者※2	70 事業所	277 人	4.0 人

- ※1 入居・入所系サービスとは、介護保険3施設、認知症対応型共同生活介護、特定施設入居者生活介護、サービス付き高齢者向け住宅等の入所入居系施設のこと。
- ※2 在宅介護サービスの利用だけでは、本人に必要なサービスが不足していると考えられる場合であり、例えば、食事や排せつなどの直接介護や徘徊、医療行為などの介護にかかる時間が24時間または在宅サービスの報酬単位を超えて発生するような方のこと。

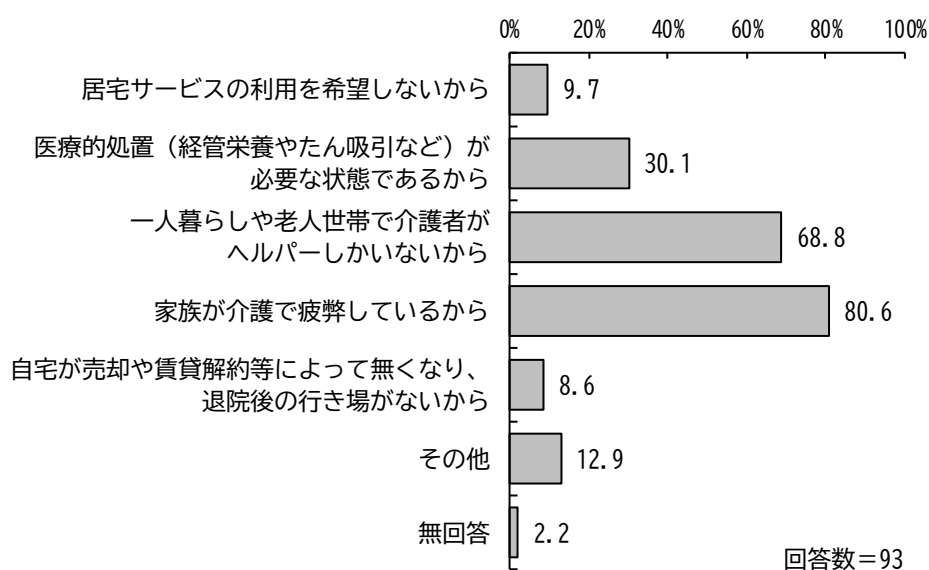
(8) 入居・入所系サービスを希望する理由

問 37 地域に密着した居宅サービスなどが充実しても、なお入居・入所系サービスを希望する利用者の入所理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

回答事業所： CM 支セ

地域に密着した居宅サービスが充実しても、入居・入所を希望する理由については、「家族が介護で疲弊しているから」(80.6%)が最も高く、次いで「一人暮らしや老人世帯で介護者がヘルパーしかいないから」(68.8%)、「医療的処置(経管栄養やたん吸引など)が必要な状態であるから」(30.1%)と続いている。

図表 10-12 入居・入所系サービスを希望する理由(複数回答)



(9) 住宅改修・福祉用具アドバイザー制度の認知度

問 38 住宅改修・福祉用具アドバイザー制度を知っていますか（○は1つ）

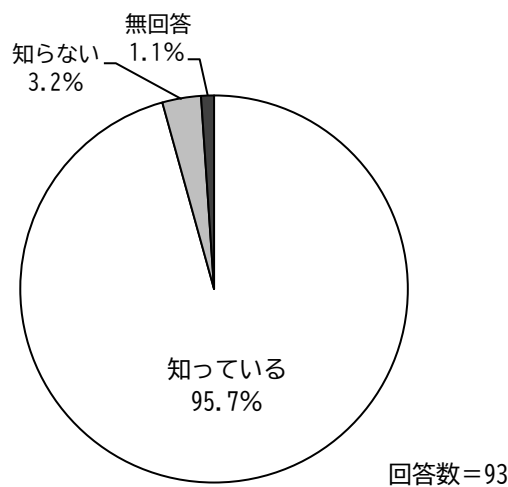
※問 38 で「1. 知っている」と回答した事業所におたずねします。

問 38-1 どのような時にアドバイザーへ助言を求めますか（当てはまるもの全てに○）

回答事業所： CM 支セ

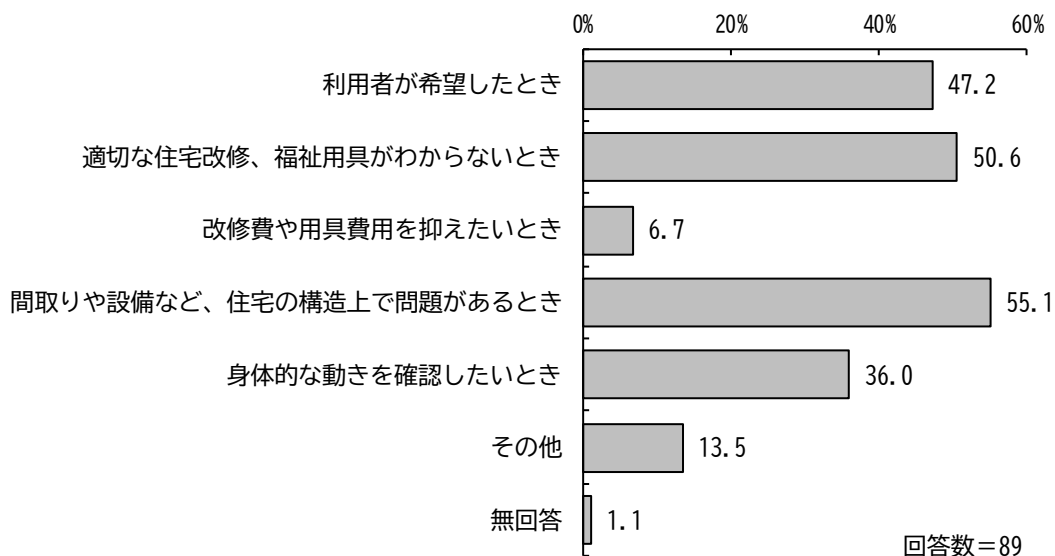
住宅改修・福祉用具アドバイザー制度の認知度については、「知っている」が 95.7%、「知らない」が 3.2%となっている。

図表 10-13 住宅改修・福祉用具アドバイザー制度の認知度（単数回答）



どのような時にアドバイザーへ助言を求めるかについては、「間取りや設備など、住宅の構造上で問題があるとき」(55.1%)が最も高く、次いで「適切な住宅改修、福祉用具がわからないとき」(50.6%)、「利用者が希望したとき」(47.2%)、「身体的な動きを確認したいとき」(36.0%)と続いている。

図表 10-14 アドバイザーへ助言を求めるタイミング



(10) 住宅改修・福祉用具アドバイザー制度の認識

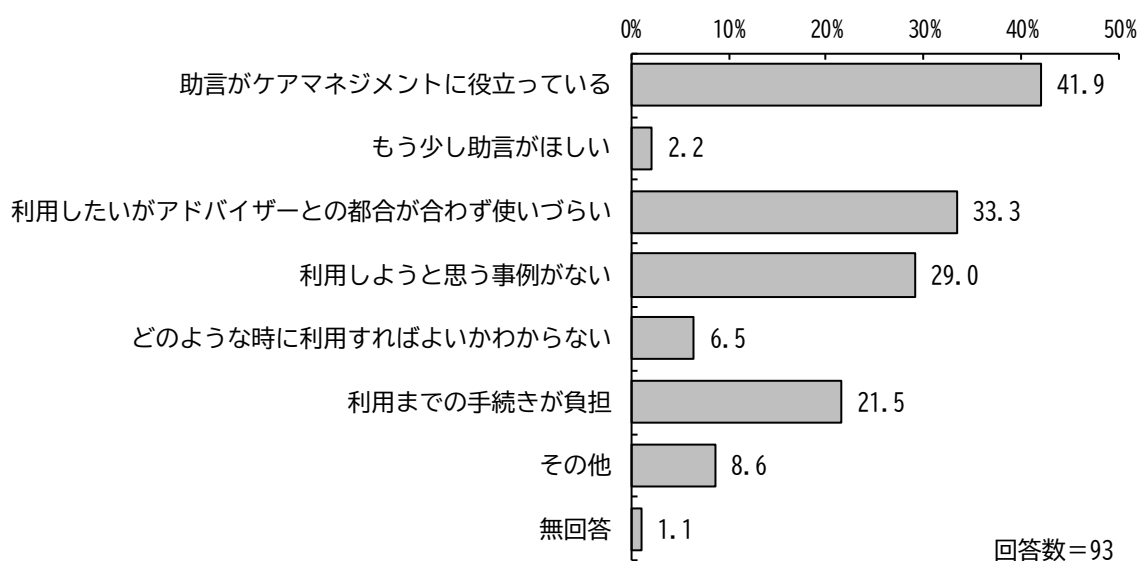
問 39 住宅改修・福祉用具アドバイザー制度について感じることを選択してください。

(当てはまるもの全てに○)

回答事業所： CM 支セ

住宅改修・福祉用具アドバイザー制度の認識は、「助言がケアマネジメントに役立っている」(41.9%)が最も高く、次いで「利用したいがアドバイザーとの都合が合わず使いづらい」(33.3%)、「利用しようと思う事例がない」(29.0%)、「利用までの手続きが負担」(21.5%)と続いている。

図表 10-15 住宅改修・福祉用具アドバイザー制度の認識（複数回答）



1 1. 介護保険サービスについて

(1) 利用者の紹介と受け入れ状況

問 40 貴事業所は 2024 年 4 月以降に、貴事業所が提供する介護保険サービスについて、他の事業所（高齢者支援センターや病院など）から利用者の紹介を受けたことがありますか。（○は1つ）

※問 40 で「1. ある」と回答した事業所におたずねします。

問 40-1 紹介元を選択し、実際に利用開始となったかをお選びください。（○は1つ）

また、利用開始にならなかった場合は、主な理由を1つ選択してください。

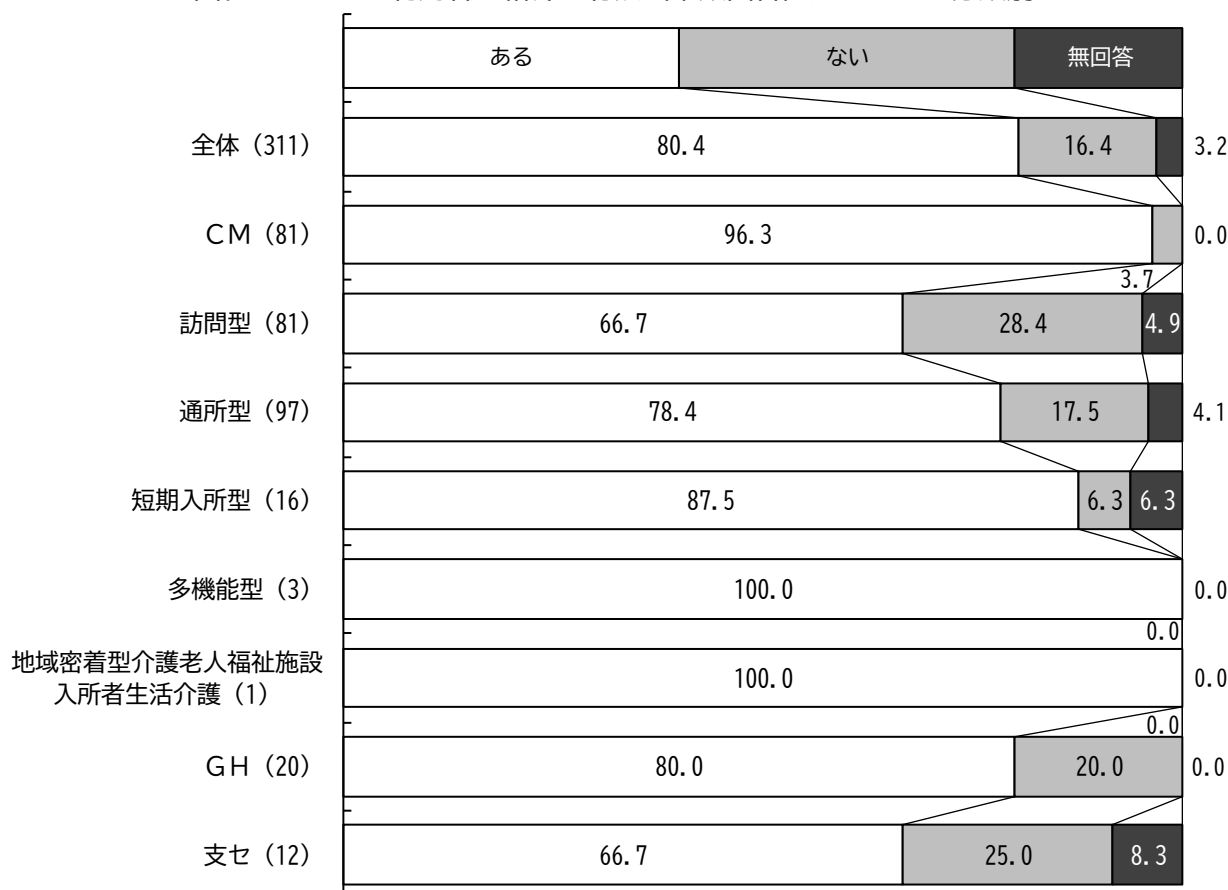
（○は1つ）

回答事業所： CM 訪問 訪問入浴 訪問看護 訪問リハ 通所 総合事業通所 通所リハ
短期入所生活介護 短期入所療養介護 定期巡回 夜間 密着デイ 認知デイ
(看)小多機 GH 密着特養 支セ

直近3年以内に他事業所から利用者の紹介を受けたかについては、「ある」が80.4%、「ない」が16.4%となっている。

サービス分類別にみると、CMでは「ある」が96.3%と高く、次いで短期入所型87.5%となっている。

図表 1 1-1 利用者の紹介の有無（単数回答）／サービス分類別

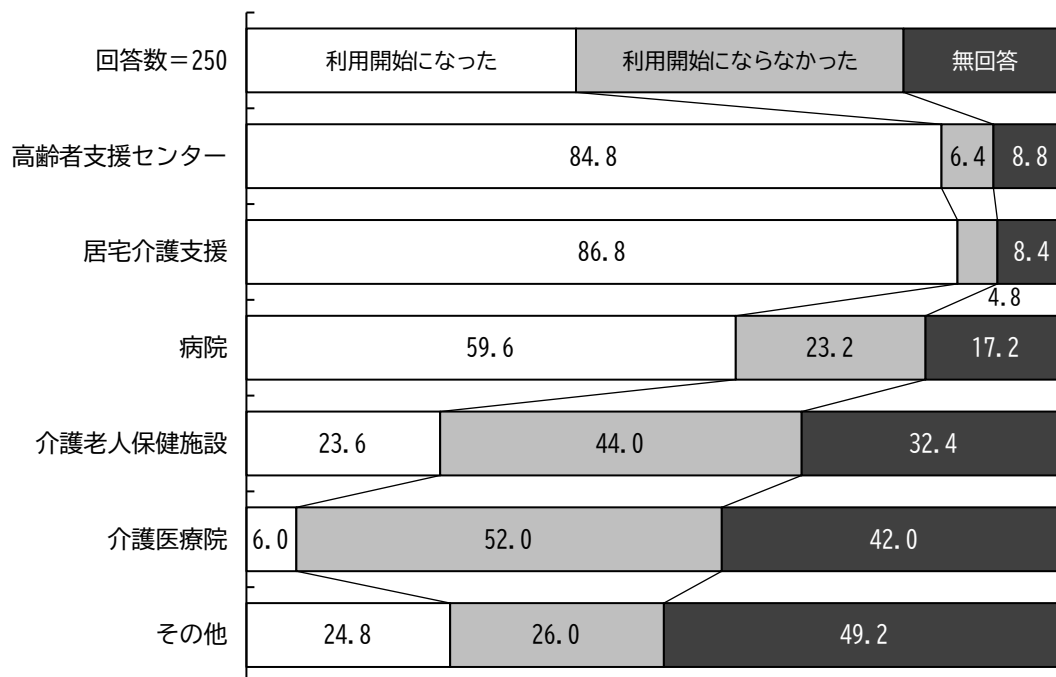


※コメントは、回答事業所数が2桁以上の場合のみ記載している。

紹介を受けて、実際に利用開始となったかについてサービス分類別にみると、「利用開始になった」の割合が高いのは、居宅介護支援（86.8%）、高齢者支援センター（84.8%）となっている。

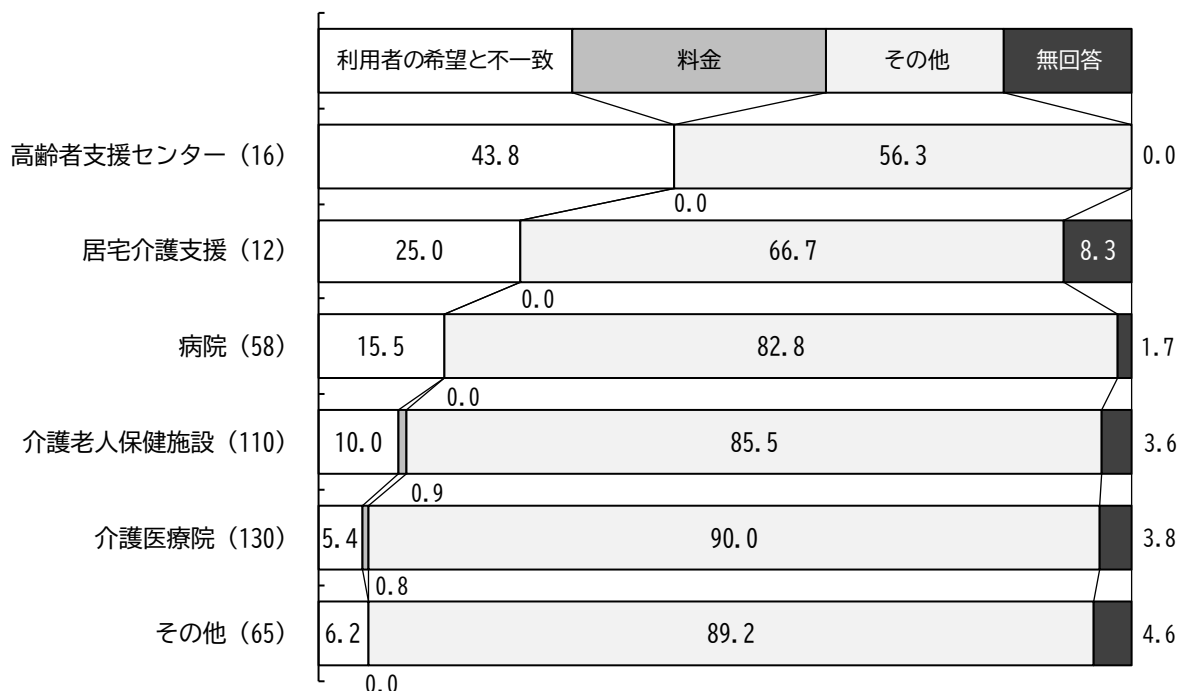
一方、「利用開始にならなかった」の割合が高いのは、介護医療院（52.0%）、介護老人保健施設（44.0%）となっている。

図表 11-2 利用開始の有無（各単数回答）



実際に利用開始にならなかった理由をみると、高齢者支援センター、居宅介護支援で「利用者の希望との不一致」の割合が高くなっている。

図表 11-3 利用開始にならなかった理由（各単数回答）



(2) 定員未満時の受け入れ状況

問 41 貴事業所において、2024年4月以降に、届け出を行っている定員あるいは登録定員（定員のない場合は推定利用人数）まで利用者を受け入れられないことはありましたか。（○は1つ）

※問 41 で「1. ある」と回答した事業所におたずねします。

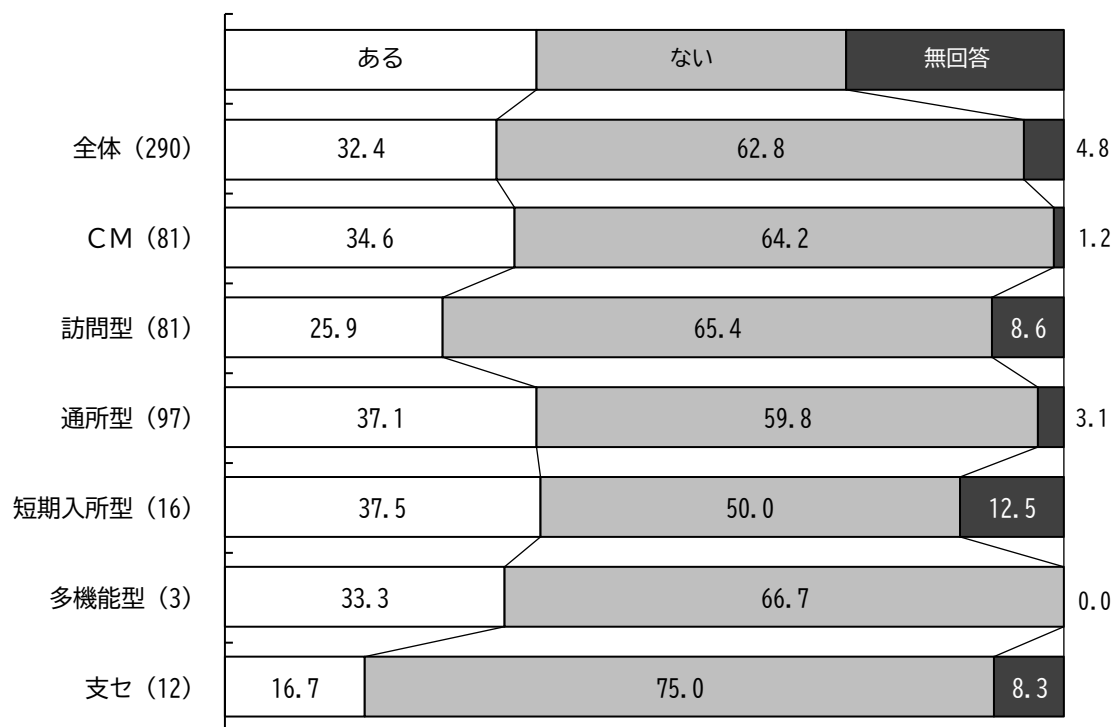
問 41-1 ある場合、主な理由を1つ選択してください。（○は1つ）

回答事業所： CM 訪問 訪問入浴 訪問看護 訪問リハ 通所 総合事業通所 通所リハ
 短期入所生活介護 短期入所療養介護 定期巡回 夜間 密着デイ 認知デイ
 (看)小多機 支セ

定員未満時の受け入れ状況をサービス分類別にみると、短期入所型（37.5%）、通所型（37.1%）、CM（34.6%）で「ある」の割合が高くなっている。

一方、「ない」の割合が高いのは、支セ（75.0%）、多機能型（66.7%）、訪問型（65.4%）となっている。

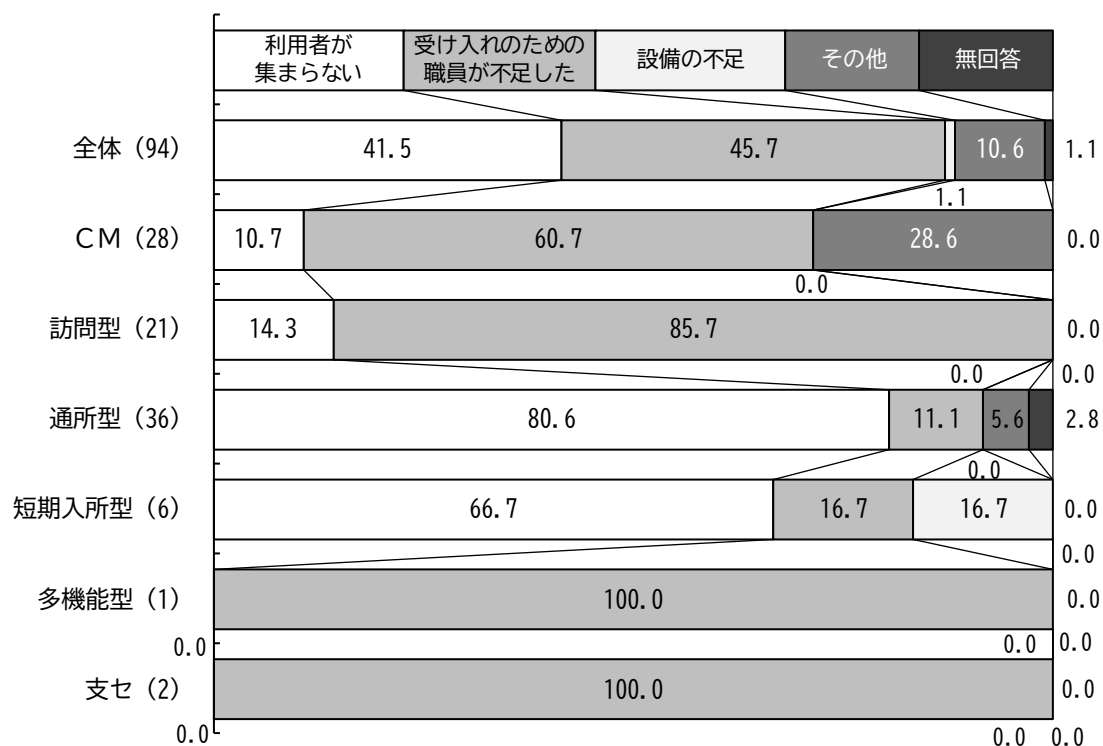
図表 11-4 定員未満時の受け入れ状況（単数回答）／サービス分類別



定員未滿時に受け入れられない場合の主な理由は、通所型（80.6%）、短期入所型（66.7%）が「利用者が集まらない」となっている。

多機能型、支セ（ともに100.0%）、訪問型（85.7%）、CM（60.7%）が「受け入れのための職員が不足した」となっている。

図表 1 1 - 5 定員未滿時に受け入れられない場合の主な理由（単数回答）／サービス分類別



(3) 今後のサービス展開

問 42 現在、貴事業所で提供しているサービスについて今後はどのように考えていますか。(〇は1つ)

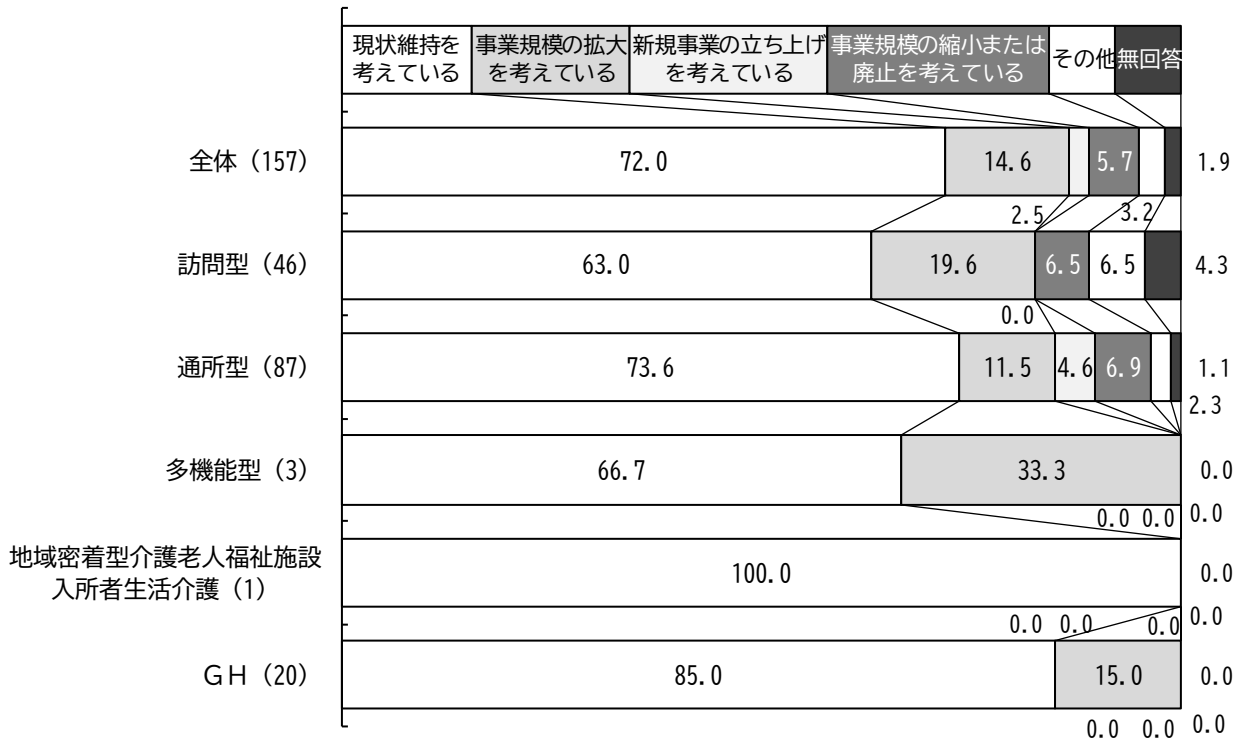
※問 42 で「4. 事業規模の縮小または廃止を考えている」と回答した事業所におたずねします。

問 42-1 縮小または廃止を考えている理由は何ですか。(当てはまるもの全てに〇)

回答事業所：訪問 通所 定期巡回 夜間 密着デイ 認知デイ (看) 小多機
GH 密着特養

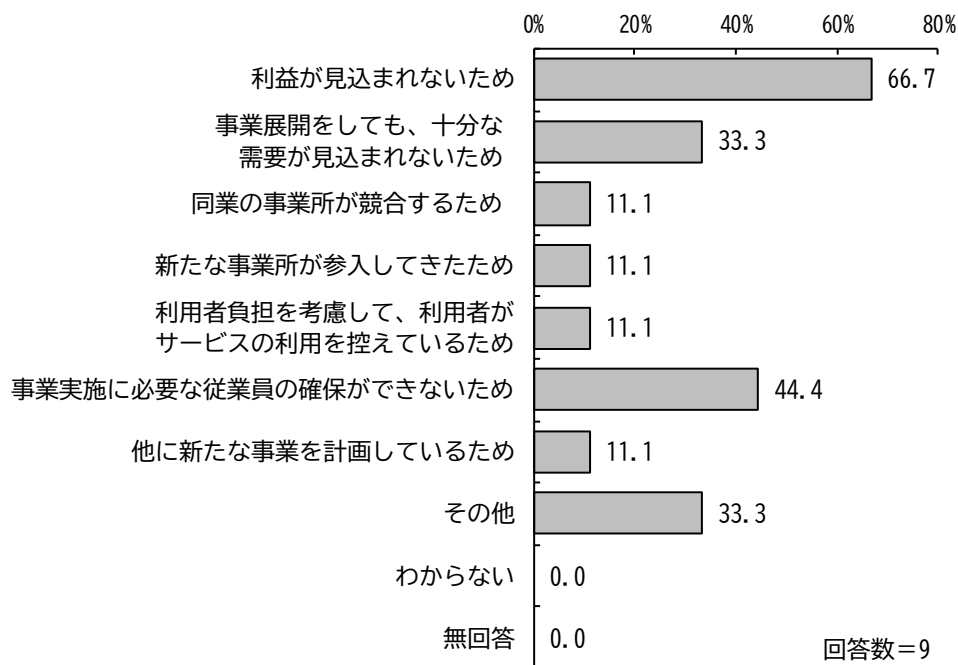
今後のサービス展開については、すべてのサービス分類において「現状維持を考えている」の割合が6割以上となっている。

図表 11-6 今後のサービス展開（単数回答）／サービス分類別



縮小または廃止を考えている理由は、「利益が見込まれないため」(66.7%)が最も高く、次いで「事業実施に必要な従業員の確保ができないため」(44.4%)、「事業展開をしても、十分な需要が見込まれないため」(33.3%)と続いている。

図表 11-7 縮小または廃止を考えている理由(複数回答)



12. 総合事業について

(1) 総合事業の実施状況

問 43 貴事業所は、総合事業（国基準／市基準）を実施していますか。（○は1つ）

※問 43 で「1. はい」と回答した事業所におたずねします。

問 43-1 実施している総合事業のサービスの型（種類）は何ですか。

（当てはまるもの全てに○）

問 43-2 総合事業に対して利用者からの要望が多いものは何ですか。

（当てはまるもの全てに○）

問 43-3 総合事業を実施しているなかで、どのような課題がありますか。

（当てはまるもの全てに○）

※問 43 で「2. いいえ」と回答した事業所におたずねします。

問 43-4 今後、総合事業を実施する予定はありますか。（○は1つ）

※問 43-4 で「1. はい」と回答した事業所におたずねします。

問 43-5 今後、実施予定としている総合事業を選択してください。

（当てはまるもの全てに○）

※問 43-4 で「2. いいえ」と回答した事業所におたずねします。

問 43-6 実施予定がない理由を選択してください。（当てはまるもの全てに○）

回答事業所： 訪問 通所 総合事業通所 密着デイ

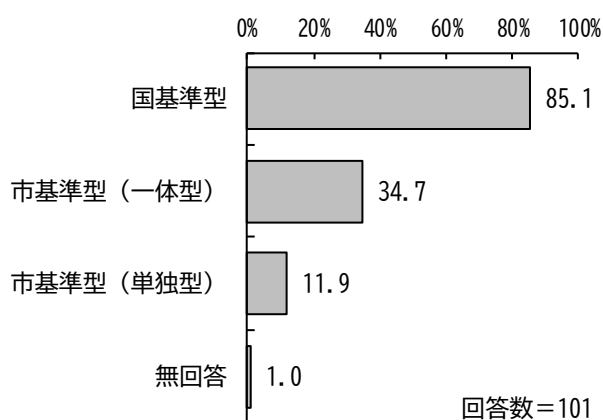
総合事業の実施の有無については、「はい」が79.5%、「いいえ」が20.5%となっている。
サービス分類別にみると、通所型（80.7%）、訪問型（77.3%）となっている。

図表 12-1 総合事業の実施の有無（単数回答）／サービス分類別

	はい	いいえ	無回答
全体 (127)	79.5	20.5	0.0
訪問型 (44)	77.3	22.7	0.0
通所型 (83)	80.7	19.3	0.0

実施している総合事業のサービスの型（種類）を聞くと、「国基準型」が85.1%で最も高く、次いで「市基準型（一体型）」が34.7%、「市基準型（単独型）」が11.9%となっている。

図表 12-2 実施している総合事業のサービスの型（種類）（複数回答）



サービス分類別にみると、訪問型で「国基準型」が88.2%と他のサービスより高くなっている。

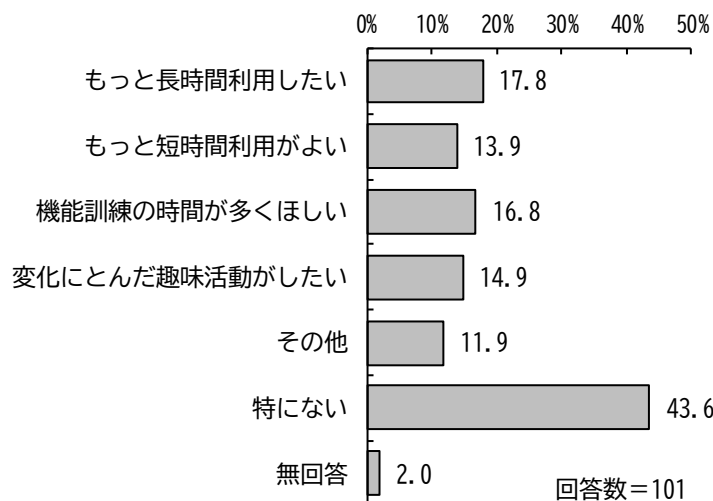
図表 12-3 実施している総合事業のサービスの型（種類）／サービス分類別

		回答数	国基準型	市基準型（一体型）	市基準型（単独型）	無回答
全体		101	85.1	34.7	11.9	1.0
サービス分類別	訪問型	34	88.2	55.9	5.9	2.9
	通所型	67	83.6	23.9	14.9	0.0

総合事業に対する利用者からの要望については、「もっと長時間利用したい」(17.8%)が最も高く、次いで「機能訓練の時間が多くほしい」(16.8%)、「変化にとんだ趣味活動がしたい」(14.9%)と続いている。

一方、「特にない」は43.6%と高い割合となっている。

図表 12-4 総合事業に対する利用者からの要望（複数回答）



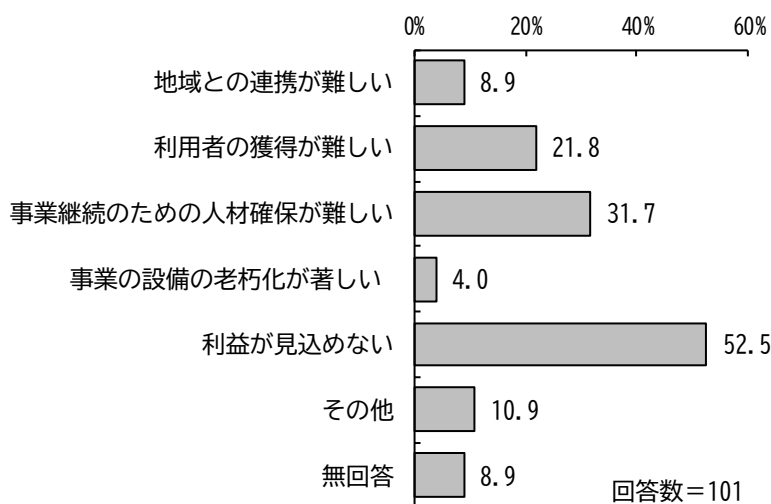
サービス分類別にみると、訪問型では「もっと長時間利用したい」(44.1%)、通所型では「機能訓練の時間が多くほしい」(25.4%)、「変化にとんだ趣味活動がしたい」(20.9%)が高くなっている。

図表 12-5 総合事業に対する利用者からの要望／サービス分類別

		回答数	もっと長時間利用したい	もっと短時間利用がよい	機能訓練の時間が多くほしい	変化にとんだ趣味活動がしたい	その他	特にない	無回答
全体		101	17.8	13.9	16.8	14.9	11.9	43.6	2.0
サービス分類別	訪問型	34	44.1	2.9	0.0	2.9	2.9	47.1	2.9
	通所型	67	4.5	19.4	25.4	20.9	16.4	41.8	1.5

総合事業を実施するなかで生じた課題については、「利益が見込めない」(52.5%)が最も高く、次いで「事業継続のための人材確保が難しい」(31.7%)、「利用者の獲得が難しい」(21.8%)と続いている

図表 12-6 総合事業実施上の課題（複数回答）



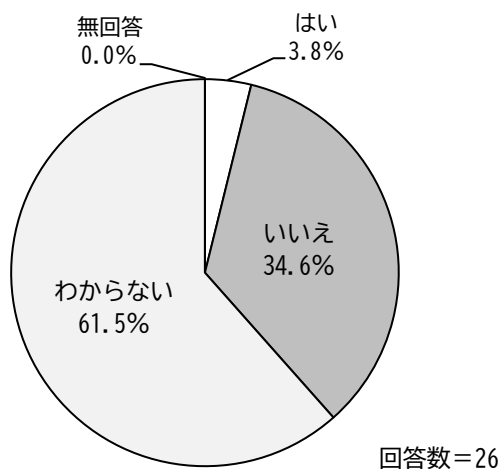
サービス分類別にみると、訪問型では「利益が見込めない」(58.8%)が最も高く、「事業継続のための人材確保が難しい」(52.9%)と続いている。通所型でも「利益が見込めない」(49.3%)が最も高く、次に「利用者の獲得が難しい」(29.9%)が高くなっている。

図表 12-7 総合事業実施上の課題／サービス分類別

		回答数	地域の連携が難しい	利用者の獲得が難しい	事業継続のための人材確保が難しい	事業の設備の老朽化が著しい	利益が見込めない	その他	無回答
全体		101	8.9	21.8	31.7	4.0	52.5	10.9	8.9
サービス分類別	訪問型	34	2.9	5.9	52.9	2.9	58.8	5.9	8.8
	通所型	67	11.9	29.9	20.9	4.5	49.3	13.4	9.0

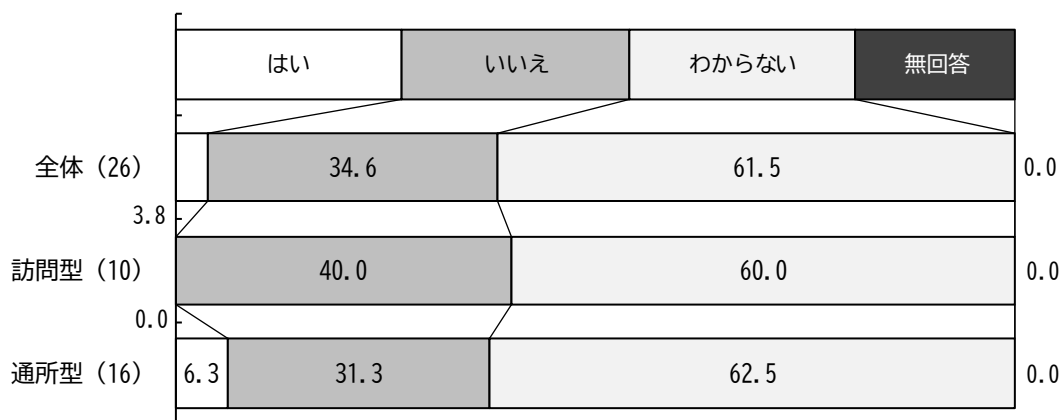
総合事業を実施したことのない事業所に今後の実施予定があるかを聞くと、「はい」が3.8%、「いいえ」が34.6%、「わからない」が61.5%となっている。

図表 12-8 総合事業の実施予定（単数回答）



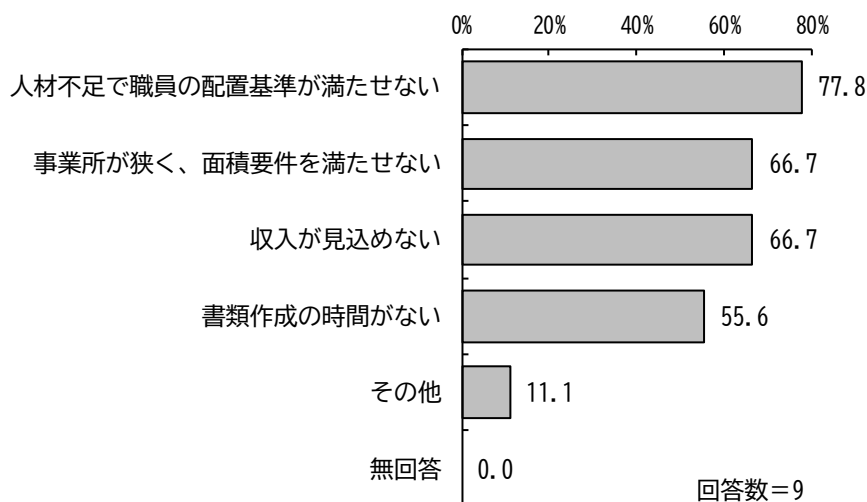
サービス分類別にみると、通所型で「はい」が6.3%となっている。

図表 12-9 総合事業の実施予定／サービス分類別



総合事業の実施予定がない事業所にその理由を聞くと、「人材不足で職員の配置基準が満たせない」(77.8%)が最も高く、次いで「事業所が狭く、面積要件を満たせない」「収入が見込めない」(ともに66.7%)、「書類作成の時間がない」(55.6%)となっている。

図表 12-10 実施予定がない理由(複数回答)



(2) 要介護度別の利用者数（訪問サービス）

問 44 2025 年 10 月 1 日時点での要介護度別の利用者数をご記入ください。（数字を記入）

※問 43 で「1. はい（総合事業を実施している）」と回答した事業所におたずねします。

※該当者がいない場合は 0（ゼロ）をご記入ください。

回答事業所：訪問

国基準型訪問サービスの利用者を要介護度別にみると、すべての介護度で週 1 回利用の人数が最も多く、回数が増加するにつれ、利用者数は減少する。また、利用者数が多いのは、「要支援 2」となっている。

図表 12-11 2025 年 10 月 1 日時点の要介護度別の利用者数（数値回答）

(1) 国基準型訪問サービス

	週 1 回利用			週 2 回利用			週 3 回利用		
	回答数	合計	平均	回答数	合計	平均	回答数	合計	平均
事業対象者	25	45 人	1.8 人	25	13 人	0.5 人	25	0 人	0.00 人
要支援 1	29	115 人	4.0 人	26	15 人	0.6 人	26	1 人	0.04 人
要支援 2	27	121 人	4.5 人	27	54 人	2.0 人	26	2 人	0.08 人
合 計		281 人	3.4 人		82 人	1.0 人		3 人	0.04 人

市基準型訪問サービスの利用者を要介護度別にみると、国基準型と同様の傾向にあるが、全体の利用者数は少なくなっている。週 3 回利用においては、「要支援 2」の利用者が 1 人となっている。

図表 12-12 2025 年 10 月 1 日時点の要介護度別の利用者数（数値回答）

(2) 市基準型訪問サービス

	週 1 回利用			週 2 回利用			週 3 回利用		
	回答数	合計	平均	回答数	合計	平均	回答数	合計	平均
事業対象者	27	5 人	0.2 人	26	0 人	0.0 人	26	0 人	0.00 人
要支援 1	31	74 人	2.4 人	28	4 人	0.1 人	25	0 人	0.00 人
要支援 2	29	72 人	2.5 人	29	20 人	0.7 人	25	1 人	0.04 人
合 計		151 人	1.7 人		24 人	0.3 人		1 人	0.01 人

(3) 1 か月間の利用状況（通所サービス）

問 45 貴事業所の 2025 年 10 月（1 か月間）の単位ごとの利用状況（A. 利用者定員数、
B. 営業日数、C. 延べ利用者数）をご記入ください。（数字を記入）

※問 43 で「1. はい（総合事業を実施している）」と回答した事業所におたずねします。

※該当者がいない場合は 0（ゼロ）をご記入ください。

回答事業所： 通所 総合事業通所 密着デイ

総合事業通所サービスの 1 か月間の利用状況については、利用者定員数、営業日数共に単位数が増加するにつれ減少している。

延べ利用者数の平均については、1 単位で 188.8 人、2 単位で 105.2 人、3 単位で 7.5 人と続いている。

図表 1 2-1 3 2025 年 10 月（1 か月間）の利用状況（数値回答）

	① 1 単位			② 2 単位			③ 3 単位		
	回答数	合計	平均	回答数	合計	平均	回答数	合計	平均
A. 利用者定員数 (2025 年 10 月 1 日現在)	59	1,212 人	20.5 人	49	490 人	10.0 人	36	57 人	1.6 人
B. 営業日数 (2025 年 10 月 1 か月分)	60	1,441 人	24.0 人	48	595 人	12.4 人	35	49 人	1.4 人
C. 延べ利用者数 (2025 年 10 月 1 か月分)	60	11,330 人	188.8 人	48	5,051 人	105.2 人	34	256 人	7.5 人

	④ 4 単位			⑤ 5 単位		
	回答数	合計	平均	回答数	合計	平均
A. 利用者定員数 (2025 年 10 月 1 日現在)	35	14 人	0.40 人	35	0 人	0.00 人
B. 営業日数 (2025 年 10 月 1 か月分)	34	0 人	0.01 人	34	0 人	0.00 人
C. 延べ利用者数 (2025 年 10 月 1 か月分)	33	3 人	0.09 人	33	0 人	0.00 人

(4) 1 か月間の要介護度別のサービス利用者数（通所サービス）

問 46 貴事業所における 2025 年 10 月（1 か月間）の要介護度別のサービス利用者数を（複数単位の場合は合計）をご記入ください。（数字を記入）

※問 43 で「1. はい（総合事業を実施している）」と回答した事業所におたずねします。

※該当者がいない場合は 0（ゼロ）をご記入ください。

回答事業所：通所 総合事業通所 密着デイ

総合事業通所サービスの 1 か月間のサービス利用者を要介護度別にみると、平均は事業対象者で 32.8 人、要支援 1 で 25.9 人、要支援 2 で 27.6 人となっている。

図表 1 2-1 4 2025 年 10 月（1 か月間）の要介護度別のサービス利用者数（数値回答）

	① 事業対象者			② 要支援 1			③ 要支援 2		
	回答数	合計	平均	回答数	合計	平均	回答数	合計	平均
サービス利用者総数 (延べ利用者数)	59	1,934 人	32.8 人	65	1,686 人	25.9 人	65	1,793 人	27.6 人

III. 単純集計結果表

問1 貴事業所の所在地をお答えください。(1つを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	堺第1 (相原町)	17	4.8
2	堺第2 (小山町、小山ヶ丘、上小山田町)	18	5.1
3	忠生第1 (下小山田町、忠生、小山田桜台、矢部町、常盤町、根岸町、根岸、函師町)	34	9.7
4	忠生第2 (山崎町、山崎、木曽町、木曽西、木曽東)	34	9.7
5	鶴川第1 (小野路町、野津田町、金井、金井町、金井ヶ丘、大蔵町、薬師台)	37	10.5
6	鶴川第2 (能ヶ谷、三輪町、三輪緑山、広袴町、広袴、真光寺町、真光寺、鶴川)	27	7.7
7	町田第1 (原町田、中町、森野、旭町)	58	16.5
8	町田第2 (本町田、藤の台)	14	4.0
9	町田第3 (玉川学園、東玉川学園、南大谷)	19	5.4
10	南第1 (鶴間、小川、つくし野、南つくし野、南町田)	47	13.4
11	南第2 (金森、金森東、南成瀬、成瀬が丘)	22	6.3
12	南第3 (成瀬、西成瀬、高ヶ坂、成瀬台)	24	6.8
	無回答	0	0.0
	全体	351	100.0

問2 貴事業所の組織形態をお答えください。(1つを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	社会福祉法人	121	34.5
2	社団法人	3	0.9
3	財団法人	1	0.3
4	医療法人	42	12.0
5	株式会社	130	37.0
6	NPO	23	6.6
7	その他	31	8.8
	無回答	0	0.0
	全体	351	100.0

問3 貴事業所の開設時期について、ご記入ください。(数字を記入)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	1990年以前	14	4.0
2	1991～2000年	52	14.8
3	2001～2005年	34	9.7
4	2006～2010年	32	9.1
5	2011～2015年	81	23.1
6	2016～2020年	69	19.7
7	2021年以降	62	17.7
	無回答	7	2.0
	全体	351	100.0

問4 貴事業所の種類(メール本文の宛名に記載のサービス種別)をお答えください。(1つを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	居宅介護支援	81	23.1
2	訪問介護(国基準型サービス、市基準型サービスを含む)	44	12.5
3	訪問入浴介護	1	0.3
4	訪問看護	31	8.8
5	訪問リハビリテーション	3	0.9
6	通所介護(国基準型サービス、市基準型サービスを含む)	39	11.1
7	総合事業通所型サービス(市基準型単独)	4	1.1
8	通所リハビリテーション	6	1.7
9	短期入所生活介護	15	4.3
10	短期入所療養介護	1	0.3
11	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	0.6
12	夜間対応型訪問介護	0	0.0
13	地域密着型通所介護(国基準型サービス、市基準型サービスを含む)	40	11.4
14	認知症対応型通所介護	8	2.3
15	小規模多機能型居宅介護	2	0.6
16	看護小規模多機能型居宅介護	1	0.3
17	特定施設入居者生活介護	20	5.7
18	認知症対応型共同生活介護	20	5.7
19	介護老人福祉施設	18	5.1
20	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	0.3
21	介護老人保健施設	2	0.6
22	介護医療院	0	0.0
23	高齢者支援センター	12	3.4
	無回答	0	0.0
	全体	351	100.0

問5 貴事業所（問4で○をつけたサービス種別の事業所）の2025年10月の定員または登録定員、または実利用者数、および1日あたりの平均利用者数をご記入ください。

10月の実利用者数		回答数	平均
1. 居宅介護支援		81	125.6
23. 高齢者支援センター		12	340.0

10月の実利用者数		回答数	平均
2. 訪問介護		42	56.4
3. 訪問入浴介護		1	90.0
4. 訪問看護		30	81.9
5. 訪問リハビリテーション		3	40.0
12. 夜間対応型訪問介護		0	

平均利用者数/日		回答数	平均
2. 訪問介護		40	23.8
3. 訪問入浴介護		1	90.0
4. 訪問看護		30	21.7
5. 訪問リハビリテーション		3	9.4
12. 夜間対応型訪問介護		0	

登録定員		回答数	平均
15. 小規模多機能型居宅介護		2	21.0
16. 看護小規模多機能型居宅介護		1	11.0

平均利用者数/日		回答数	平均
15. 小規模多機能型居宅介護		2	10.1
16. 看護小規模多機能型居宅介護		1	8.8

定員		回答数	平均
6. 通所介護		39	51.0
8. 通所リハビリテーション		6	47.2
9. 短期入所生活介護		15	11.1
10. 短期入所療養介護		0	
11. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護		1	14.0
13. 地域密着型通所介護		40	14.4
14. 認知症対応型通所介護		8	19.3
17. 特定施設入居者生活介護		20	65.6
18. 認知症対応型共同生活介護		20	17.0
19. 介護老人福祉施設		18	95.7
20. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護		1	20.0
21. 介護老人保健施設		2	135.0
22. 介護医療院		0	

平均利用者数/日		回答数	平均
6. 通所介護		39	42.1
8. 通所リハビリテーション		6	18.2
9. 短期入所生活介護		15	9.8
10. 短期入所療養介護		1	2.2
11. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護		1	14.0
13. 地域密着型通所介護		39	11.7
14. 認知症対応型通所介護		8	10.1
17. 特定施設入居者生活介護		17	56.0
18. 認知症対応型共同生活介護		18	16.7
19. 介護老人福祉施設		17	90.0
20. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護		1	18.7
21. 介護老人保健施設		2	121.9
22. 介護医療院		0	

問6 貴事業所の利用者が、利用を終了する理由は何ですか。終了する理由を上位3位まで選んで番号をご記入ください。

問6 - 第1位

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	利用者の状態が改善し、生活支援（見守り、家事、外出支援等）が不要になったから	4	1.6
2	利用者の状態が改善し、身体介護（食事や入浴、排せつなど利用者の身体に触れて行う介助サービス）が不要になったから	1	0.4
3	医療的ケア・医療措置の必要性が下がったから	5	1.9
4	要介護から要支援になったから	2	0.8
5	要支援から要介護になったから	4	1.6
6	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの常に介護保険サービスが受けられる施設に入ったから	110	42.6
7	費用負担が重くなったから	0	0.0
8	おせくなりになったから	99	38.4
9	その他	32	12.4
	無回答	1	0.4
	非該当	93	
	全体	258	100.0

問6 - 第2位

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	利用者の状態が改善し、生活支援（見守り、家事、外出支援等）が不要になったから	9	3.5
2	利用者の状態が改善し、身体介護（食事や入浴、排せつなど利用者の身体に触れて行う介助サービス）が不要になったから	7	2.7
3	医療的ケア・医療措置の必要性が下がったから	8	3.1
4	要介護から要支援になったから	3	1.2
5	要支援から要介護になったから	5	1.9
6	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの常に介護保険サービスが受けられる施設に入ったから	61	23.6
7	費用負担が重くなったから	14	5.4
8	お亡くなりになったから	77	29.8
9	その他	71	27.5
	無回答	3	1.2
	非該当	93	
	全体	258	100.0

問6 - 第3位

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	利用者の状態が改善し、生活支援（見守り、家事、外出支援等）が不要になったから	23	8.9
2	利用者の状態が改善し、身体介護（食事や入浴、排せつなど利用者の身体に触れて行う介助サービス）が不要になったから	11	4.3
3	医療的ケア・医療措置の必要性が下がったから	15	5.8
4	要介護から要支援になったから	7	2.7
5	要支援から要介護になったから	5	1.9
6	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの常に介護保険サービスが受けられる施設に入ったから	27	10.5
7	費用負担が重くなったから	34	13.2
8	お亡くなりになったから	52	20.2
9	その他	67	26.0
	無回答	17	6.6
	非該当	93	
	全体	258	100.0

問7 サービスの利用を終了する者がでた場合、すぐに次のサービスの利用者が見つかりますか。（1つを選択）

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	次のサービス利用者がすぐに見つかる	91	35.3
2	次のサービス利用者が1か月以内に見つからない場合がある（入居・入所系の場合は、待機者の方に入所を断られる場合がある）	96	37.2
3	次のサービス利用者を見つけるのに1か月以上かかり苦労している（入居・入所系の場合は、待機者の方に頻繁に入所を断られる）	50	19.4
4	その他	18	7.0
	無回答	3	1.2
	非該当	93	
	全体	258	100.0

問7-1 断られたときの主な理由は何ですか。（当てはまるもの全てを選択）

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	まだ一人で介護保険サービスなしに在宅で生活できるから	42	28.8
2	家族の支援で介護保険サービスなしに在宅で生活できるから	29	19.9
3	居宅介護サービスがあれば在宅で生活できるから	24	16.4
4	第一希望の施設でないから	27	18.5
5	自宅または家族の家から遠いから	16	11.0
6	費用が高いから	23	15.8
7	入院したから	31	21.2
8	本人・家族の準備ができていないから	42	28.8
9	現在の状態から変更するのが面倒だから	15	10.3
10	その他	28	19.2
	無回答	8	5.5
	非該当	205	
	全体	146	100.0

問8 町田市におけるサービスの充足度をどのようにとらえていますか。（各サービス○は1つ）

①居宅介護支援

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	3	0.9
2	おおむね充足	103	29.3
3	やや不足	71	20.2
4	不足	86	24.5
5	わからない	55	15.7
	無回答	33	9.4
	非該当	0	
	全体	351	100.0

②訪問介護

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	0	0.0
2	おおむね充足	50	14.2
3	やや不足	81	23.1
4	不足	123	35.0
5	わからない	60	17.1
	無回答	37	10.5
	非該当	0	
	全体	351	100.0

③総合事業訪問型サービス

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	1	0.3
2	おおむね充足	41	11.7
3	やや不足	64	18.2
4	不足	71	20.2
5	わからない	130	37.0
	無回答	44	12.5
	非該当	0	
	全体	351	100.0

④訪問入浴介護

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	1	0.3
2	おおむね充足	81	23.1
3	やや不足	60	17.1
4	不足	37	10.5
5	わからない	125	35.6
	無回答	47	13.4
	非該当	0	
	全体	351	100.0

⑤訪問看護

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	63	17.9
2	おおむね充足	111	31.6
3	やや不足	45	12.8
4	不足	8	2.3
5	わからない	76	21.7
	無回答	48	13.7
	非該当	0	
	全体	351	100.0

⑥訪問リハビリテーション

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	13	3.7
2	おおむね充足	102	29.1
3	やや不足	64	18.2
4	不足	19	5.4
5	わからない	104	29.6
	無回答	49	14.0
	非該当	0	
	全体	351	100.0

⑦通所介護

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	48	13.7
2	おおむね充足	169	48.1
3	やや不足	31	8.8
4	不足	13	3.7
5	わからない	50	14.2
	無回答	40	11.4
	非該当	0	
	全体	351	100.0

⑧総合事業通所型サービス

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	11	3.1
2	おおむね充足	121	34.5
3	やや不足	48	13.7
4	不足	17	4.8
5	わからない	108	30.8
	無回答	46	13.1
	非該当	0	
	全体	351	100.0

⑨通所リハビリテーション

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	7	2.0
2	おおむね充足	114	32.5
3	やや不足	61	17.4
4	不足	20	5.7
5	わからない	100	28.5
	無回答	49	14.0
	非該当	0	
	全体	351	100.0

⑩短期入所生活介護

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	3	0.9
2	おおむね充足	115	32.8
3	やや不足	82	23.4
4	不足	20	5.7
5	わからない	90	25.6
	無回答	41	11.7
	非該当	0	
	全体	351	100.0

⑪短期入所療養介護

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	0	0.0
2	おおむね充足	61	17.4
3	やや不足	73	20.8
4	不足	39	11.1
5	わからない	130	37.0
	無回答	48	13.7
	非該当	0	
	全体	351	100.0

⑫定期巡回・随時対応型訪問介護看護

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	0	0.0
2	おおむね充足	30	8.5
3	やや不足	56	16.0
4	不足	86	24.5
5	わからない	132	37.6
	無回答	47	13.4
	非該当	0	
	全体	351	100.0

⑬夜間対応型訪問介護

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	0	0.0
2	おおむね充足	18	5.1
3	やや不足	55	15.7
4	不足	91	25.9
5	わからない	139	39.6
	無回答	48	13.7
	非該当	0	
	全体	351	100.0

⑭地域密着型通所介護

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	10	2.8
2	おおむね充足	136	38.7
3	やや不足	47	13.4
4	不足	20	5.7
5	わからない	94	26.8
	無回答	44	12.5
	非該当	0	
	全体	351	100.0

⑮認知症対応型通所介護

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	14	4.0
2	おおむね充足	102	29.1
3	やや不足	57	16.2
4	不足	28	8.0
5	わからない	106	30.2
	無回答	44	12.5
	非該当	0	
	全体	351	100.0

⑩小規模多機能型居宅介護

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	0	0.0
2	おおむね充足	55	15.7
3	やや不足	70	19.9
4	不足	48	13.7
5	わからない	134	38.2
	無回答	44	12.5
	非該当	0	
	全体	351	100.0

⑪看護小規模多機能型居宅介護

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	0	0.0
2	おおむね充足	39	11.1
3	やや不足	67	19.1
4	不足	59	16.8
5	わからない	139	39.6
	無回答	47	13.4
	非該当	0	
	全体	351	100.0

⑫特定施設入居者生活介護

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	15	4.3
2	おおむね充足	81	23.1
3	やや不足	49	14.0
4	不足	13	3.7
5	わからない	149	42.5
	無回答	44	12.5
	非該当	0	
	全体	351	100.0

⑬地域密着型特定施設入居者生活介護

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	5	1.4
2	おおむね充足	48	13.7
3	やや不足	44	12.5
4	不足	21	6.0
5	わからない	191	54.4
	無回答	42	12.0
	非該当	0	
	全体	351	100.0

⑭認知症対応型共同生活介護

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	14	4.0
2	おおむね充足	77	21.9
3	やや不足	57	16.2
4	不足	37	10.5
5	わからない	126	35.9
	無回答	40	11.4
	非該当	0	
	全体	351	100.0

⑮介護老人福祉施設

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	14	4.0
2	おおむね充足	111	31.6
3	やや不足	47	13.4
4	不足	33	9.4
5	わからない	102	29.1
	無回答	44	12.5
	非該当	0	
	全体	351	100.0

⑯地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	6	1.7
2	おおむね充足	60	17.1
3	やや不足	51	14.5
4	不足	26	7.4
5	わからない	166	47.3
	無回答	42	12.0
	非該当	0	
	全体	351	100.0

㉓介護老人保健施設

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	4	1.1
2	おおむね充足	101	28.8
3	やや不足	62	17.7
4	不足	32	9.1
5	わからない	106	30.2
	無回答	46	13.1
	非該当	0	
	全体	351	100.0

㉔介護医療院

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過剰	0	0.0
2	おおむね充足	45	12.8
3	やや不足	45	12.8
4	不足	53	15.1
5	わからない	161	45.9
	無回答	47	13.4
	非該当	0	
	全体	351	100.0

問9 貴事業所での、最新の決算状況はいかがでしたか。(1つを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	黒字	130	38.3
2	赤字	140	41.3
3	損益なし	53	15.6
4	その他	12	3.5
	無回答	4	1.2
	非該当	12	
	全体	339	100.0

問9-1 赤字の場合、主な原因を1つ選択してください。(1つを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	利用者が少ない	63	45.0
2	当初の見込みよりも利益がでない	48	34.3
3	物価高騰の影響	13	9.3
4	その他	14	10.0
	無回答	2	1.4
	非該当	211	
	全体	140	100.0

問10 貴事業所の運営課題について、どのように考えていますか。(当てはまるもの全てを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	利用者・入所(入居)者の確保	216	63.7
2	サービス内容の充実	124	36.6
3	職員の確保	262	77.3
4	職員の研修体制	110	32.4
5	リスクマネジメントの強化	99	29.2
6	利用者からの苦情・クレームの対応	51	15.0
7	他機関(他事業所等)との連携	101	29.8
8	その他	22	6.5
9	特になし	2	0.6
	無回答	0	0.0
	非該当	12	
	全体	339	100.0

問11 貴法人における今後3年間の事業展開について、どのように考えていますか。(1つを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	拡大予定	85	25.1
2	事業転換予定	5	1.5
3	現状維持	195	57.5
4	縮小予定	12	3.5
5	検討中	41	12.1
	無回答	1	0.3
	非該当	12	
	全体	339	100.0

問12 貴事業所（問4で○をつけたサービス種別の事業所）に所属する職員について、おたずねします。

問12① 2025年10月1日時点での職員の総数をご記入ください。（数字を記入）

	正規職員	
	回答数	平均
①介護職員	209	7.3
②看護職員	209	1.3
③機能訓練指導員	209	0.5
④介護支援専門員	209	1.0
⑤生活相談員・支援相談員	209	0.9
⑥上記以外の職員	209	1.4
合計		2.1

	非正規職員	
	回答数	平均
①介護職員	209	6.1
②看護職員	209	1.2
③機能訓練指導員	209	0.4
④介護支援専門員	209	0.3
⑤生活相談員・支援相談員	209	0.2
⑥上記以外の職員	209	2.4
合計		1.8

問12② 2025年10月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所におたずねします。

過去1年間（2024年10月1日～2025年9月30日）の職員の採用者数と離職者数を年齢別にご記入ください。（数字を記入）

職種	年齢（採用、離職当時）	採用者数	
		正規職員	
		回答数	平均
① 介護職員	20歳未満	209	0.077
	20～29歳	209	0.426
	30～39歳	209	0.268
	40～49歳	209	0.354
	50～59歳	209	0.304
	60～69歳	209	0.086
	70～79歳	209	0.014
	年齢不明	209	0.014
	合計		0.193
② 看護職員	20歳未満	209	0.000
	20～29歳	209	0.043
	30～39歳	209	0.033
	40～49歳	209	0.077
	50～59歳	209	0.077
	60～69歳	209	0.043
	70～79歳	209	0.010
	年齢不明	209	0.000
	合計		0.035
③ ④ ⑤ ⑥ 合計 の 職 種 を	20歳未満	209	0.000
	20～29歳	209	0.105
	30～39歳	209	0.062
	40～49歳	209	0.100
	50～59歳	209	0.091
	60～69歳	209	0.053
	70～79歳	209	0.000
	年齢不明	209	0.000
	合計		0.051

職種	年齢（採用、離職当時）	採用者数	
		非正規職員	
		回答数	平均
① 介護職員	20歳未満	209	0.038
	20～29歳	209	0.110
	30～39歳	209	0.167
	40～49歳	209	0.234
	50～59歳	209	0.321
	60～69歳	209	0.258
	70～79歳	209	0.124
	年齢不明	209	0.024
	合計		0.160
② 看護職員	20歳未満	209	0.000
	20～29歳	209	0.014
	30～39歳	209	0.038
	40～49歳	209	0.077
	50～59歳	209	0.053
	60～69歳	209	0.043
	70～79歳	209	0.033
	年齢不明	209	0.000
	合計		0.032
③ ④ ⑤ ⑥の職種を 合計	20歳未満	209	0.000
	20～29歳	209	0.024
	30～39歳	209	0.024
	40～49歳	209	0.062
	50～59歳	209	0.077
	60～69歳	209	0.115
	70～79歳	209	0.033
	年齢不明	209	0.000
	合計		0.042

職種	年齢（採用、離職当時）	離職者数	
		正規職員	
		回答数	平均
① 介護職員	20歳未満	209	0.029
	20～29歳	209	0.153
	30～39歳	209	0.215
	40～49歳	209	0.335
	50～59歳	209	0.278
	60～69歳	209	0.081
	70～79歳	209	0.014
	年齢不明	209	0.000
	合計		0.138
② 看護職員	20歳未満	209	0.005
	20～29歳	209	0.000
	30～39歳	209	0.033
	40～49歳	209	0.033
	50～59歳	209	0.086
	60～69歳	209	0.019
	70～79歳	209	0.014
	年齢不明	209	0.000
	合計		0.024
③ ④ ⑤ ⑥の職種を 合計	20歳未満	209	0.005
	20～29歳	209	0.010
	30～39歳	209	0.043
	40～49歳	209	0.091
	50～59歳	209	0.081
	60～69歳	209	0.053
	70～79歳	209	0.014
	年齢不明	209	0.000
	合計		0.037

職種	年齢（採用、離職当時）	離職者数	
		非正規職員	
		回答数	平均
① 介護職員	20歳未満	209	0.043
	20～29歳	209	0.086
	30～39歳	209	0.129
	40～49歳	209	0.163
	50～59歳	209	0.325
	60～69歳	209	0.220
	70～79歳	209	0.206
	年齢不明	209	0.048
	合計		0.153
② 看護職員	20歳未満	209	0.000
	20～29歳	209	0.000
	30～39歳	209	0.024
	40～49歳	209	0.029
	50～59歳	209	0.019
	60～69歳	209	0.033
	70～79歳	209	0.038
	年齢不明	209	0.010
	合計		0.019
③ ④ ⑤ ⑥ 合計の職種を	20歳未満	209	0.005
	20～29歳	209	0.014
	30～39歳	209	0.005
	40～49歳	209	0.024
	50～59歳	209	0.038
	60～69歳	209	0.096
	70～79歳	209	0.048
	年齢不明	209	0.000
	合計		0.029

問13 貴事業所は、必要とする職員数を常時確保できていますか。（1つを選択）

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	常時確保できている	40	11.4
2	ほぼ確保できている	124	35.3
3	確保できていない時がある	89	25.4
4	確保することが難しい	94	26.8
5	その他	2	0.6
	無回答	2	0.6
	非該当	0	
	全体	351	100.0

問14 貴事業所が行っている職員の確保の取り組みについて、実質的に効果があったと感じているものを3つまでお答えください。（当てはまるもの3つまで選択）

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	ハローワーク（公共職業安定所）に求人票を出している	184	52.4
2	福祉系の学校（大学、専門学校、高校）に求人票を出している	47	13.4
3	新聞や職業紹介雑誌に求人広告を掲載している	30	8.5
4	就職相談会等の機会にブースを設けている	48	13.7
5	事業所で就職説明会を開催している	13	3.7
6	インターネットや携帯ツールを介して募集している	165	47.0
7	再就職の勧誘を推進している	20	5.7
8	有料職業紹介、人材派遣を利用している	136	38.7
9	町田市介護人材バンクを利用している	32	9.1
10	職員に対し、知人・友人の紹介制度を設けている	151	43.0
11	その他	27	7.7
12	確保は行っていない	23	6.6
	無回答	6	1.7
	非該当	0	
	全体	351	100.0

問15 職員の新規雇用に拡大するために、今後どのような方策を計画・検討していますか。（当てはまるもの全てを選択）

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	住宅確保の支援、あるいは家賃の補助を行う	55	15.7
2	元気高齢者（アクティブシニア）の雇用を増やす	53	15.1
3	外国人職員の雇用を増やす	68	19.4
4	資格取得等に必要受講料等の奨学金制度を設ける	88	25.1
5	施設内保育、施設内託児室などを設ける	14	4.0
6	介護実習生の受け入れを拡大する	51	14.5
7	その他	48	13.7
8	計画・検討は行っていない	130	37.0
	無回答	11	3.1
	非該当	0	
	全体	351	100.0

問16 過去1年間に離職した職員について、考えられる離職理由は何ですか。(当てはまるもの全てを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	過去1年間に離職者はいなかった	80	22.8
2	法人や事業所の理念や運営のあり方との相違	54	15.4
3	職場の人間関係	79	22.5
4	賃金が低い	54	15.4
5	条件の良い仕事、職場への転職	91	25.9
6	結婚・出産・妊娠・育児	23	6.6
7	親の介護	49	14.0
8	仕事が好きいため	54	15.4
9	本人の病気	78	22.2
10	その他	62	17.7
11	不明	19	5.4
	無回答	20	5.7
	非該当	0	
	全体	351	100.0

問17 貴事業所が実施している職員の就労継続のための取り組みについて、実質的に効果があったと感じているものを3つまでお答えください。(当てはまるもの3つまで選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	賃金・労働時間等の改善	158	45.0
2	能力や仕事ぶりの評価実施と配置や処遇への反映	102	29.1
3	非正規職員から正規職員への転換	69	19.7
4	研修などの能力開発の充実	71	20.2
5	勤務日や労働時間(時間帯・総労働時間)の調整	176	50.1
6	業務の改善や効率化等による働きやすい職場づくり	143	40.7
7	職場環境の改善	118	33.6
8	福利厚生の充実	49	14.0
9	職員の健康管理の支援	48	13.7
10	その他	11	3.1
11	就労継続のための取り組みは行っていない	21	6.0
	無回答	9	2.6
	非該当	0	
	全体	351	100.0

問18 貴事業所では令和7年度の処遇改善にかかる加算等の取得(届出)をしていますか(1つを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	している	199	88.8
2	していない	13	5.8
	無回答	12	5.4
	非該当	127	
	全体	224	100.0

問18-1 加算等の取得(届出)をしない理由は何ですか(当てはまるもの全てを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	対象施設・事業所の制約のため困難	2	15.4
2	事務作業が煩雑	7	53.8
3	届出に必要な事務を行える職員がいない	4	30.8
4	令和8年度以降の取り扱いが不明	1	7.7
5	追加費用負担の発生	0	0.0
6	利用者負担の発生	4	30.8
7	非常勤職員等の処遇上の問題	0	0.0
8	賃金改善の必要性がない	0	0.0
9	算定要件を達成できない	2	15.4
10	その他	2	15.4
	無回答	1	7.7
	非該当	338	
	全体	13	100.0

問19① 貴事業所では現在、外国人介護職員を雇用していますか。在留資格別にお答えください。(数字を記入)

在留資格	回答数	平均
①在留資格「介護」	231	0.34
②EPA(経済連携協定)	227	0.00
③在留資格「特定技能1号」	236	0.86
④技能実習生	229	0.25
⑤留学生	228	0.06
⑥その他の在留資格	229	0.12
合計		0.27

問19② 外国人介護職員の今後の受け入れについてどのようにお考えですか。(1つを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	新たに受け入れはしない	121	46.9
2	必要に応じて受け入れていきたい	110	42.6
3	積極的に受け入れていきたい	21	8.1
	無回答	6	2.3
	非該当	93	
	全体	258	100.0

問20 貴事業所で外国人介護職員を受け入れることについてどのような課題がありますか。まだ受け入れていない事業所の場合は、受け入れるとした場合にどのような課題が想定されますか。（当てはまるもの全てを選択）

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	外国人介護職員の人材確保（自事業所とのマッチング）が困難	53	20.5
2	受け入れのためのコストが高い	57	22.1
3	受け入れ後の生活の管理や支援が難しい	90	34.9
4	受け入れに必要な事務を行える職員がいない	46	17.8
5	利用者や他の従業員との意思疎通（日本語能力及びコミュニケーション）が難しい	132	51.2
6	利用者が外国人介護職員によるサービス提供に抵抗がある	50	19.4
7	外国人介護職員の仕事上のサポート役負担が大きい	106	41.1
8	その他	18	7.0
9	特になし	45	17.4
	無回答	7	2.7
	非該当	93	
	全体	258	100.0

問21 貴事業所において導入しているICT機器・介護ロボット等を選んで記入してください。（当てはまるもの全てを選択）

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	移乗・移動支援：自動運転の車いすや歩行補助ロボットなど	7	2.0
2	排泄支援（予測・検知を含む）：排泄状況の把握・予測・検知システムなど	1	0.3
3	見守りセンサー・システム：センサーによる見守りなど	53	15.1
4	コミュニケーションロボット：利用者とのコミュニケーション支援など	10	2.8
5	入浴支援：入浴補助機器、温度管理システムなど	20	5.7
6	介護記録・情報共有支援：介護記録アプリ、クラウド型情報共有システムなど	188	53.6
7	業務支援：人手不足解消や業務効率化を図る管理システムなど	32	9.1
8	機能訓練支援：身体機能維持・向上を目指す機器	6	1.7
9	食事・栄養管理支援：食事管理や栄養改善を支援する機器	8	2.3
10	認知症生活支援・認知症ケア支援：認知機能低下の高齢者を支援する機器	0	0.0
11	その他のICT（インカム、ナースコールなど）	57	16.2
12	特になし	119	33.9
	無回答	13	3.7
	非該当	0	
	全体	351	100.0

問22 介護ロボット・ICT機器等の導入に際してはどのような課題がありますか。導入しているものが一つもない場合、導入していくにはどのような課題が想定されますか。（当てはまるもの全てを選択）

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	法人・設置者や経営トップ層の方針	78	22.2
2	施設長・管理者等、現場の責任者が導入の必要性を感じていない	18	5.1
3	組織の中で導入の意義・効果が共有されていない	43	12.3
4	職員にデジタル機器等に対する苦手意識がある	125	35.6
5	導入を推進する職員、キーパーソンがいない	69	19.7
6	導入に向けて、どのような手順で進めればよいかわからない	35	10.0
7	どのようなICT機器・介護ロボット等があるかわからない	27	7.7
8	事業所にあったICT機器・介護ロボット等を選定できない	35	10.0
9	導入するための環境（通信設備や設置スペースなど）が整わない	66	18.8
10	導入後の維持管理、運用が難しい	85	24.2
11	予算の確保が難しい（維持費を含めて）	161	45.9
12	その他	3	0.9
13	特になし	67	19.1
	無回答	18	5.1
	非該当	0	
	全体	351	100.0

問23 町田市介護人材開発センターを知っていますか。（1つを選択）

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	知っていて、研修に参加したことがある	191	54.4
2	知っているが、研修に参加していない（したことがない）	117	33.3
3	知らない	36	10.3
	無回答	7	2.0
	非該当	0	
	全体	351	100.0

問24 地域包括ケアシステムの推進に向けて、事業所が、今後、強化すべきと思う取り組みは何ですか。
(当てはまるもの全てを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	介護予防、フレイル予防への取り組み	116	33.0
2	多職種事業所間のネットワークの構築と強化	161	45.9
3	地域ケア会議で挙げられた課題の共有	83	23.6
4	高齢者支援センターのさらなる機能強化	94	26.8
5	地域包括ケアの具体的な事例の共有	63	17.9
6	生活支援コーディネーターの育成	38	10.8
7	町内会・自治会、ボランティア等の地域資源との連携の強化	140	39.9
8	要介護度改善（自立支援介護）を目的とした連携	50	14.2
9	認知症の人やその家族の視点を重視した地域づくり	120	34.2
10	家族介護者への支援	167	47.6
11	在宅医療を支える医療・介護連携の推進	97	27.6
12	情報共有のためのICT等の活用	97	27.6
13	介護の人材確保・育成・定着への取り組み	155	44.2
14	在宅での看取り体制の強化	58	16.5
15	地域の特性に応じた介護保険サービス提供体制の構築	79	22.5
16	市民への啓発	72	20.5
17	新たな担い手（元気高齢者など）の活躍支援	92	26.2
18	その他	11	3.1
	無回答	8	2.3
	非該当	0	
	全体	351	100.0

問25 「認知症とともに生きるまち」の目指すべき姿として町田市が独自に設定している「16のまちだアイ・ステートメント」
(認知症の人にとって町田市がどのようなまちであってほしいかを「アイ=私」の視点でまとめた文章)を知っていますか。
(1つを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	内容を理解しており、日々の業務の中で活用している	18	5.1
2	内容を理解している	99	28.2
3	聞いたことはあるが、内容は分からない	126	35.9
4	知らない	102	29.1
	無回答	6	1.7
	非該当	0	
	全体	351	100.0

問26 医療ニーズがある方への対応について、どのような課題がありますか。(当てはまるもの全てを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	かかりつけ医、病院等との緊急時の連絡体制の整備	227	64.7
2	訪問看護との連携	131	37.3
3	基本的な医学知識の習得（職員）	168	47.9
4	在宅療養に対する市民への理解啓発	76	21.7
5	病状の急変時の対応マニュアルの作成	99	28.2
6	痰の吸引等の医療的ケアに関する研修の充実	99	28.2
7	その他	25	7.1
	無回答	9	2.6
	非該当	0	
	全体	351	100.0

問27 看取り対応をしていますか。(1つを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	している	132	51.2
2	していない	122	47.3
	無回答	4	1.6
	非該当	93	
	全体	258	100.0

問28 医療機関と連携して取り組んでいることはありますか。(当てはまるもの全てを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	利用者の健康管理や処置について助言を受けている	218	62.1
2	提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている	57	16.2
3	急変時の入院を依頼できる病院がある	54	15.4
4	緊急時の対応体制を確保してもらっている	114	32.5
5	職員研修を支援してもらっている	40	11.4
6	その他	9	2.6
7	特に連携していることはない	77	21.9
	無回答	12	3.4
	非該当	0	
	全体	351	100.0

問31 2024年4月以降に、下記サービスの利用を紹介したことがありますか。

「1」または「2」を選択した場合、その理由は何ですか。

①通所介護（地域密着型を含む） - 紹介状況・利用状況（1つを選択）

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	紹介したことがない	0	0.0
2	紹介したが利用に至らなかった	3	3.2
3	紹介して利用しているもしくは利用していた	90	96.8
	無回答	0	0.0
	非該当	258	
	全体	93	100.0

①通所介護（地域密着型を含む） - 未紹介または未利用の理由（当てはまるもの全てを選択）

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	サービス内容の詳細がわからない	0	0.0
2	近くに事業所がない	0	0.0
3	料金が高い	0	0.0
4	他サービスで対応できる	2	66.7
5	その他	1	33.3
	無回答	0	0.0
	非該当	348	
	全体	3	100.0

問32 ②認知症対応型通所介護 - 紹介状況・利用状況（1つを選択）

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	紹介したことがない	9	9.7
2	紹介したが利用に至らなかった	7	7.5
3	紹介して利用しているもしくは利用していた	77	82.8
	無回答	0	0.0
	非該当	258	
	全体	93	100.0

②認知症対応型通所介護 - 未紹介または未利用の理由（当てはまるもの全てを選択）

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	サービス内容の詳細がわからない	0	0.0
2	近くに事業所がない	3	18.8
3	料金が高い	2	12.5
4	他サービスで対応できる	9	56.3
5	その他	3	18.8
	無回答	1	6.3
	非該当	335	
	全体	16	100.0

問33 ③認知症対応型共同生活介護 - 紹介状況・利用状況（1つを選択）

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	紹介したことがない	26	28.0
2	紹介したが利用に至らなかった	21	22.6
3	紹介して利用しているもしくは利用していた	46	49.5
	無回答	0	0.0
	非該当	258	
	全体	93	100.0

③認知症対応型共同生活介護 - 未紹介または未利用の理由（当てはまるもの全てを選択）

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	サービス内容の詳細がわからない	1	2.1
2	近くに事業所がない	3	6.4
3	料金が高い	13	27.7
4	他サービスで対応できる	19	40.4
5	その他	15	31.9
	無回答	2	4.3
	非該当	304	
	全体	47	100.0

問34 ④（看護）小規模多機能型居宅介護 - 紹介状況・利用状況（1つを選択）

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	紹介したことがない	34	36.6
2	紹介したが利用に至らなかった	23	24.7
3	紹介して利用しているもしくは利用していた	35	37.6
	無回答	1	1.1
	非該当	258	
	全体	93	100.0

④(看護)小規模多機能型居宅介護 - 未紹介または未利用の理由(当てはまるもの全てを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	サービス内容の詳細がわからない	3	5.3
2	ケアマネジャーが変わることを利用者が好まない	13	22.8
3	料金が高い	7	12.3
4	他サービスで対応できる	29	50.9
5	その他	19	33.3
	無回答	0	0.0
	非該当	294	
	全体	57	100.0

問31⑤定期巡回・随時対応型訪問介護看護 - 紹介状況・利用状況(1つを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	紹介したことがない	41	44.1
2	紹介したが利用に至らなかった	19	20.4
3	紹介して利用しているもしくは利用していた	32	34.4
	無回答	1	1.1
	非該当	258	
	全体	93	100.0

⑤定期巡回・随時対応型訪問介護看護 - 未紹介または未利用の理由(当てはまるもの全てを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	サービス内容の詳細がわからない	1	1.7
2	ホームヘルパーが変わることを利用者が好まない	7	11.7
3	料金が高い	7	11.7
4	他サービスで対応できる	24	40.0
5	その他	31	51.7
	無回答	0	0.0
	非該当	291	
	全体	60	100.0

問31⑥夜間対応型訪問介護 - 紹介状況・利用状況(1つを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	紹介したことがない	73	78.5
2	紹介したが利用に至らなかった	7	7.5
3	紹介して利用しているもしくは利用していた	12	12.9
	無回答	1	1.1
	非該当	258	
	全体	93	100.0

⑥夜間対応型訪問介護 - 未紹介または未利用の理由(当てはまるもの全てを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	サービス内容の詳細がわからない	3	3.8
2	夜間の訪問介護の利用希望がない	26	32.5
3	料金が高い	3	3.8
4	他サービスで対応できる	17	21.3
5	その他	36	45.0
	無回答	1	1.3
	非該当	271	
	全体	80	100.0

問32① 利用者本人から利用希望の多いサービスはありますか。(当てはまるもの全てを選択)

No.	カテゴリ名	回答数	割合 (%)
1	訪問介護	69	74.2
2	総合事業訪問型サービス	19	20.4
3	訪問入浴介護	6	6.5
4	訪問看護	43	46.2
5	訪問リハビリテーション	16	17.2
6	居宅療養管理指導	20	21.5
7	通所介護	79	84.9
8	総合事業通所型サービス	23	24.7
9	通所リハビリテーション	21	22.6
10	短期入所生活介護	31	33.3
11	短期入所療養介護	2	2.2
12	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	2.2
13	夜間対応型訪問介護	2	2.2
14	地域密着型通所介護	18	19.4
15	認知症対応型通所介護	10	10.8
16	小規模多機能型居宅介護	2	2.2
17	看護小規模多機能型居宅介護	4	4.3
18	特定施設入居者生活介護	5	5.4
19	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0.0
20	認知症対応型共同生活介護	4	4.3
21	介護老人福祉施設	17	18.3
22	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	1.1
23	介護老人保健施設	10	10.8
24	介護医療院	2	2.2
25	福祉用具貸与	83	89.2
26	福祉用具購入	47	50.5
27	住宅改修	38	40.9
28	住宅型有料老人ホーム	3	3.2
29	サービス付き高齢者向け住宅	8	8.6
30	特になし	0	0.0
	無回答	0	0.0
	非該当	258	
	全体	93	100.0

問32② 利用者の家族から利用希望の多いサービスはありますか。(当てはまるもの全てを選択)

No.	カテゴリ名	回答数	割合 (%)
1	訪問介護	69	74.2
2	総合事業訪問型サービス	17	18.3
3	訪問入浴介護	8	8.6
4	訪問看護	42	45.2
5	訪問リハビリテーション	17	18.3
6	居宅療養管理指導	25	26.9
7	通所介護	85	91.4
8	総合事業通所型サービス	22	23.7
9	通所リハビリテーション	19	20.4
10	短期入所生活介護	50	53.8
11	短期入所療養介護	8	8.6
12	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	3	3.2
13	夜間対応型訪問介護	2	2.2
14	地域密着型通所介護	17	18.3
15	認知症対応型通所介護	13	14.0
16	小規模多機能型居宅介護	2	2.2
17	看護小規模多機能型居宅介護	2	2.2
18	特定施設入居者生活介護	5	5.4
19	地域密着型特定施設入居者生活介護	2	2.2
20	認知症対応型共同生活介護	4	4.3
21	介護老人福祉施設	31	33.3
22	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	2	2.2
23	介護老人保健施設	16	17.2
24	介護医療院	2	2.2
25	福祉用具貸与	73	78.5
26	福祉用具購入	43	46.2
27	住宅改修	42	45.2
28	住宅型有料老人ホーム	13	14.0
29	サービス付き高齢者向け住宅	13	14.0
30	特になし	0	0.0
	無回答	1	1.1
	非該当	258	
	全体	93	100.0

問33① 「定員に空きがない」ことを理由に利用希望を断られたサービスはありますか。(当てはまるものを全てを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	訪問介護	67	72.0
2	総合事業訪問型サービス	29	31.2
3	訪問入浴介護	3	3.2
4	訪問看護	10	10.8
5	訪問リハビリテーション	10	10.8
6	居宅療養管理指導	4	4.3
7	通所介護	46	49.5
8	総合事業通所型サービス	22	23.7
9	通所リハビリテーション	11	11.8
10	短期入所生活介護	48	51.6
11	短期入所療養介護	7	7.5
12	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	10	10.8
13	夜間対応型訪問介護	4	4.3
14	地域密着型通所介護	17	18.3
15	認知症対応型通所介護	5	5.4
16	小規模多機能型居宅介護	14	15.1
17	看護小規模多機能型居宅介護	13	14.0
18	特定施設入居者生活介護	5	5.4
19	認知症対応型共同生活介護	13	14.0
20	介護老人福祉施設	30	32.3
21	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	2	2.2
22	介護老人保健施設	11	11.8
23	介護医療院	5	5.4
24	福祉用具貸与	0	0.0
25	福祉用具購入	0	0.0
26	住宅改修	0	0.0
27	住宅型有料老人ホーム	5	5.4
28	サービス付き高齢者向け住宅	4	4.3
29	特になし	4	4.3
	無回答	2	2.2
	非該当	258	
	全体	93	100.0

問33② 「送迎や訪問等のサービス提供実施地域外」であることを理由に利用希望を断られたサービスはありますか。(当てはまるものを全てを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	訪問介護	47	50.5
2	総合事業訪問型サービス	19	20.4
3	訪問入浴介護	2	2.2
4	訪問看護	8	8.6
5	訪問リハビリテーション	4	4.3
6	居宅療養管理指導	2	2.2
7	通所介護	52	55.9
8	総合事業通所型サービス	19	20.4
9	通所リハビリテーション	10	10.8
10	短期入所生活介護	12	12.9
11	短期入所療養介護	2	2.2
12	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	8	8.6
13	夜間対応型訪問介護	4	4.3
14	地域密着型通所介護	11	11.8
15	認知症対応型通所介護	5	5.4
16	小規模多機能型居宅介護	8	8.6
17	看護小規模多機能型居宅介護	10	10.8
18	福祉用具貸与	0	0.0
19	福祉用具購入	0	0.0
20	住宅改修	0	0.0
21	特になし	20	21.5
	無回答	1	1.1
	非該当	258	
	全体	93	100.0

問34 利用者または利用者家族に希望されるサービス内容はどれですか。(○は1つ)
それらのサービスは利用者または利用者家族の希望どおりに利用できていますか。(○は1つ)
希望どおり利用できていない場合には可能な限り理由を記載してください

①運動機能向上-希望状況

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	希望が多い	58	62.4
2	まあまあ希望あり	34	36.6
3	あまり希望がない	1	1.1
4	全くない	0	0.0
	無回答	0	0.0
	非該当	258	
	全体	93	100.0

①運動機能向上-希望どおり利用できているか

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	いる	83	89.2
2	いない	5	5.4
	無回答	5	5.4
	非該当	258	
	全体	93	100.0

②栄養改善-希望状況

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	希望が多い	1	1.1
2	まあまあ希望あり	20	21.5
3	あまり希望がない	63	67.7
4	全くない	9	9.7
	無回答	0	0.0
	非該当	258	
	全体	93	100.0

②栄養改善-希望どおり利用できているか

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	いる	65	69.9
2	いない	21	22.6
	無回答	7	7.5
	非該当	258	
	全体	93	100.0

③口腔機能向上-希望状況

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	希望が多い	1	1.1
2	まあまあ希望あり	37	39.8
3	あまり希望がない	51	54.8
4	全くない	3	3.2
	無回答	1	1.1
	非該当	258	
	全体	93	100.0

③口腔機能向上-希望どおり利用できているか

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	いる	73	78.5
2	いない	7	7.5
	無回答	13	14.0
	非該当	258	
	全体	93	100.0

④認知症予防-希望状況

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	希望が多い	46	49.5
2	まあまあ希望あり	40	43.0
3	あまり希望がない	4	4.3
4	全くない	1	1.1
	無回答	2	2.2
	非該当	258	
	全体	93	100.0

④認知症予防-希望どおり利用できているか

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	いる	83	89.2
2	いない	6	6.5
	無回答	4	4.3
	非該当	258	
	全体	93	100.0

⑤外出支援-希望状況

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	希望が多い	30	32.3
2	まあまあ希望あり	46	49.5
3	あまり希望がない	13	14.0
4	全くない	2	2.2
	無回答	2	2.2
	非該当	258	
	全体	93	100.0

⑤外出支援-希望どおり利用できているか

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	いる	53	57.0
2	いない	34	36.6
	無回答	6	6.5
	非該当	258	
	全体	93	100.0

⑥入浴介助-希望状況

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	希望が多い	40	43.0
2	まあまあ希望あり	40	43.0
3	あまり希望がない	13	14.0
4	全くない	0	0.0
	無回答	0	0.0
	非該当	258	
	全体	93	100.0

⑥入浴介助-希望どおり利用できているか

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	いる	76	81.7
2	いない	13	14.0
	無回答	4	4.3
	非該当	258	
	全体	93	100.0

問35 ケアプランの作成において、介護保険サービス以外の地域の資源を実際に盛り込み、活用した経験はありますか。(1つを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	ある	89	95.7
2	ない	4	4.3
	無回答	0	0.0
	非該当	258	
	全体	93	100.0

問35-1 実際にどのような地域資源を活用しましたか。(当てはまるもの全て選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	介護保険サービス以外の市のサービス	63	70.8
2	民生委員	16	18.0
3	各種ボランティア	29	32.6
4	町内会・自治会	22	24.7
5	見守り支援ネットワーク	29	32.6
6	介護保険以外の民間のサービス(配食など)	78	87.6
7	その他	11	12.4
	無回答	0	0.0
	非該当	262	
	全体	89	100.0

問36 受け持っている利用者のうち、入居・入所系サービス※1を希望している利用者は何人いますか。また、入居または入所を希望している利用者のうち、ケアマネジャーの視点からも入居または入所が望ましいと思われる利用者※2は何人いますか。(数字を記入)

	回答数	平均
(ア) 受け持っている利用者	73	77.7
(イ) (ア)のうち、待機者を含む入居・入所系サービスの希望者	72	6.2
(ウ) (イ)のうち、ケアマネジャーの視点からも入居・入所系サービスへ移行したほうが良いと思われる利用者※2	70	4.0

問37 地域に密着した居宅サービスなどが充実しても、なお入居・入所系サービスを希望する利用者の入所理由は何ですか。(当てはまるもの全て選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	居宅サービスの利用を希望しないから	9	9.7
2	医療的処置(経管栄養やたん吸引など)が必要な状態であるから	28	30.1
3	一人暮らしや老人世帯で介護者がヘルパーしかいないから	64	68.8
4	家族が介護で疲弊しているから	75	80.6
5	自宅が売却や賃貸解約等によって無くなり、退院後の行き場がないから	8	8.6
6	その他	12	12.9
	無回答	2	2.2
	非該当	258	
	全体	93	100.0

問38 住宅改修・福祉用具アドバイザー制度を知っていますか(1つを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	知っている	89	95.7
2	知らない	3	3.2
	無回答	1	1.1
	非該当	258	
	全体	93	100.0

問38-1 どのような時にアドバイザーへ助言を求めますか（当てはまるもの全て選択）

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	利用者が希望したとき	42	47.2
2	適切な住宅改修、福祉用具がわからないとき	45	50.6
3	改修費や用具費用を抑えたいとき	6	6.7
4	間取りや設備など、住宅の構造上で問題があるとき	49	55.1
5	身体的な動きを確認したいとき	32	36.0
6	その他	12	13.5
	無回答	1	1.1
	非該当	262	
	全体	89	100.0

問39 住宅改修・福祉用具アドバイザー制度について感じることを選択してください。（当てはまるもの全て選択）

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	助言がケアマネジメントに役立っている	39	41.9
2	もう少し助言がほしい	2	2.2
3	利用したいがアドバイザーとの都合が合わず使いづらい	31	33.3
4	利用しようと思う事例がない	27	29.0
5	どのような時に利用すればよいかわからない	6	6.5
6	利用までの手続きが負担	20	21.5
7	その他	8	8.6
	無回答	1	1.1
	非該当	258	
	全体	93	100.0

問40 貴事業所は2024年4月以降に、貴事業所が提供する介護保険サービスについて、他の事業所（高齢者支援センターや病院など）から利用者の紹介を受けたことがありますか。（1つを選択）

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	ある	250	80.4
2	ない	51	16.4
	無回答	10	3.2
	非該当	40	
	全体	311	100.0

問40-1 紹介元を選択し、実際に利用開始となったかをお選びください。（○は1つ）
また、利用開始にならなかった場合は、主な理由を1つ選択してください。（○は1つ）

①高齢者支援センター-利用の開始について

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	利用開始になった	212	84.8
2	利用開始にならなかった	16	6.4
	無回答	22	8.8
	非該当	101	
	全体	250	100.0

①高齢者支援センター - 利用に開始にならなかった理由

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	利用者の希望と不一致	7	43.8
2	料金	0	0.0
3	その他	9	56.3
	無回答	0	0.0
	非該当	335	
	全体	16	100.0

②居宅介護支援-利用の開始について

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	利用開始になった	217	86.8
2	利用開始にならなかった	12	4.8
	無回答	21	8.4
	非該当	101	
	全体	250	100.0

②居宅介護支援- 利用に開始にならなかった理由

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	利用者の希望と不一致	3	25.0
2	料金	0	0.0
3	その他	8	66.7
	無回答	1	8.3
	非該当	339	
	全体	12	100.0

③病院-利用の開始について

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	利用開始になった	149	59.6
2	利用開始にならなかった	58	23.2
	無回答	43	17.2
	非該当	101	
	全体	250	100.0

③病院- 利用に開始にならなかった理由

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	利用者の希望と不一致	9	15.5
2	料金	0	0.0
3	その他	48	82.8
	無回答	1	1.7
	非該当	293	
	全体	58	100.0

④介護老人保健施設-利用の開始について

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	利用開始になった	59	23.6
2	利用開始にならなかった	110	44.0
	無回答	81	32.4
	非該当	101	
	全体	250	100.0

④介護老人保健施設- 利用に開始にならなかった理由

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	利用者の希望と不一致	11	10.0
2	料金	1	0.9
3	その他	94	85.5
	無回答	4	3.6
	非該当	241	
	全体	110	100.0

⑤介護医療院-利用の開始について

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	利用開始になった	15	6.0
2	利用開始にならなかった	130	52.0
	無回答	105	42.0
	非該当	101	
	全体	250	100.0

⑤介護医療院- 利用に開始にならなかった理由

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	利用者の希望と不一致	7	5.4
2	料金	1	0.8
3	その他	117	90.0
	無回答	5	3.8
	非該当	221	
	全体	130	100.0

⑥その他-利用の開始について

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	利用開始になった	62	24.8
2	利用開始にならなかった	65	26.0
	無回答	123	49.2
	非該当	101	
	全体	250	100.0

⑥その他-利用に開始にならなかった理由

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	利用者の希望と不一致	4	6.2
2	料金	0	0.0
3	その他	58	89.2
	無回答	3	4.6
	非該当	286	
	全体	65	100.0

問41 貴事業所において、2024年4月以降に、届け出を行っている定員あるいは登録定員（定員のない場合は推定利用人数）まで利用者を受け入れられないことはありましたか。（1つを選択）

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	ある	94	32.4
2	ない	182	62.8
	無回答	14	4.8
	非該当	61	
	全体	290	100.0

問41-1 ある場合、主な理由を1つ選択してください。(1つを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	利用者が集まらない	39	41.5
2	受け入れのための職員が不足した	43	45.7
3	設備の不足	1	1.1
4	その他	10	10.6
	無回答	1	1.1
	非該当	257	
	全体	94	100.0

問42 現在、貴事業所で提供しているサービスについて今後はどのように考えていますか。(1つを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	現状維持を考えている	113	72.0
2	事業新規の拡大を考えている	23	14.6
3	新規事業の立ち上げを考えている	4	2.5
4	事業規模の縮小または廃止を考えている	9	5.7
5	その他	5	3.2
	無回答	3	1.9
	非該当	194	
	全体	157	100.0

問42-1 縮小または廃止を考えている理由は何ですか。(当てはまるもの全て選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	利益が見込まれないため	6	66.7
2	事業展開をしても、十分な需要が見込まれないため	3	33.3
3	同業の事業所が競合するため	1	11.1
4	新たな事業所が参入してきたため	1	11.1
5	利用者負担を考慮して、利用者がサービスの利用を控えているため	1	11.1
6	事業実施に必要な従業員の確保ができないため	4	44.4
7	他に新たな事業を計画しているため	1	11.1
8	その他	3	33.3
9	わからない	0	0.0
	無回答	0	0.0
	非該当	342	
	全体	9	100.0

問43 貴事業所は、総合事業(国基準/市基準)を実施していますか。(1つを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	はい	101	79.5
2	いいえ	26	20.5
	無回答	0	0.0
	非該当	224	
	全体	127	100.0

問43-1 実施している総合事業のサービスの型(種類)は何ですか。(当てはまるもの全て選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	国基準型	86	85.1
2	市基準型(一体型)	35	34.7
3	市基準型(単独型)	12	11.9
	無回答	1	1.0
	非該当	250	
	全体	101	100.0

問43-2 総合事業に対して利用者からの要望が多いものは何ですか。(当てはまるもの全て選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	もっと長時間利用したい	18	17.8
2	もっと短時間利用がよい	14	13.9
3	機能訓練の時間が多くほしい	17	16.8
4	変化にとんだ趣味活動がしたい	15	14.9
5	その他	12	11.9
6	特になし	44	43.6
	無回答	2	2.0
	非該当	250	
	全体	101	100.0

問43-3 総合事業を実施しているなかで、どのような課題がありますか。(当てはまるもの全て選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	地域との連携が難しい	9	8.9
2	利用者の獲得が難しい	22	21.8
3	事業継続のための人材確保が難しい	32	31.7
4	事業の設備の老朽化が著しい	4	4.0
5	利益が見込めない	53	52.5
6	その他	11	10.9
	無回答	9	8.9
	非該当	250	
	全体	101	100.0

問43-4 今後、総合事業を実施する予定はありますか。(1つを選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	はい	1	3.8
2	いいえ	9	34.6
3	わからない	16	61.5
	無回答	0	0.0
	非該当	325	
	全体	26	100.0

問43-5 今後、実施予定としている総合事業を選択してください。(当てはまるもの全て選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	国基準型訪問サービス	0	0.0
2	市基準型訪問サービス(一体型)	0	0.0
3	国基準型通所サービス	0	0.0
4	市基準型通所サービス(一体型)	1	100.0
5	市基準型通所サービス(単独型)	0	0.0
	無回答	0	0.0
	非該当	350	
	全体	1	100.0

問43-6 実施予定がない理由を選択してください。(当てはまるもの全て選択)

No.	カテゴリー名	回答数	割合 (%)
1	人材不足で職員の配置基準が満たせない	7	77.8
2	事業所が狭く、面積要件を満たせない	6	66.7
3	収入が見込めない	6	66.7
4	書類作成の時間がない	5	55.6
5	その他	1	11.1
	無回答	0	0.0
	非該当	342	
	全体	9	100.0

《問44は、訪問で、問43で「1」(総合事業を実施している)と回答した事業所におたずねします。》

問44 2025年10月1日時点での介護度別の利用者数をご記入ください。(数字を記入)

(1) 国基準型訪問サービス

	週1回利用	
	回答数	平均
事業対象者	25	1.8
要支援1	29	4.0
要支援2	27	4.5
合計		3.4

	週2回利用	
	回答数	平均
事業対象者	25	0.5
要支援1	26	0.6
要支援2	27	2.0
合計		1.0

	週3回利用	
	回答数	平均
事業対象者	25	0.0
要支援1	26	0.0
要支援2	26	0.1
合計		0.0

(2) 市基準型訪問サービス

	週1回利用	
	回答数	平均
事業対象者	27	0.2
要支援1	31	2.4
要支援2	29	2.5
合計		1.7

	週2回利用	
	回答数	平均
事業対象者	26	0.0
要支援1	28	0.1
要支援2	29	0.7
合計		0.3

	週3回利用	
	回答数	平均
事業対象者	26	0.0
要支援1	25	0.0
要支援2	25	0.0
合計		0.0

《 問45と問46は、通所 総合事業通所 密着デイで、問43で「1」（総合事業を実施している）と回答した事業所におたずねします。》

問45 貴事業所の2025年10月（1か月間）の単位ごとの利用状況

（A. 利用者定員数、B. 営業日数、C. 延べ利用者数）をご記入ください。（数字を記入）

	① 1単位	
	回答数	平均
A. 利用者定員数（2025年10月1日現在）	59	20.5
B. 営業日数（2025年10月1か月分）	60	24.0
C. 延べ利用者数（2025年10月1か月分）	60	188.8

	② 2単位	
	回答数	平均
A. 利用者定員数（2025年10月1日現在）	49	10.0
B. 営業日数（2025年10月1か月分）	48	12.4
C. 延べ利用者数（2025年10月1か月分）	48	105.2

	③ 3単位	
	回答数	平均
A. 利用者定員数（2025年10月1日現在）	36	1.6
B. 営業日数（2025年10月1か月分）	35	1.4
C. 延べ利用者数（2025年10月1か月分）	34	7.5

	④ 4単位	
	回答数	平均
A. 利用者定員数（2025年10月1日現在）	35	0.4
B. 営業日数（2025年10月1か月分）	34	0.0
C. 延べ利用者数（2025年10月1か月分）	33	0.1

	⑤ 5単位	
	回答数	平均
A. 利用者定員数（2025年10月1日現在）	35	0.0
B. 営業日数（2025年10月1か月分）	34	0.0
C. 延べ利用者数（2025年10月1か月分）	33	0.0

問46 貴事業所における2025年10月（1か月間）の要介護度別のサービス利用者数を（複数単位の場合は合計）をご記入ください。（数字を記入）

	① 事業対象者	
	回答数	平均
サービス利用者総数（延べ利用者数）	59	32.8

	② 要支援1	
	回答数	平均
サービス利用者総数（延べ利用者数）	65	25.9

	③ 要支援2	
	回答数	平均
サービス利用者総数（延べ利用者数）	65	27.6

IV. 調査票

高齢者の福祉や介護に関するアンケート調査【事業所調査】

【問合せ先】町田市いきいき生活部いきいき総務課企画総務係

〒194-8520 東京都町田市森野 2-2-22

電話 042-724-2916

≪ 事業所状況についておたずねします ≫

問1 **共通**

貴事業所の所在地をお答えください。(○は1つ)

1. 堺第1 (相原町)
2. 堺第2 (小山町、小山ヶ丘、上小山田町)
3. 忠生第1 (下小山田町、忠生、小山田桜台、矢部町、常盤町、根岸町、根岸、函師町)
4. 忠生第2 (山崎町、山崎、木曾町、木曾西、木曾東)
5. 鶴川第1 (小野路町、野津田町、金井、金井町、金井ヶ丘、大蔵町、薬師台)
6. 鶴川第2 (能ヶ谷、三輪町、三輪緑山、広袴町、広袴、真光寺町、真光寺、鶴川)
7. 町田第1 (原町田、中町、森野、旭町)
8. 町田第2 (本町田、藤の台)
9. 町田第3 (玉川学園、東玉川学園、南大谷)
10. 南第1 (鶴間、小川、つくし野、南つくし野、南町田)
11. 南第2 (金森、金森東、南成瀬、成瀬が丘)
12. 南第3 (成瀬、西成瀬、高ヶ坂、成瀬台)

問2 **共通**

貴事業所の組織形態をお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|-----------|---------|---------|--------|
| 1. 社会福祉法人 | 3. 財団法人 | 5. 株式会社 | 7. その他 |
| 2. 社団法人 | 4. 医療法人 | 6. NPO | () |

問3 **共通**

貴事業所の開設時期について、ご記入ください。(数字を記入)

開設時期 西暦

年

月

問4 **共通**

貴事業所の種類（メール本文の宛名に記載のサービス種別）をお答えください。（〇は1つ）

※介護予防（予防給付）については、それぞれのサービスに含めてお考えください。

CM	1. 居宅介護支援
在宅系	2. 訪問介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む） 3. 訪問入浴介護 4. 訪問看護 5. 訪問リハビリテーション 6. 通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む） 7. 総合事業通所型サービス（市基準型単独） 8. 通所リハビリテーション 9. 短期入所生活介護 10. 短期入所療養介護 11. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 12. 夜間対応型訪問介護 13. 地域密着型通所介護（国基準型サービス、市基準型サービスを含む） 14. 認知症対応型通所介護 15. 小規模多機能型居宅介護 16. 看護小規模多機能型居宅介護
入居・入所系	17. 特定施設入居者生活介護 18. 認知症対応型共同生活介護 19. 介護老人福祉施設 20. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 21. 介護老人保健施設 22. 介護医療院
支セ	23. 高齢者支援センター

《利用者の状況についておたずねします》

問5 **共通** ※総合事業通所型サービス（市基準型単独）は回答不要です。

貴事業所（問4で○をつけたサービス種別の事業所）の2025年10月の定員または登録定員、または実利用者数、および1日あたりの平均利用者数をご記入ください。

※2.訪問介護、6.通所介護、13.地域密着型通所介護については、総合事業（国基準型サービス、市基準型サービス）を含めないでご記入ください。

1. 居宅介護支援 23. 高齢者支援センター	➔	10月の実利用者数 _____人
2. 訪問介護 3. 訪問入浴介護 4. 訪問看護 5. 訪問リハビリテーション 12. 夜間対応型訪問介護	➔	10月の実利用者数 _____人 平均利用者数/日 _____人
15. 小規模多機能型居宅介護 16. 看護小規模多機能型居宅介護	➔	登録定員 _____人 平均利用者数/日 _____人
6. 通所介護 8. 通所リハビリテーション 9. 短期入所生活介護 10. 短期入所療養介護 11. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 13. 地域密着型通所介護 14. 認知症対応型通所介護 17. 特定施設入居者生活介護 18. 認知症対応型共同生活介護 19. 介護老人福祉施設 20. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 21. 介護老人保健施設 22. 介護医療院	➔	定員 _____人 平均利用者数/日 _____人

問7 **共通** ※居宅介護支援事業所、高齢者支援センターは回答不要です。

サービスの利用を終了する者がでた場合、すぐに次のサービスの利用者が見つかりますか。

(○は1つ)

1. 次のサービス利用者がすぐに見つかる
2. 次のサービス利用者が1か月以内に見つからない場合がある
(入居・入所系の場合は、待機者の方に入所を断られる場合がある)
3. 次のサービス利用者を見つけるのに1か月以上かかり苦労している
(入居・入所系の場合は、待機者の方に頻繁に入所を断られる)
4. その他 ()

※問7で「2」「3」と回答した事業所におたずねします

問7-1 断られたときの主な理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

1. まだ一人で介護保険サービスなしに在宅で生活できるから
2. 家族の支援で介護保険サービスなしに在宅で生活できるから
3. 居宅介護サービスがあれば在宅で生活できるから
4. 第一希望の施設でないから
5. 自宅または家族の家から遠いから
6. 費用が高いから
7. 入院したから
8. 本人・家族の準備ができていないから
9. 現在の状態から変更するのが面倒だから
10. その他 ()

問8 共通

町田市におけるサービスの充足度をどのようにとらえていますか。(各サービス〇は1つ)

※介護予防（予防給付）については、それぞれのサービスに含めてお考えください。

サービス種別	1 過剰	2 おおむね充足	3 やや不足	4 不足	5 わからない
①居宅介護支援	1	2	3	4	5
②訪問介護	1	2	3	4	5
③総合事業訪問型サービス	1	2	3	4	5
④訪問入浴介護	1	2	3	4	5
⑤訪問看護	1	2	3	4	5
⑥訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5
⑦通所介護	1	2	3	4	5
⑧総合事業通所型サービス	1	2	3	4	5
⑨通所リハビリテーション	1	2	3	4	5
⑩短期入所生活介護	1	2	3	4	5
⑪短期入所療養介護	1	2	3	4	5
⑫定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3	4	5
⑬夜間対応型訪問介護	1	2	3	4	5
⑭地域密着型通所介護	1	2	3	4	5
⑮認知症対応型通所介護	1	2	3	4	5
⑯小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5
⑰看護小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5
⑱特定施設入居者生活介護	1	2	3	4	5
⑲地域密着型特定施設入居者生活介護	1	2	3	4	5
⑳認知症対応型共同生活介護	1	2	3	4	5
㉑介護老人福祉施設	1	2	3	4	5
㉒地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	2	3	4	5
㉓介護老人保健施設	1	2	3	4	5
㉔介護医療院	1	2	3	4	5

《事業運営についておたずねします》

問9 **共通** ※高齢者支援センターは回答不要です。
貴事業所での、最新の決算状況はいかがでしたか。(〇は1つ)

1. 黒字
2. 赤字 → 問9-1
3. 損益なし
4. その他 ()

※問9で「2」と回答した事業所におたずねします。

問9-1 赤字の場合、主な原因を1つ選択してください。(〇は1つ)

1. 利用者が少ない
2. 当初の見込みよりも利益がでない
3. 物価高騰の影響
4. その他 ()

問10 **共通** ※高齢者支援センターは回答不要です。
貴事業所の運営課題について、どのように考えていますか。(当てはまるもの全てに〇)

1. 利用者・入所（入居）者の確保
2. サービス内容の充実
3. 職員の確保
4. 職員の研修体制
5. リスクマネジメントの強化
6. 利用者からの苦情・クレームの対応
7. 他機関（他事業所等）との連携
8. その他 ()
9. 特になし

問11 **共通** ※高齢者支援センターは回答不要です。
貴法人における今後3年間の事業展開について、どのように考えていますか。(〇は1つ)

1. 拡大予定
2. 事業転換予定
3. 現状維持
4. 縮小予定
5. 検討中

《人材育成・確保についておたずねします》

問 12 共通

貴事業所（問4で○をつけたサービス種別の事業所）に所属する職員について、おたずねします。

※ここでの「職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。）
また、「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

問 12① 共通

2025年10月1日時点での職員の総数をご記入ください。（数字を記入）

※該当する職員がない場合は、「0人」とご記入ください。

	正規職員	非正規職員
①介護職員	人	人
②看護職員	人	人
③機能訓練指導員	人	人
④介護支援専門員	人	人
⑤生活相談員・支援相談員	人	人
⑥上記以外の職員	人	人
合 計	人	人

問 12② 共通 ※開設から1年以上を経過していない事業所は回答不要です。

2025年10月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所におたずねします。

過去1年間（2024年10月1日～2025年9月30日）の職員の採用者数と離職者数を年齢別にご記入ください。（数字を記入）

※該当する職員がない場合は、「0人」とご記入ください。

※年齢はそれぞれ採用当時、離職当時の年齢にてご記入ください。

種職	年齢 (採用、離職当時)	採用者数		離職者数	
		正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
① 介護職員	20歳未満	人	人	人	人
	20～29歳	人	人	人	人
	30～39歳	人	人	人	人
	40～49歳	人	人	人	人
	50～59歳	人	人	人	人
	60～69歳	人	人	人	人
	70～79歳	人	人	人	人
	年齢不明	人	人	人	人
	合 計	人	人	人	人
② 看護職員	20歳未満	人	人	人	人
	20～29歳	人	人	人	人
	30～39歳	人	人	人	人
	40～49歳	人	人	人	人
	50～59歳	人	人	人	人
	60～69歳	人	人	人	人
	70～79歳	人	人	人	人
	年齢不明	人	人	人	人
	合 計	人	人	人	人

職種	年齢 (採用、離職当時)	採用者数		離職者数	
		正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
③ ④ ⑤ ⑥ の 職 種 を 合 計	20歳未満	人	人	人	人
	20～29歳	人	人	人	人
	30～39歳	人	人	人	人
	40～49歳	人	人	人	人
	50～59歳	人	人	人	人
	60～69歳	人	人	人	人
	70～79歳	人	人	人	人
	年齢不明	人	人	人	人
	合計	人	人	人	人

問 13 共通

貴事業所は、必要とする職員数を常時確保できていますか。(○は1つ)

※必要とする職員数は人員基準に基づく人数だけには限りません。

1. 常時確保できている
2. ほぼ確保できている
3. 確保できていない時がある
4. 確保することが難しい
5. その他 ()

問 14 共通

貴事業所が行っている職員の確保の取り組みについて、実質的に効果があったと感じているものを3つまでお答えください。(当てはまるもの3つまで○)

1. ハローワーク（公共職業安定所）に求人票を出している
2. 福祉系の学校（大学、専門学校、高校）に求人票を出している
3. 新聞や職業紹介雑誌に求人広告を掲載している
4. 就職相談会等の機会にブースを設けている
5. 事業所で就職説明会を開催している
6. インターネットや携帯ツールを介して募集している
7. 再就職の勧誘を推進している
8. 有料職業紹介、人材派遣を利用している
9. 町田市介護人材バンクを利用している
10. 職員に対し、知人・友人の紹介制度を設けている
11. その他 ()
12. 確保は行っていない

問 20 **共通** ※居宅介護支援事業所、高齢者支援センターは回答不要です。

貴事業所で外国人介護職員を受け入れることについてどのような課題がありますか。まだ受け入れていない事業所の場合は、受け入れるとした場合にどのような課題が想定されますか。

(当てはまるもの全てに○)

1. 外国人介護職員の人材確保（自事業所とのマッチング）が困難
2. 受け入れのためのコストが高い
3. 受け入れ後の生活の管理や支援が難しい
4. 受け入れに必要な事務を行える職員がいない
5. 利用者や他の従業員との意思疎通（日本語能力及びコミュニケーション）が難しい
6. 利用者が外国人介護職員によるサービス提供に抵抗がある
7. 外国人介護職員の仕事上のサポート役負担が大きい
8. その他（)
9. 特にない

問 21 **共通**

貴事業所において導入している I C T 機器・介護ロボット等を選んで記入してください。

(当てはまるもの全てに○)

1. 移乗・移動支援 : 自動運転の車いすや歩行補助ロボットなど
2. 排泄支援（予測・検知を含む） : 排泄状況の把握・予測・検知システムなど
3. 見守りセンター・システム : センサーによる見守りなど
4. コミュニケーションロボット : 利用者とのコミュニケーション支援など
5. 入浴支援 : 入浴補助機器、温度管理システムなど
6. 介護記録・情報共有支援 : 介護記録アプリ、クラウド型情報共有システムなど
7. 業務支援 : 人手不足解消や業務効率化を図る管理システムなど
8. 機能訓練支援 : 身体機能維持・向上を目指す機器
9. 食事・栄養管理支援 : 食事管理や栄養改善を支援する機器
10. 認知症生活支援・認知症ケア支援 : 認知機能低下の高齢者を支援する機器
11. その他の I C T（インカム、ナースコールなど）
()
12. 特にない

問 22 **共通**

I C T機器・介護ロボット等の導入に際してはどのような課題がありますか。導入しているものが一つもない場合、導入していくにはどのような課題が想定されますか。

(当てはまるもの全てに○)

1. 法人・設置者や経営トップ層の方針
2. 施設長・管理者等、現場の責任者が導入の必要性を感じていない
3. 組織の中で導入の意義・効果が共有されていない
4. 職員にデジタル機器等に対する苦手意識がある
5. 導入を推進する職員、キーパーソンがいない
6. 導入に向けて、どのような手順を進めればよいかわからない
7. どのようなI C T機器・介護ロボット等があるかわからない
8. 事業所にあったI C T機器・介護ロボット等を選定できない
9. 導入するための環境（通信設備や設置スペースなど）が整わない
10. 導入後の維持管理、運用が難しい
11. 予算の確保が難しい（維持費を含めて）
12. その他（)
13. 特にない

問 23 **共通**

町田市介護人材開発センターを知っていますか。(○は1つ)

1. 知っていて、研修に参加したことがある
2. 知っているが、研修に参加していない（したことがない）
3. 知らない

※問 23 で「1」または「2」と回答した事業所におたずねします

問 23-1 町田市介護人材開発センターに求めることは何ですか。具体的にお書きください。

ここからは、問4で回答した事業所の種類に該当する質問にお答えください。

種別表記		問4で回答した事業所の種類	回答質問番号	
CM		1. 居宅介護支援事業所	問31、問32①、問32②、問33①、問33②、問34、問35、問36、問37、問38、問39、問40、問41	
在宅系	訪問	2. 訪問介護 (国基準型サービス、市基準型サービスを含む)	問40、問41、問42、問43、問44	
	訪問入浴	3. 訪問入浴介護	問40、問41	
	訪問看護	4. 訪問看護	問40、問41	
	訪問リハ	5. 訪問リハビリテーション	問40、問41	
	通所	6. 通所介護 (国基準型サービス、市基準型サービスを含む)	問40、問41、問42、問43、問45	
	総合事業通所	7. 総合事業通所型サービス(市基準型単独)	問40、問41、問43、問45	
	通所リハ	8. 通所リハビリテーション	問40、問41、	
	短期入所生活介護	9. 短期入所生活介護	問40、問41、	
	短期入所療養介護	10. 短期入所療養介護	問40、問41、	
	定期巡回	11. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	問40、問41、問42	
	夜間	12. 夜間対応型訪問介護	問40、問41、問42	
	密着デイ	13. 地域密着型通所介護 (国基準型サービス、市基準型サービスを含む)	問40、問41、問42 問43、問45	
	認知デイ	14. 認知症対応型通所介護	問40、問41、問42	
	(看)小多機	15. 小規模多機能型居宅介護 16. 看護小規模多機能型居宅介護	問40、問41、問42 問40、問41、問42	
	入所・入居系		17. 特定施設入居者生活介護	
		GH	18. 認知症対応型共同生活介護	問40、問42
		19. 介護老人福祉施設		
密着特養		20. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	問40、問42	
		21. 介護老人保健施設		
	22. 介護医療院			
支セ		23. 高齢者支援センター	問31、問32①、問32②、問33①、問33②、問34、問35、問36、問37、問38、問39、問40、問41	

《居宅介護支援事業所、高齢者支援センターにおたずねします》

問 31 CM 支セ

2024年4月以降に、下記サービスの利用を紹介したことがありますか。

「1」または「2」を選択した場合、その理由は何ですか。

サービス名	紹介状況・利用状況 (○は1つ)	未紹介または未利用の理由 (当てはまるもの全てに○)
①通所介護 (地域密着型を含む)	1. 紹介したことがない 2. 紹介したが利用に至らなかった 3. 紹介して利用している もしくは利用していた	1. サービス内容の詳細がわからない 2. 近くに事業所がない 3. 料金が低い 4. 他サービスで対応できる 5. その他 ()
②認知症対応型 通所介護	1. 紹介したことがない 2. 紹介したが利用に至らなかった 3. 紹介して利用している もしくは利用していた	1. サービス内容の詳細がわからない 2. 近くに事業所がない 3. 料金が低い 4. 他サービスで対応できる 5. その他 ()
③認知症対応型 共同生活介護	1. 紹介したことがない 2. 紹介したが利用に至らなかった 3. 紹介して利用している もしくは利用していた	1. サービス内容の詳細がわからない 2. 近くに事業所がない 3. 料金が低い 4. 他サービスで対応できる 5. その他 ()
④(看護)小規模 多機能型居宅介護	1. 紹介したことがない 2. 紹介したが利用に至らなかった 3. 紹介して利用している もしくは利用していた	1. サービス内容の詳細がわからない 2. ケアマネジャーが変わることを利用者が好まない 3. 料金が低い 4. 他サービスで対応できる 5. その他 ()
⑤定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	1. 紹介したことがない 2. 紹介したが利用に至らなかった 3. 紹介して利用している もしくは利用していた	1. サービス内容の詳細がわからない 2. ホームヘルパーが変わることを利用者が好まない 3. 料金が低い 4. 他サービスで対応できる 5. その他 ()
⑥夜間対応型訪問介護	1. 紹介したことがない 2. 紹介したが利用に至らなかった 3. 紹介して利用している もしくは利用していた	1. サービス内容の詳細がわからない 2. 夜間の訪問介護の利用希望がない 3. 料金が低い 4. 他サービスで対応できる 5. その他 ()

問 32① **CM** **支** **セ**

利用者本人から利用希望の多いサービスはありますか。(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 訪問介護 | 16. 小規模多機能型居宅介護 |
| 2. 総合事業訪問型サービス | 17. 看護小規模多機能型居宅介護 |
| 3. 訪問入浴介護 | 18. 特定施設入居者生活介護 |
| 4. 訪問看護 | 19. 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| 5. 訪問リハビリテーション | 20. 認知症対応型共同生活介護 |
| 6. 居宅療養管理指導 | 21. 介護老人福祉施設 |
| 7. 通所介護 | 22. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 |
| 8. 総合事業通所型サービス | 23. 介護老人保健施設 |
| 9. 通所リハビリテーション | 24. 介護医療院 |
| 10. 短期入所生活介護 | 25. 福祉用具貸与 |
| 11. 短期入所療養介護 | 26. 福祉用具購入 |
| 12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 27. 住宅改修 |
| 13. 夜間対応型訪問介護 | 28. 住宅型有料老人ホーム |
| 14. 地域密着型通所介護 | 29. サービス付き高齢者向け住宅 |
| 15. 認知症対応型通所介護 | 30. 特にない |

問 32② **CM** **支** **セ**

利用者の家族から利用希望の多いサービスはありますか。(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 訪問介護 | 16. 小規模多機能型居宅介護 |
| 2. 総合事業訪問型サービス | 17. 看護小規模多機能型居宅介護 |
| 3. 訪問入浴介護 | 18. 特定施設入居者生活介護 |
| 4. 訪問看護 | 19. 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| 5. 訪問リハビリテーション | 20. 認知症対応型共同生活介護 |
| 6. 居宅療養管理指導 | 21. 介護老人福祉施設 |
| 7. 通所介護 | 22. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 |
| 8. 総合事業通所型サービス | 23. 介護老人保健施設 |
| 9. 通所リハビリテーション | 24. 介護医療院 |
| 10. 短期入所生活介護 | 25. 福祉用具貸与 |
| 11. 短期入所療養介護 | 26. 福祉用具購入 |
| 12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 27. 住宅改修 |
| 13. 夜間対応型訪問介護 | 28. 住宅型有料老人ホーム |
| 14. 地域密着型通所介護 | 29. サービス付き高齢者向け住宅 |
| 15. 認知症対応型通所介護 | 30. 特にない |

問 33① **CM** **支セ**

「定員に空きがない」ことを理由に利用希望を断られたサービスはありますか。

(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 訪問介護 | 16. 小規模多機能型居宅介護 |
| 2. 総合事業訪問型サービス | 17. 看護小規模多機能型居宅介護 |
| 3. 訪問入浴介護 | 18. 特定施設入居者生活介護 |
| 4. 訪問看護 | 19. 認知症対応型共同生活介護 |
| 5. 訪問リハビリテーション | 20. 介護老人福祉施設 |
| 6. 居宅療養管理指導 | 21. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 |
| 7. 通所介護 | 22. 介護老人保健施設 |
| 8. 総合事業通所型サービス | 23. 介護医療院 |
| 9. 通所リハビリテーション | 24. 福祉用具貸与 |
| 10. 短期入所生活介護 | 25. 福祉用具購入 |
| 11. 短期入所療養介護 | 26. 住宅改修 |
| 12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 27. 住宅型有料老人ホーム |
| 13. 夜間対応型訪問介護 | 28. サービス付き高齢者向け住宅 |
| 14. 地域密着型通所介護 | 29. 特になし |
| 15. 認知症対応型通所介護 | |

問 33② **CM** **支セ**

「送迎や訪問等のサービス提供実施地域外」であることを理由に利用希望を断られたサービスはありますか。(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 訪問介護 | 12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 |
| 2. 総合事業訪問型サービス | 13. 夜間対応型訪問介護 |
| 3. 訪問入浴介護 | 14. 地域密着型通所介護 |
| 4. 訪問看護 | 15. 認知症対応型通所介護 |
| 5. 訪問リハビリテーション | 16. 小規模多機能型居宅介護 |
| 6. 居宅療養管理指導 | 17. 看護小規模多機能型居宅介護 |
| 7. 通所介護 | 18. 福祉用具貸与 |
| 8. 総合事業通所型サービス | 19. 福祉用具購入 |
| 9. 通所リハビリテーション | 20. 住宅改修 |
| 10. 短期入所生活介護 | 21. 特になし |
| 11. 短期入所療養介護 | |

問 34 **CM** **支セ**

利用者または利用者家族に希望されるサービス内容はどれですか。(○は1つ)

それらのサービスは利用者または利用者家族の希望どおりに利用できていますか。(○は1つ)

希望どおり利用できていない場合には可能な限り理由を記載してください。

サービス内容	希望が多い	まあまあ希望あり	あまり希望がない	全くない	希望どおり利用できているか	できていない理由
①運動器機能向上	1	2	3	4	1. いる 2. いない	
②栄養改善	1	2	3	4	1. いる 2. いない	
③口腔機能向上	1	2	3	4	1. いる 2. いない	
④認知症予防	1	2	3	4	1. いる 2. いない	
⑤外出支援	1	2	3	4	1. いる 2. いない	
⑥入浴介助	1	2	3	4	1. いる 2. いない	

問 35 **CM** **支セ**

ケアプランの作成において、介護保険サービス以外の地域の資源を実際に盛り込み、活用した経験はありますか。(○は1つ)

1. ある	2. ない
-------	-------

※問 35 で「1」と回答した事業所におたずねします。

問 35-1 実際にどのような地域資源を活用しましたか。(当てはまるもの全てに○)

1. 介護保険サービス以外の市のサービス 2. 民生委員 3. 各種ボランティア 4. 町内会・自治会 5. 見守り支援ネットワーク 6. 介護保険以外の民間のサービス(配食など) 7. その他 ()

問 36 **CM** **支セ**

受け持っている利用者のうち、入居・入所系サービス※1を希望している利用者は何人いますか。
また、入居または入所を希望している利用者のうち、ケアマネジャーの視点からも入居または入所が望ましいと思われる利用者※2は何人いますか。(数字を記入)

(ア)	受け持っている利用者	人
(イ)	(ア)のうち、待機者を含む入居・入所系サービスの希望者	人
(ウ)	(イ)のうち、ケアマネジャーの視点からも入居・入所系サービスへ移行したほうが良いと思われる利用者※2	人

- ※1 入居・入所系サービスとは、介護保険3施設、認知症対応型共同生活介護、特定施設入居者生活介護、サービス付き高齢者向け住宅等の入所入居系施設のこと。
 ※2 在宅介護サービスの利用だけでは、本人に必要なサービスが不足していると考えられる場合であり、例えば、食事や排せつなどの直接介護や徘徊、医療行為などの介護にかかる時間が24時間または在宅サービスの報酬単位を超えて発生するような方のこと。

問 37 **CM** **支セ**

地域に密着した居宅サービスなどが充実しても、なお入居・入所系サービスを希望する利用者の入所理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

1. 居宅サービスの利用を希望しないから
2. 医療的処置（経管栄養やたん吸引など）が必要な状態であるから
3. 一人暮らしや老人世帯で介護者がヘルパーしかいないから
4. 家族が介護で疲弊しているから
5. 自宅が売却や賃貸解約等によって無くなり、退院後の行き場がないから
6. その他（)

問 38 **CM** **支セ**

住宅改修・福祉用具アドバイザー制度を知っていますか（○は1つ）

1. 知っている
2. 知らない

※問38で「1」と回答した事業所におたずねします。

問 38-1 どのような時にアドバイザーへ助言を求めますか（当てはまるもの全てに○）

1. 利用者が希望したとき
2. 適切な住宅改修、福祉用具がわからないとき
3. 改修費や用具費用を抑えたいとき
4. 間取りや設備など、住宅の構造上で問題があるとき
5. 身体的な動きを確認したいとき
6. その他（)

問 39 **CM** **支セ**

住宅改修・福祉用具アドバイザー制度について感じることを選択してください。
(当てはまるもの全てに○)

1. 助言がケアマネジメントに役立っている
2. もう少し助言がほしい
3. 利用したいがアドバイザーとの都合が合わず使いづらい
4. 利用しようと思う事例がない
5. どのような時に利用すればよいかわからない
6. 利用までの手続きが負担
7. その他 ()

※他の事業所からの利用者紹介や受け入れ状況についておたずねします

問 40 **CM** **訪問** **訪問入浴** **訪問看護** **訪問リハ** **通所** **総合事業通所** **通所リハ** **短期入所生活介護**
短期入所療養介護 **定期巡回** **夜間** **密着デイ** **認知デイ** (看) **小多機** **GH** **密着特養** **支セ**

貴事業所は 2024 年 4 月以降に、貴事業所が提供する介護保険サービスについて、他の事業所（高齢者支援センターや病院など）から利用者の紹介を受けたことがありますか。(○は1つ)

1. ある
2. ない

※問 40 で「1」と回答した事業所におたずねします。

問 40-1 紹介元を選択し、実際に利用開始となったかをお選びください。(○は1つ)

また、利用開始にならなかった場合は、主な理由を1つ選択してください。(○は1つ)

紹介元	利用の開始について (○は1つ)	利用に開始にならなかった理由 (○は1つ)
①高齢者支援センター	1. 利用開始になった 2. 利用開始にならなかった	1. 利用者の希望と不一致 2. 料金 3. その他
②居宅介護支援	1. 利用開始になった 2. 利用開始にならなかった	1. 利用者の希望と不一致 2. 料金 3. その他
③病院	1. 利用開始になった 2. 利用開始にならなかった	1. 利用者の希望と不一致 2. 料金 3. その他
④介護老人保健施設	1. 利用開始になった 2. 利用開始にならなかった	1. 利用者の希望と不一致 2. 料金 3. その他
⑤介護医療院	1. 利用開始になった 2. 利用開始にならなかった	1. 利用者の希望と不一致 2. 料金 3. その他
⑥その他 ()	1. 利用開始になった 2. 利用開始にならなかった	1. 利用者の希望と不一致 2. 料金 3. その他

問 41 **CM** **訪問** **訪問入浴** **訪問看護** **訪問リハ** **通所** **総合事業通所** **通所リハ** **短期入所生活介護**
短期入所療養介護 **定期巡回** **夜間** **密着デイ** **認知デイ** **(看)小多機** **支セ**

貴事業所において、2024年4月以降に、届け出を行っている定員あるいは登録定員（定員のない場合は推定利用人数）まで利用者を受け入れられないことはありましたか。（○は1つ）

1. ある
2. ない

※問 41 で「1」と回答した事業所におたずねします。

問 41-1 ある場合、主な理由を1つ選択してください。（○は1つ）

1. 利用者が集まらない
2. 受け入れのための職員が不足した
3. 設備の不足
4. その他（)

問 42 **訪問** **通所** **定期巡回** **夜間** **密着デイ** **認知デイ** **(看)小多機** **GH** **密着特養**

現在、貴事業所で提供しているサービスについて今後はどのように考えていますか。（○は1つ）

1. 現状維持を考えている
2. 事業新規の拡大を考えている
3. 新規事業の立ち上げを考えている
4. 事業規模の縮小または廃止を考えている → 問 42-1
5. その他（)

※問 42 で「4」と回答した事業所におたずねします。

問 42-1 縮小または廃止を考えている理由は何ですか。（当てはまるもの全てに○）

1. 利益が見込まれないため
2. 事業展開をしても、十分な需要が見込まれないため
3. 同業の事業所が競合するため
4. 新たな事業所が参入してきたため
5. 利用者負担を考慮して、利用者がサービスの利用を控えているため
6. 事業実施に必要な従業員の確保ができないため
7. 他に新たな事業を計画しているため
8. その他（)
9. わからない

《総合事業（国基準／市基準）についておたずねします》

問 43 訪問 通所 総合事業通所 密着デイ

貴事業所は、総合事業（国基準／市基準）を実施していますか。（○は1つ）

1. はい → 問 43-1 と問 43-2、問 43-3
2. いいえ → 問 43-4

※問 43 で「1」と回答した事業所におたずねします。

問 43-1 実施している総合事業のサービスの型（種類）は何ですか。（当てはまるもの全てに○）

1. 国基準型
2. 市基準型（一体型）
3. 市基準型（単独型）

問 43-2 総合事業に対して利用者からの要望が多いものは何ですか。（当てはまるもの全てに○）

1. もっと長時間利用したい
2. もっと短時間利用がよい
3. 機能訓練の時間が多くほしい
4. 変化にとんだ趣味活動がしたい
5. その他（)
6. 特にない

問 43-3 総合事業を実施しているなかで、どのような課題がありますか。（当てはまるもの全てに○）

1. 地域との連携が難しい
2. 利用者の獲得が難しい
3. 事業継続のための人材確保が難しい
4. 事業の設備の老朽化が著しい
5. 利益が見込めない
6. その他（)

※問 43 で「2」と回答した事業所におたずねします。

問 43-4 今後、総合事業を実施する予定はありますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. はい ➡ 問 43-5 | 3. わからない |
| 2. いいえ ➡ 問 43-6 | |

※問 43-4 で「1」と回答した事業所におたずねします。

問 43-5 今後、実施予定としている総合事業を選択してください。(当てはまるもの全てに○)

- | |
|---------------------|
| 1. 国基準型訪問サービス |
| 2. 市基準型訪問サービス (一体型) |
| 3. 国基準型通所サービス |
| 4. 市基準型通所サービス (一体型) |
| 5. 市基準型通所サービス (単独型) |

※問 43-4 で「2」と回答した事業所におたずねします。

問 43-6 実施予定がない理由を選択してください。(当てはまるもの全てに○)

- | |
|-----------------------|
| 1. 人材不足で職員の配置基準が満たせない |
| 2. 事業所が狭く、面積要件を満たせない |
| 3. 収入が見込めない |
| 4. 書類作成の時間がない |
| 5. その他 () |

《 問 44 は、訪問で、問 43 で「1」(総合事業を実施している)と回答した事業所におたずねします。》

問 44 2025 年 10 月 1 日時点での介護度別の利用者数をご記入ください。(数字を記入)

※該当者がいない場合は0 (ゼロ) をご記入ください。

(1) 国基準型訪問サービス

	週1回利用	週2回利用	週3回利用
事業対象者	人	人	人
要支援1	人	人	人
要支援2	人	人	人
合計	人	人	人

(2) 市基準型訪問サービス

	週1回利用	週2回利用	週3回利用
事業対象者	人	人	人
要支援1	人	人	人
要支援2	人	人	人
合計	人	人	人

《問45と問46は、**通所 総合事業通所 密着デイ**で、問43で「1」（総合事業を実施している）と回答した事業所におたずねします。》

問45 貴事業所の2025年10月（1か月間）の単位ごとの利用状況（A. 利用者定員数、B. 営業日数、C. 延べ利用者数）をご記入ください。（数字を記入）

※該当者がいない場合は0（ゼロ）をご記入ください。

	① 1単位	② 2単位	③ 3単位	④ 4単位	⑤ 5単位
A. 利用者定員数 (2025年10月1日現在)	人	人	人	人	人
B. 営業日数 (2025年10月1か月分)	日	日	日	日	日
C. 延べ利用者数 (2025年10月1か月分)	人	人	人	人	人

問46 貴事業所における2025年10月（1か月間）の要介護度別のサービス利用者数を（複数単位の場合は合計）をご記入ください。（数字を記入）

※該当者がいない場合は0（ゼロ）をご記入ください。

	① 事業対象者	② 要支援1	③ 要支援2
サービス利用者総数 (延べ利用者数)	人	人	人

以上でアンケートは終わりです。

お忙しい中、調査にご協力いただきありがとうございました。

高齢者の福祉や介護に関する調査
－ 事業所調査 － 報告書

発行年月 2026年 3月

発行者 町田市

〒194-8520 東京都町田市森野 2-2-22

TEL 042-722-3111 (代表)

編集 いきいき生活部いきいき総務課
